第十二輯 第四號

特輯記事

致風と築建

建築と社會

大正六年九月十四日（第三種郵便物認可）
昭和五年四月一日發行（毎月一回一日發行）（第拾參輯第四號）

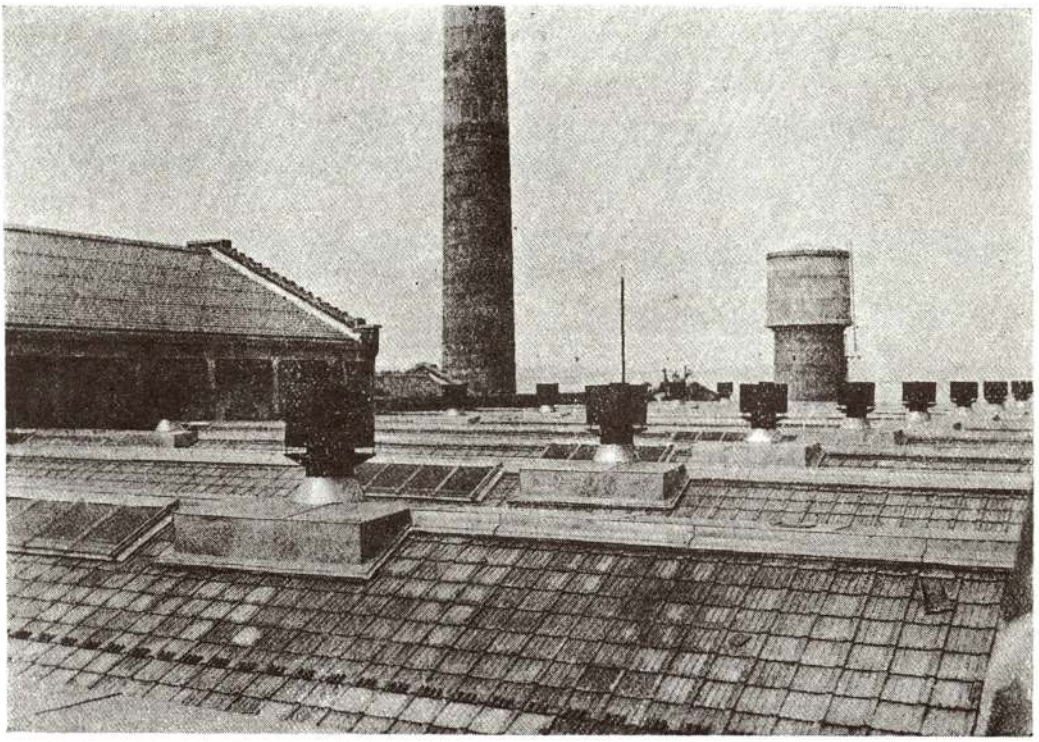


昭和五年四月一日發行

日本建築協會

特許三機式(ロバートソン)通風器

特許三機式天窓



鐘紡彦根工場御採用の三機式**ロバートソン**通風器

三機工業株式會社

本　店　東京市麹町區內幸町一ノ三(大阪ビル內)
電話銀座(57)5330—5335(6)2831—2833(3)

支　店　大阪市東區備後町二ノ二一(野村ビル內)
電話本町1166・1525

取扱店　各地三井物産株式會社支店機械部

(型錄贈呈)

會告

今回市立大阪市民博物館主催を以て「都市と音響」展覽會を開催され本協會は之れを賛同後援して新製模型其他多數の出品を致してあります御清覽を願ます

一、陳列内容概略

1. 建築に關するもの
   - A 防音室
   - B 反響室
   - C 防音材料
   - D 研究資料
2. 道路、交通、通信、産業、音樂等に關するもの
3. 原理及參考品

二、會場　天王寺公園　市立大阪市民博物館及別館

三、會期　自三月二十五日　至四月末日

四、開場時間　自午前九時　至午後四時（但し月曜日は休館）

昭和五年三月

社團法人日本建築協會

商標 OHNO SHUTTER PATENTED 登錄

特許第七九三五號（延長許可）外十數件併用

大野式防火捲上ヶ戸

〔特許大野式シヤッター〕

主要製品

大野式**シヤッター**
大野式自働防火鎧戸
大**野式**工場用軸承
大野式轉子入軸筐
大野式轉子入戸車
大野式廻轉軸抵抗測定機
各種防火扉
應用特殊機械類
特許不二式**サッシ**受托販賣

合資會社 **大野製作所**

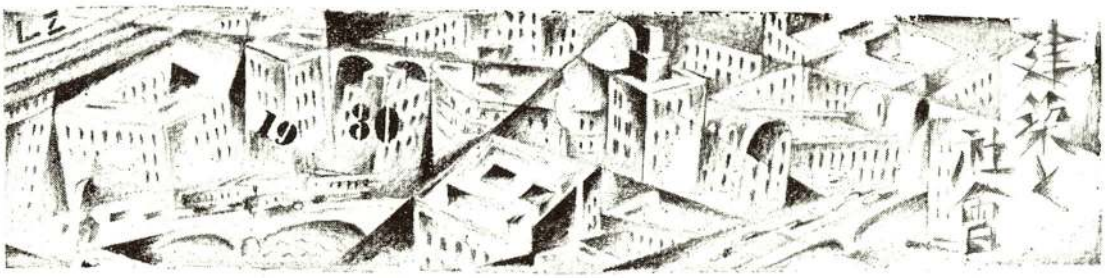
東京市芝區三田四國町二番地・電話三田(45)七三三七三三七三三番

八八五(45)島福話電・二中島福｜區花此市阪大・所詰員張出付取



建築と社會第十三輯四月　建築と風致　目次

（巻頭挿畫）大阪・上六大軌前……鶴丸梅太郎…（七）
（巻頭言）……古宇田實…（八）
建築と風致……片岡安…（九）
建築と風致――特に住宅と庭園――……本多靜六…（一二）
都心の風致……藤田進一郎…（一三）
建築と風致……關口鎭太郎…（一六）
風景美より建築を見る……井下清…（一九）
風景地の建設物に就て……椎原兵市…（二一）
建築美と風致……津田鑿…（二五）
風致美觀と建築……松室重光…（二七）
庭木の美的本質とその選び方……方米治郎…（三四）
都市風景の構成……大屋靈城…（三七）



建築と風景と造園……田村剛…(四一)

建築斷相(2)……松室重光…(四三)

附錄

寫眞・國際新建築集……(附一三)

寫眞・京阪神新建築集……(附四一)

美觀地區並風致地區指定に關する建議追申案 日本建築協會第一部(法制)委員會報告…(附一)

京都府風致地區規則……(附四)

會報……(一二)

編輯後記……(一四)

本誌廣告目次……(廣二六)

繪口

建築と風致寫眞

臨春閣(横濱市・原富太郎氏邸)……(一)

京都・高臺寺……(一)

大和・法隆寺―奈良公園……(二)

名古屋鶴舞公園―岡山城……(三)

京都市―宇治・平等院……(四)

佛蘭西・巴里・日本學生館……(五)

市立大阪市民館主催「都市と音響」展覽會後援並開會會告……(特一)

學校建築圖集

學校建築の根底をなす平面計畫圖を網羅蒐集し補ふに構造圖及寫眞圖版を以て外觀・內部を示して萬全を期したり、建築家並に敎育家の學校計畫に就ての好指導書たらん

定價壹圓
郵稅拾四錢

大阪西區土佐堀
大同ビル725
電話土佐堀4265
振替口座大阪39975

一般內容

◆本文……△大阪市立集英小學校及同久寶小學校工事概要▲兵庫縣立神戸第二高等女學校工事概要▲大阪美術學校工事概要▲東京市立泰明小學校及同千代田小學校工事概要等々

◆圖案……▲大阪市立濟美第五小學校、同眞田山小學校、同三先小學校、同十三小學校、同鶴橋第五小學校、同鶴橋第六小學校、同古市小學校、同濟美第六小學校、同下福島小學校、同九條第一小學校、同東商業學校、同天王寺第二小學校、田邊第二小學校（大阪市建築課）▲大阪市立集英小學校、同久寶小學校（宗建築事務所）▲大阪府立天王寺中學校、同十三高等女學校（大阪府營繕課）▲大阪美術學校（伊藤正文氏）▲京都市立梅屋小學校、同龍池小學校、同柳池小學校、同修德小學校、同中立小學校（京都市營繕課）▲京都帝國大學醫學部病理學研究室、同帝國大學物理學敎室（京都帝國大學營繕課）▲兵庫縣立第二神戸高等女學校（兵庫縣營繕課）▲關西學院（ヴオーリス建築事務所）▲東京市立泰明小學校、同千代田小學校、同常盤小學校同竹芝小學校、同明治第一、第二小學校、同京華小學校、同明正小學校（東京市建築課）▲東京帝國大學圖書館、同帝國大學大講堂、同帝國大學復興計畫鳥瞰圖、同法文經敎室第一號館同法文經敎室第二號館、同醫院耳鼻咽喉及整形外科病室、同藥學科敎室、同工學部講堂及各敎室、同工學部列品室、同物理學敎室、同應用化學敎室、（東京帝國大學營繕課）▲東京商科大學（文部省建築課）▲橫濱市立平樂小學校（橫濱市建築課）

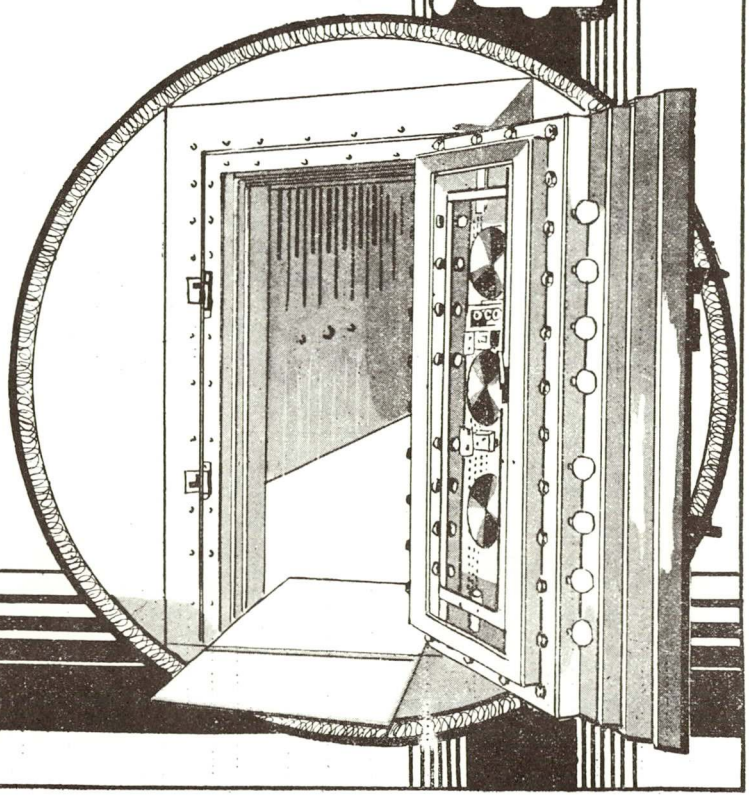
掲載寫眞凸版

四六倍版 一〇八 六三 一四 二〇〇

社法人 日本建築協會

最新良

大谷金庫



株式會社

大谷金庫店

大阪市堺筋平野町

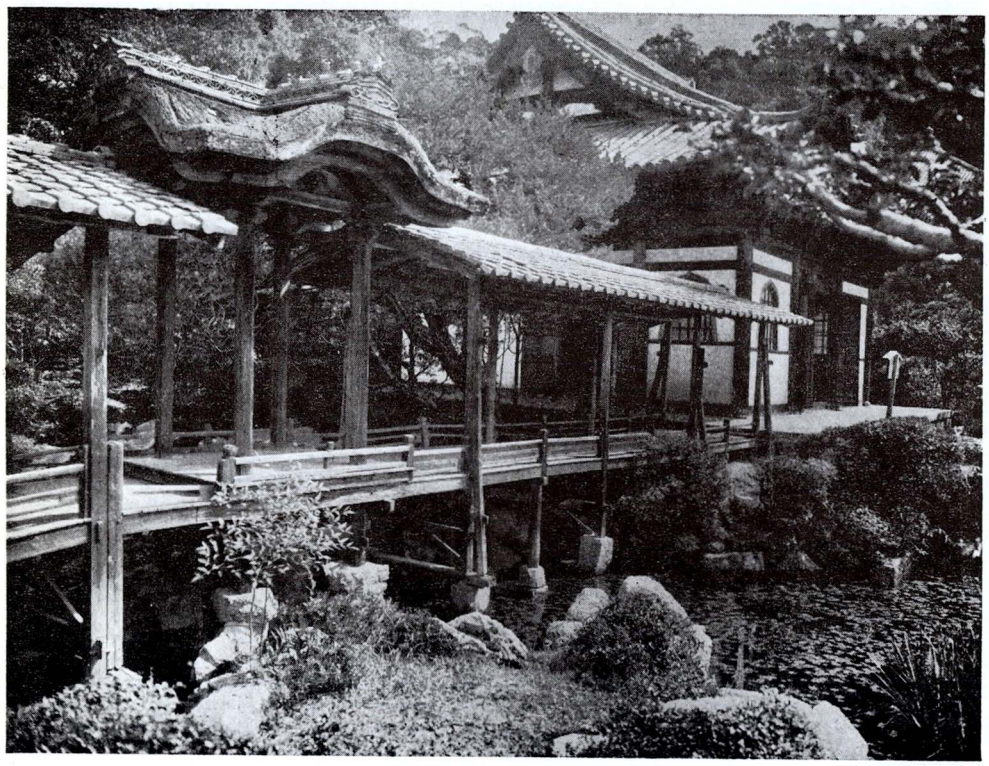
東京・京都・神戸・廣島・岡山
關門・飯塚・都城・和歌山・臺北

建築と社會第十三輯第四號

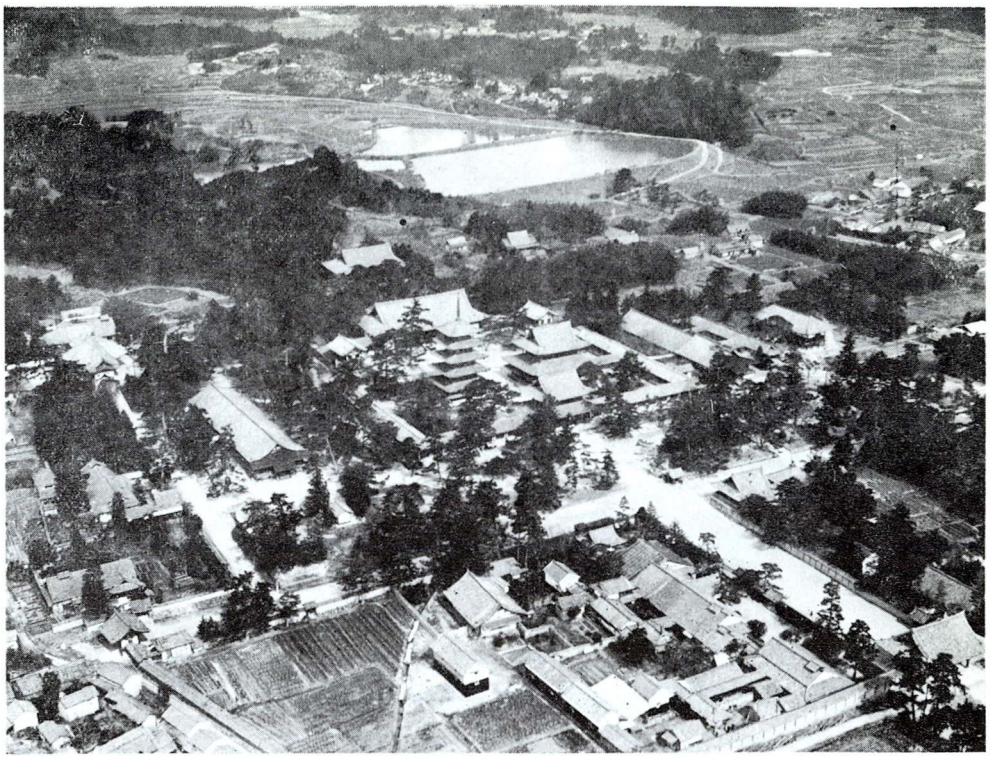
廣告目次

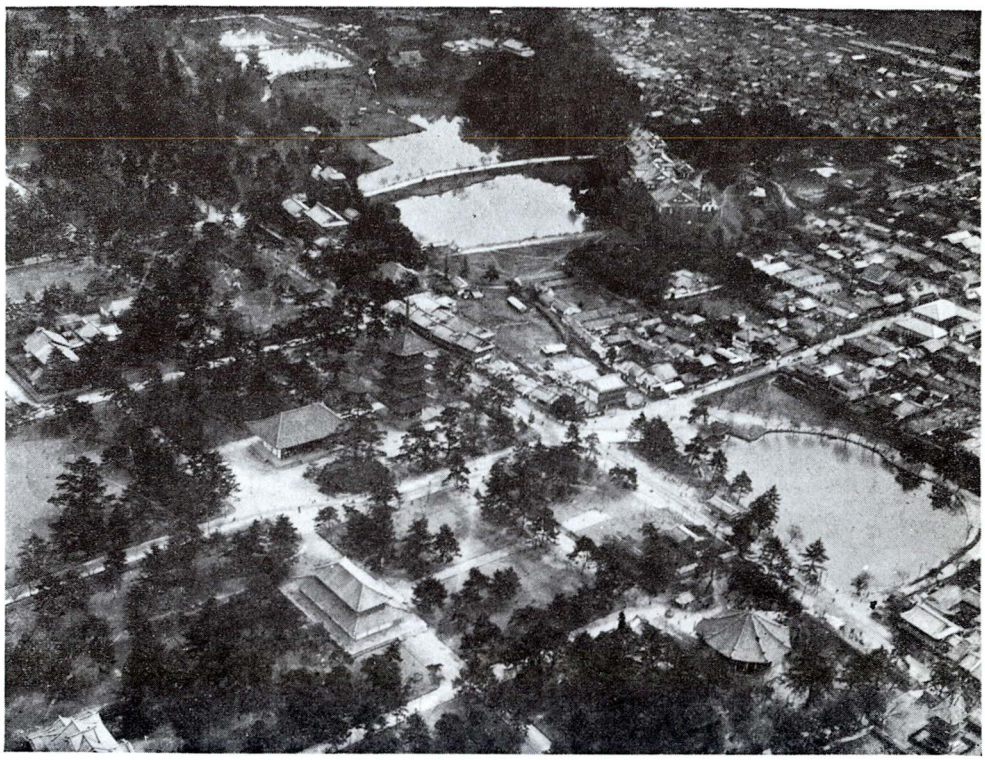
A
有山組……三三
安藤組大阪支店……三三
淺野物產株式會社……一八
淺野スレート株式會社……一二
淺海商店……六四
阿部鐵工所……四四
C
中外電氣商會……六四
D
デウエット商會……六九
大和工業株式會社……八七
大理石工業株式會社……四二
E
榮進社……四五
衞生工業商會……四一
F
藤田庄藏商店……八五
藤田商會……四六
藤井製作所……六八
藤木工務店……三二
古塚建築事務所……二七
布卯村木店……二九
H
橋本建築事務所……二七
橋本庭園工務所……二一
白陽工務店……二九
原商事株式會社……三六
原科建築事務所……二七
本間建築事務所……二七
I
今井硝子店……八六
池田建築事務所……二七
池田谷建築事務所……二七
池田組……二九
伊丹商店……五四
伊藤建築事務所……二七
井原建築事務所……二七
岩元商店建材部……五六
K
クロースルーフヰング製造所……六〇
江東サツシ製作所……七一
木下謹三商店……七六
熊取谷熊次郎商店……三二
國枝工務所……二七
金剛商會大阪支店……四九
片岡、石本建築事務所……二六
桐田商會……六五
葛野建築事務所……二六
建築金物商會……表紙四
鴻池組……三三
駒井喜商店鐵工部……三三
工材社(阪口芳三郎)……二二
工事畫報社……三九
龜谷開作商店……四一
建築畫報社……三八
M
宮島康夫商店……八一
松村組……三二
村上建築事務所……二六
森本建築社……三四
眞水三橋建築事務所……二六
万年スレート株式會社……一四
三宅茂雄商店……四〇
三木商店……七三
丸善株式會社……三七
N
ナンコク商事株式會社……一一
内外エレベーター株式會社……五五
内外土木建築材料合資會社……七八
浪速設計事務所……二六
日本ドアーチエック製作所……四八
日本鋼製建具株式會社……七二
日本洋瓦株式會社大阪出張所……五二
日本木材工藝株式會社……七九
日本ルーレート販賣株式會社大阪支店七五
日本ペイント製造株式會社……一七
日本エレベーター製造株式會社……九
日本セメント防水製造所……六八
日本建築紙工株式會社大阪出張所……五三
日本工劑株式會社……七七
新田ベニヤ製作所……二三
西孫南店建築金物部……四七
西原衞生工業所大阪支店……二八
中川辰藏店……三一
中村建築事務所……二六
南滿鑛業株式會社……七六
野澤幸三郎商店……七二
野村建築事務所……二六
名古屋伊丹商店……五四
O
オリエンタルメタル製造所……八三
オキナ商店……五九
大阪ピトロライト工事合資會社……一四
大阪窯業セメント株式會社……一九
大阪鐵筋混凝土工務所……三〇
大阪橋本組……三〇
大谷金庫店……一五
大林組……三〇
大倉商事株式會社……五
大倉土木株式會社大阪出張所……二九
大野製作所……一
大阪建築所……二五
小笠原建築事務所……二五
小野木横井共同建築事務所……二五
岡本工務店……三〇
岡部建築事務所……二五
岡田建築材料店……六〇
置鹽建築事務所……二五
R
ラバロイド商會……一三
玲光社(木内眞太郎)……七四
S
SO商會……五〇
早苗會……三六
須賀商會……五一
島田建築事務所……二五
島貿易株式會社建材部……三五
佐久間建材工業所……三五
佐渡島西店建材部……六
佐伯組……三四
三五製作所……六二
三機工業株式會社……表紙二
笹岡家具裝飾店……四一
城口研究所大阪支店……七〇
宗建築事務所……二五
設樂建築事務所……二四
清水榮二建築事務所……二五
清水組大阪支店……二四
品川白煉瓦株式會社大阪タイル部……六二
澤田合名會社……八二
T
東洋リノリユーム株式會社……八
東洋スレート株式會社……八〇
東洋コンベス帝店……八四
東洋コンクリート合資會社……六六
東洋陶器株式會社大阪出張所……六七
東洋工業株式會社コルク部……一〇
東亞鐵工所……六一
田中工業株式會社……八八
田中源太郎商店塗料部……四
田中昌司商店……七八
田村商會……七
田村事務所……二四
高見工作所……一〇
竹中工務店……三一
朝永建築事務所……二四
テーワイ商會……八五
U
上野建築事務所……二四
V
ベニス工房……五八
W
和田建築事務所……二四
Y
ユーニオントレーヂング……五七
ヤブタ電氣營業所……五三
米本商店……七四
山本窯業商店……五八
山中商會……六三
山中製作所……八一
安井建築事務所……二四
矢橋大理石帝店……四六
横河工務所……二四
横川橋梁製作所……四三
Z
錢高組……三四





建築と風致　　上・臨春閣（横濱市・原富太郎氏邸）　　下・京都・高臺寺





建 築 と 風 致　　上・大和・法隆寺　　下・奈良公園　(大阪朝日新聞社撮影)





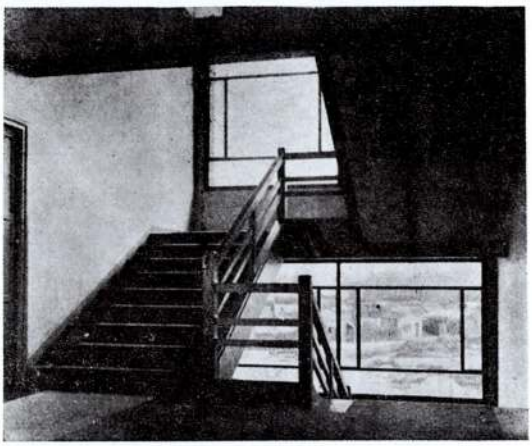
建築と風致　　上・名古屋鶴舞公園　　下・岡山城　(大阪朝日新聞社撮影)





建 築 と 風 致　　上・京都市　　下・宇治・平等院 (大阪朝日新聞社撮影)

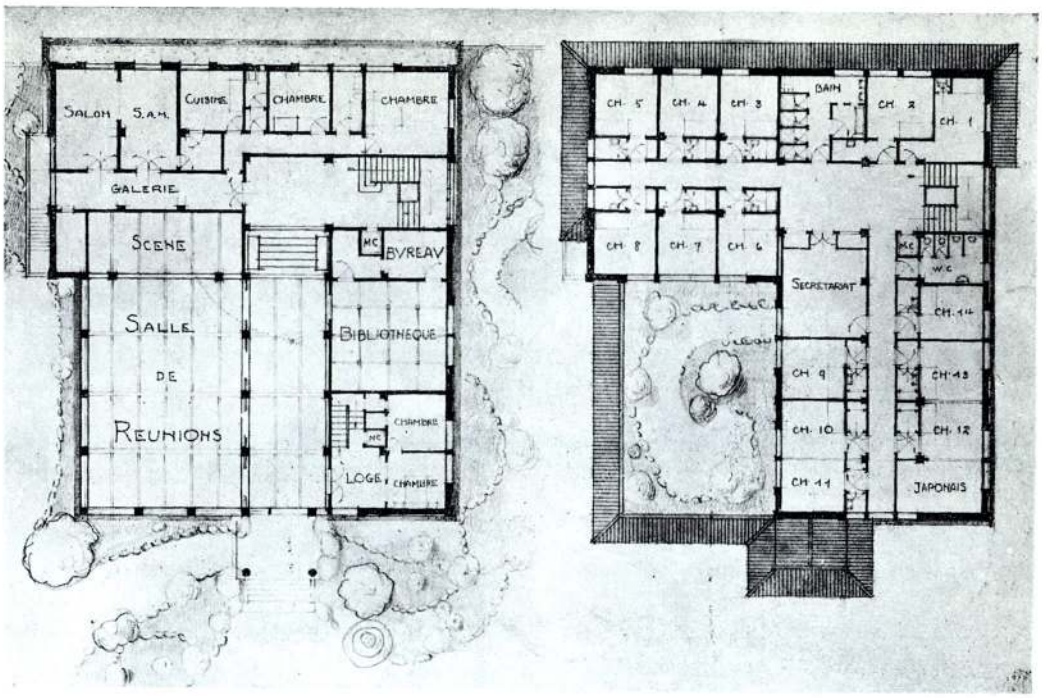


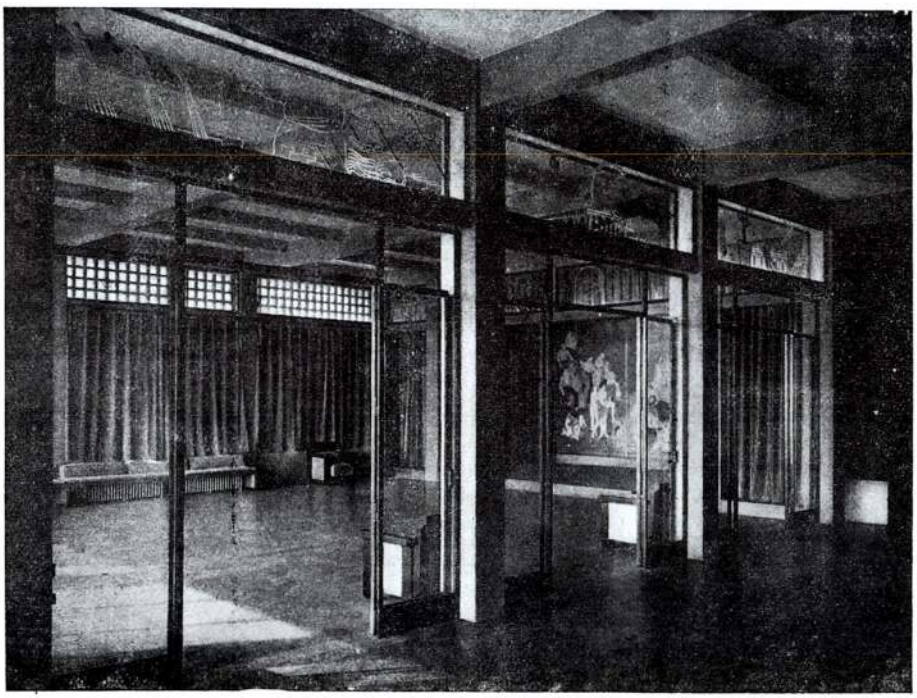




上・正面外觀
中・階段詳細
下・側面外觀

佛蘭西・巴里・日本學生館





佛蘭西·巴里・日本學生館　　上・平面圖　　下・內部集會室

第十三輯　建築と社會　第四號

昭和五年四月一日發行



建築風景・大阪・上六大軌前　　鶴丸梅太郎氏畫

卷頭言



古宇田實

建築と風致、風致と建築、同じ樣に聞ゆる標語でありながら、然もよく其意味を味ふて見ると些か違つて居る樣にも取れる、然しそれ丈また建築と風致なるものが極めて密接關係に立つことがわかる。

建築が佳き風致の上に立つことは其建築をしてどの位品位を高め、壽趣的風情を增し、そして建築の內から眺めて以て建築の用途を加へ、實用味を增大することの多きことは今更論議するまでもない、建築物が景色佳き勝地の頂きに、麗しき山の麓に建てられ、或は庭園を設くるが如き皆それをわきまへて居るからのことである。

歐羅巴の建築美の祖と云はるゝ古代希臘の諸建築の美は實に其地の風致によつてその位價値づけられて居るであらうか、パルテノンが壯觀偉麗を極むるアデンのアクロポリスの中央に巍然として立ち四方を睥睨し、伊太利タオルミナの希臘古劇場が劇を見音樂を聽き乍ら遙にエトナの噴火を眺め、振り向けば足下の蒼海と岩に碎かるゝ白泡と小波立つ景色とを見る抔、世界に誇る絶景である、由來希臘建築の雄姿美觀は一面其地形の利用巧妙なるによるとは自分が目擊しての信仰で且つ主張する所である、羅馬建築の壯麗亦然りゴシツクの大伽藍が其建つ都市其地方の中心をなし風致がこれによりて定まるとは、恰も中世紀の宗教畫に於て耶蘇や聖母マリヤが畫の中心となり特に擴大して構圖さるゝと趣を同ふす、又ルネッサンス時代の伊太利莊園の艷カステロの偉觀、佛蘭西シヤトーの雄渾なる姿、皆これ風致の然らしむる所大なるものがある。

風致が建築を招き、建築を背景とし、點景とすることによりて其趣を增大することまた正に前者の逆のものもある、瑞西が世界の公園であり、『實に美しい』と云ふ嘆美の聲は旅行者の皆一致する所であるが、それには瑞西の雄大なる景色が主體をなすとは云へそれに點景とする風雅なる木造建築即ちシヤレーが、どれ程風情を添へて居ることか、又何も例を西洋に採るに及ぶまい、我が京都の金閣寺、銀閣寺の美や、桂離宮の麗かなる景色は皆其建築の背景があづかつて大なる力となつて居る、日本の茶席、茶庭が其孰れを欠いでも意味をなさぬ、景色を殺ぐこと亦よく此の理を說明するに足る實證である。建築と風致、何んと其親密なる關係にあることよ、而して我國の如き風致にすぐれたる自然を持ち風情に富む建築を持ちながら、また何んと石切山の如き建築の群によつて景色をぶちこわしつゝあることよ。



建築と風致

工學博士 片岡安

建築は人工物であるから其外觀容姿は主として其設計の如何により其美觀を發揮するものであるが、同時に其建築と環境との調和が其建築美の構成に重大なる影響を與ふるのである。而してその環境の重心をなすものは其建築の建らるゝ場所の地勢、即ち地理的關係であることは言ふまでもない。古來神社佛閣の如き衆目の中心となるべき建築は概ね優秀なる地勢を配景として其建築の莊嚴秀麗の容姿に更に一段の強調味を加へたかの觀がある。殊に各種の建築が適當に配置されて一集團をなす場合に於ては其地勢を利用することの重要性は益々大なるものがある。瀟洒なる一茶室といへども其庭園との調和を得て始めて渾然一幅の如き美的快感を惹起するのである。言ひ換ふれば建築物それ自體の美的要素が環境との調和により更に第二次的の宏大なる美的要素を生むのである。此の意味に於て苟くも建築物を起さんとするには其設計に先だち、其敷地の地勢を如何に利用するかを考究するのを原則とする。若し敷地の撰擇その宜しきを得ざるか、或は更にその敷地の地勢利用にその適否を誤るときは建築それ一箇としては優秀なる外觀を呈するとしてもその環境との調和に於て失敗し、建築本來の價値を發揮し得ざるを常とする。建築と環境との關係が如何に密接なるかは過去の實例が總べてそれを如實に物語つて居るのである。

◇

最近各國の都市が急激に發展するに伴ひ、其都市建築は經濟其他實際的の要求に駈られて、漸次密集的に、又高層式に且つ實質的に堅牢なる構造物となり、その外觀と環境の調和とを第二次的に取扱はんとするやうになつて來たことは近代の著しき傾向である。其結果都市到る處簇生する個々の建築は外觀內容共に善美を盡すと雖も其集團的環境は却て亂雜不調和に陷らんとするやの嫌があり、都市の美觀上から見て好ましからぬ狀態であるので、こゝに都市計畫運動の一部として都市の重要なる地區を限りて特に美觀上の取締をなさんとする風潮が生じて來たのである。我國に於ても建築物法の第十五條に於てそのことが規定されたのである。帝都はもとより六大都市に於ても未だその地區は指定されぬけれどもその地區指定の一日も早からんことは吾人の冀望して已まぬところである。

近代に於ける都市の發展は更に進んで其都市に存在する天然の地理的優勝の狀況を破壞せざれば已まぬやうな傾向を生して來たので建築の集團に調和を保たしめると同時に、天然の地理的環境を最も完全に利用し、その配景に一段の美觀を呈せしめんとする一面の努力は即ち都市の風致保存である。

◇

都市に於ける公園、遊園の擴張及改善が其都市建築の密集的に又高層式に發展せんとする調和劑として近代都市の努力せねばならぬ最も緊要なる事業である以上、建築進展の爲めに天然の風致が兎角破壞されんとする虞ある場合に、それに對する適當の取締をなすとは當然の仕事と言はねばならぬ。建築物の環境を最も良く調和せしめ、其輪奐の美を高調に導くものは、天然の優秀なる地形殊に丘陵古木等の天然美であることは言ふまでもない。都市建築の進展に際して、其都市に存在する天然の形勝古木等を完全に保存しながら、むしろそれを巧に配景に取り入れて、適宜に環境の美化を計ることは都市計畫の忠實にして眞味ある方針であると言つて差支はない。都市計畫法はその第十三條に於て

地方長官に對し風致維持の爲めには豫め指定せる地區内に於ける『工作物ノ新築改築若は除却土地ノ形質ノ變更竹木土石ノ類ノ採取其他風致維持ニ影響ヲ及ホス虞アル行爲』を制限するの權能を與へて居るのである。

◇

しかるにその規定は未だ何れの都市にも實行されて居らぬ。唯京都市が本年二月同市の地域一帶に可なり廣汎なる面積を風致地區に指定し、同時にその施行規則を發表したに過ぎない。アメリカの都市には將來市の公園となすべき豫定地に對しては其樹木と地形の保存を命じ、所謂風致制限を實行しつゝあるものもある　然し都市の重要なる地區には保存すべき風致は極めて稀であるから、實際に於ては將來公園の擴張と改良を可能ならしめる手段として、郊外地の一定區域の風致を保存することが最も必要にして且つ緊急の事であると思はれる。我國には已に史蹟名所天然紀念物保存法があり、それ〴〵地形の優勝なるものは十分にこれを尊重し、公園はもとより一邸宅の庭園に至るまで天然樹を愛護するの風習があるから、必ずしも特別の風致保存法の規定によりてその保存を監視せねばならぬ程のことはない。要は建築物の設計に際し風致との調和を最もよく考究し、其環境の美化を十分に計るといふ點に存する。

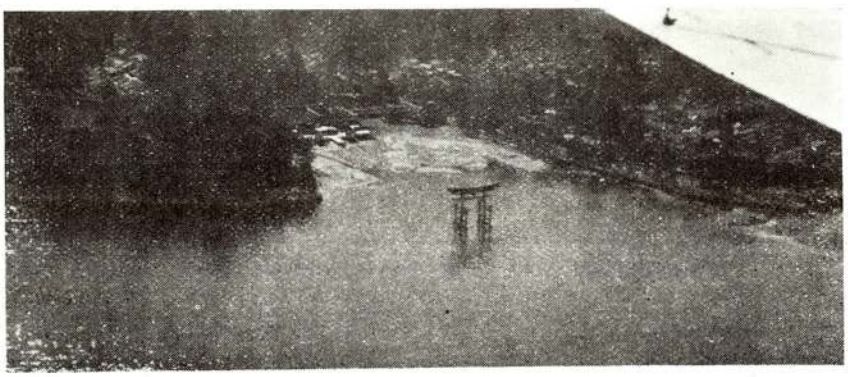
◇

その目的を達成する爲めには都市民が一大決心を以て協力してその都市の美化さるゝことに努め、都市美化委員を設けて專心其實現に從事せしめるの要がある。アメリカの首都には市理事者の中にアート・コンミッション(美化委員)とパーク・コンミッション(公園委員)の有力なる機關が設けられ、公園の擴張、遊園の增設、凡てそれ等の風致を改善し、更に進んで都市全體を美化することに努力せしめつゝある。最近ワシントン市が世界の模範都市と呼はるゝまでに美化されたのは全くその結果であると考へられる。都市の發展には產業經濟の旺盛なる活動が必要であり、交通機關の整備その他一般文化的設備を始め、教育、娛樂その他あらゆる現代的施設を緊要とするのであるが、同時に其都市全體としての品位を高めるべく常に都市を美化することに注意を拂ふの要がある。建築物の亂雜放縱なる並列は都市を美化する所以ではないから、美觀上からの取締を勵行し、更に風致を保存してその改善に力を致さねばならぬのである。

◇

風致の保存には唯天然のまゝにそれを維持し、環境の美化に利用する如き消極的の手段に止まらず更に一步を進め積極的に其改善に努力するの要がある。都市の綠化運動、煤煙防止運動その他天然力を利用する都市の美化作用は凡て將來の風致を造成する所以であるから、現在の風致問題は更に將來の風致造成運動とも考へられるゝのである。建築物の美觀は風致の環境に惠まれし益々其價値を發揮するものであるとして見れば、風致の保存及その造成運動は現代都市の緊急なる事業の尖端に在るものと考へらるゝのである。此點から見て我國の都市民は未だ都市文化の尖端を理解せざるものではないかと思はれる。

＝五・三・二〇受付＝



安藝宮島

(大阪朝日新聞社撮影)



建築と風致

═特に住宅と庭園═

林學博士 本多靜六

建築と風致の問題も、大は原始的大風景地に於ける大建築物と風致との關係、或は都市及近郊の公園又は自然風景と建築物との關係から、小は所謂住宅建築と自然風致との關係に至る迄、この問題の範圍は極めて廣汎で、到底僅かの紙數で論じ盡せるものではない。こゝでは住宅建築と風致、即ち住宅と庭園との關係に就て少しく意見を述べて見たいと思ふ。

思ふに現代世界文化の大勢は獨立自彊、延て健康第一主義である。今日の様に生存競爭が激しくなつて來ると、今迄の様に他人に賴つて世渡りして行く事は出來なくなる。何事も他人に依賴する事なく、自らの力で自らの進むべき途を開拓して行かなければならなくなつて來た。又社會一般の思想もさうである。他人の力によつて不當の利得を占めたり、不勞所得によつて安穩な生活を營む事は次第に社會が許さなくなつて來た。

かゝる時代に於ては頑丈健康なる身體こそ唯一の資本である。すべての活動は先づ健康なる身體を出發點とする。加ふるに、現代の様に都市文明が發達し、次第に自然と緣の遠い生活をする様になると、その生活狀態も勢ひ不衞生的なものとなり、從て健康を希ふ心は一層切實になつて來る。即ち學問よりも富よりも名譽よりも何ものよりも健康を第一義とする様になつて來た。

然らば健康保持の要件は何であるか。曰く『絶えず新鮮なる空氣を呼吸すること』『十分日光に浴すること』『運動して食物を甘く食ふこと』以外にはない。即ち健康第一主義の實現には戶外生活を措いては他に之を求める事は出來ない。

將來に於ける住宅問題も此根本義から出發しなければならない。この點を基調としなければ到底合理的な發達を望む事は出來ない。即ちかゝる結果として第一に考へられる事は、之からの住宅は南に面した細長い家となり、窓を大きく明るくし、十分日光と空氣とを取入れる様になる、之が將來の住宅の根本要件である。便利とか美とか云ふ事は、かゝる根本要件を滿たした後に起るべき問題である。

更に將來の住宅の著しき特徵は住宅の戶外への進出である。言を換へて云へば、庭園を住宅の延長と考へ、庭園を戶外室として利用する事である。こゝに將來の庭園の基調がある。

從來の我國の庭園を觀るに、其多くは所謂築山林泉式と稱するもので、山を築き池を穿ち、珍らしい木や高價な石を配し、只主人一人の趣味を滿足さし、來客の觀賞に供するを目的としたものである。そしてそれは座敷の中から坐つて眺めるところの觀賞主義の庭園であつた。勿論生活のあらゆる方面に餘裕のあつた往時にあつては、かゝる觀賞を主とした庭園が吾々の生活內容を豐かにし、吾々を樂しましむる一つのものであつたには違ひない。

併し昔とは著しく生活狀態の變化した現代にあつては、かゝる從來の庭園が、到底そのまゝ吾々の住生活に適合し得べくもない。第一從來の様に、珍貴な燈籠や木石を配して靜かに之を觀賞するとか云ふ様な悠長閑雅な餘裕は、現代の一般人には求める事が出來ない。から云つたからと云つて、決して

藝術的香りの高い從來の日本庭園を排するものではない。むしろ現代の樣にめまぐるしい生活にあつては、僅かの間でもかゝる藝術的法悦境にあつて、すべてのわづらはしさから解放され、心を慰やす事こそ必要な事かも知れない。

併しながら現代の一般の人々はかゝる境地を欲する前に、先づ空氣を求め、日光を求め、土を求め、子供の遊び場を求めてゐる。何よりも第一に健康を求め戸外生活を要求してゐる。庭園に藝術的價値を求める心は、先づかゝる第一義的要求の滿たされた後に起るべき氣持である。

即ち之からの一般庭園は、先づ第一に家族すべてのものが戸外生活を樂しむための場所であると云ふ事が根本要件である。即ち主人にとつては散策思索の場所となり主婦にとつては裁縫讀書の場所となり子供にとつては勉强し運動する場所となるべきである。或は又來客の爲の應接間となる事もあらう。かくて戸外室としての庭園こそ、從來の觀賞主義の庭園に代つて、新しい時代の吾々の要求を滿たし吾々の生活を快適ならしむるものなのである。

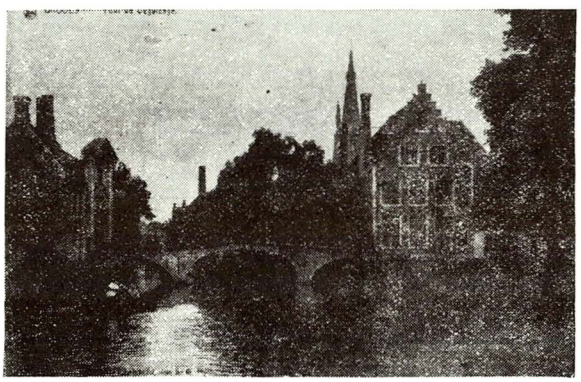
更には又吾々のすべての生活が歐米の樣式を盛んに取入れ、住宅建築そのものも次第に洋風化しつゝある時、獨り庭園のみ古來そのまゝの築山林泉式を因襲して行く事は許されない。住宅と庭園とは一體をなすものであるが故に、住宅が變れば庭園もそれに調和する樣變化すべきは當然である。

併し建築に應じて庭園も純洋式のものにすべきか、それとも從來の日本式庭園に多少の變化を與へるか、或は兩者を折衷するか、或は又全然別個の立脚點から出發して新しきものが創り出されるか、かゝる問題は今後の事に屬する。住宅建築の樣式が現在過渡時代にあると同樣、庭園の樣式に於ても未だ決定的なものを提示する事は出來ない。

併し何れにしても、將來に於ける住宅に於ては、住宅が戸外へ進出し、庭園の戸外室的利用が盛んになる事は疑を容れないところである。從て建物と庭園との關係が益々密接になる。而して機能的兩者の關係が密接になると共に、美觀上兩者の調和を圖ると云ふ事も當然考へなければならない事である。

庭園を戸外室として利用する事になれば、建物に續いてテレース或は藤棚式のものが盛んに設けられる樣になるであらう。更には氣持よく刈込んだ綠の芝生、それにプラタヌス、アヲギリ等の綠陰樹と椅子テーブルと四阿の類はこれからの庭園には先づなくてはならないものであらう。又子供の爲の簡易な遊戲器具も備付けられるであらうし、菜園、花畑、養鷄舍、硝子室、小プール等も設けられる事になるであらう。或は彫刻物等も戸外室としての庭園を裝飾する有力なものとなるかも知れぬ。

要するに戸外室としての庭園に於ては、家族すべてのものゝ利用の爲に最も都合よく設計されると云ふ事が何よりも必要なことである。併し美觀上此等の戸外室としての庭園を建物と調和させると云ふ事になれば、建物の樣式によつても異るし、又其地方によつて庭園の構成材料も異るので、一概に云ふ事は出來ない。個々の場合に直面して初めて具體的に云云出來るものである。併し一般的に云ふならば、建物の附近には建設物にしろ植栽にしろ、すべて建物と調和する樣建築的な手法を行ひ、建物を遠ざかるに從つて次第に自然味を加味して行き、純自然式の風致に終ると云ふのが最も無難な方法である。



和耳義ブルージュ
ポン・デュ・ベギュナージュ

‖五・三・一七受付‖

都心の風致

藤田進一郎

1

市街地建築物法第十五條には、『主務大臣は、美觀地區を指定し、その地區における建築物の構造、設備または敷地に關し、美觀上必要の規定を設くることを得』とあり、また都市計畫法第十條には、『都市計畫區域内においては、市街地建築物法による地域及び地區の外、土地の狀況により、必要と認むるときは、風致または風紀の維持のため、特に地區を指定することを得』とある。

しかし、まだわが國の大都市には美觀地區とか、風致地區の指定された例しはきかない。十年前にもできた法律の一部が、まだ空文に終つてゐるので、都市建設上、いかに審美的要素が閑却されてゐるかは、これをみても窺ひ知ることができるのである。

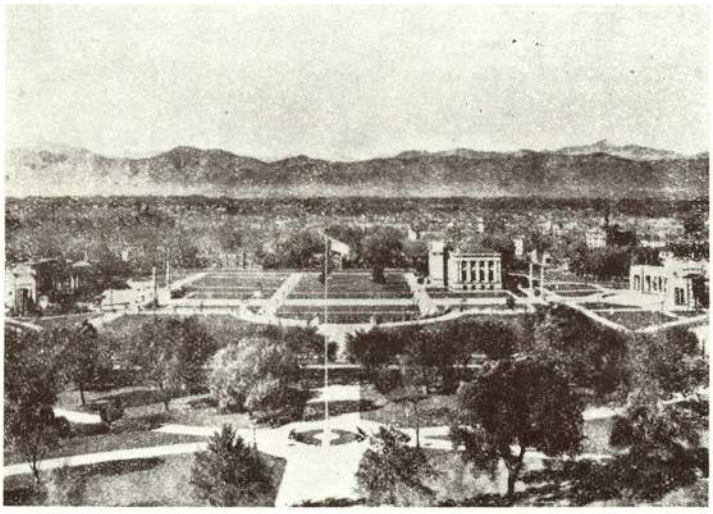
大阪府では近ごろになつて、漸く中之島一帶を美觀地區に指定しやうとする企てがあるさうであるが、それもいつになつたら實現されることやら、まだ見當もつかず、東京市では、復興祭までも行はれやうとしてゐるが、美觀地區のことは一向にきかない。丸の内一帶はどうやら美觀地區らしい樣子を見せてゐるが、これはたゞ地價などの關係上、偶然建築物に一種の最低限度がつけられたゞけで、それは計畫的のものではなく、まとまつた一つの全體として見るとき、頗るもの足りないものである。

2

美觀地區または風致地區を指定し、環境の風致を害し、街衢の體裁を損ずるやうな建築物の改修または除外を命じ、區域内の建築物の高さ、軒高、外壁の材料や主色までも指定し得る樣にするのはいゝが、同時にそこに、この美觀地區、風致地區の中心として、都市の品格と威嚴とを示し、市民の意氣と誇りとを徵象するいはゆる都心（シヴイツク・センター）を作りあげねばならぬ。美觀地區、風致地區を指定するだけで、それを一つの全市的または地方的な都心にまとめあげることをしないのは、龍を描いて、睛を點ずることを忘れたものである。復興の東京市は、ちやうどそれだ。偶然にできた美觀地區、風致地區らしいものは、そこゝに散在してゐるやうだが、たゞ一つの計畫的な都心をもつてゐない。

西洋ことにアメリカの新興都市を遍歷して、さほどの大都市ではなくとも、とにかくそれ相應の都心をおの〳〵持ち合せてゐるのを見つけた目には、どんなに大きな都市でも、一向それを持ち合せない日本の都市は、みな顔のない人間のやうにうつる。深海にはぐゝまれた眞珠のやうに、都市の中心に包藏された魂を、外面に表示するをもつてゐない。

第一圖　デンヴアー市の都心





第二圖 フイラデルフイア市の都心 フエアマント公園（前面にあるのは美術館）

公館もしくは半公館を一つところに集中したものと解されてゐるが、これは單に事務的に便利だといふだけの理由でさうするのではない。かうした多くの建築物を一かたまりにして、綜合的にある美觀と威嚴とを表現し、こゝにその都市の個性を發揮するためなので、これだけでもさうする價値が十分にあるものと認められてゐるのである。市民の誇りと力とが、目に見えるやうに、具象的に表現されてゐることは、都市生活にとつて、最も有意義なことである。

コルビュジエは、市民の誇りについて、つぎのやうにいつてゐる。誇りはわれ〳〵を一つところに引き寄せて、事物を眞正面からみせてくれる。失望と沮喪との代りに、新らしき精力と力とを與へてくれる。無頓着と放心との代りに、鋭敏と活動とを與へてくれる。それは力強き槓杆だ。高慢でもなければ、虚榮でもない。

歴史を顧ると、過去には、共通の都市の誇りが、民衆に對して、信仰と活動とを教へた時代があつた。しかして行動が信仰によつて皷吹された時に限つて、最善の時代が發生してゐる。最善の時代は、行動から（時々は一つの單純な事件から）發生し、さらに計畫、發明、發案及び新思想の形式において、行動を皷吹する。偉大なる事物の完成されるのはその時だ。何となればそれによつて持ち來さるゝ特殊の狀態は、人間活動の各方面に影響を及ぼし、社會的側面と、物質的側面とを併有する靈魂的構成を結果するからである。創造力に賴らなければならぬ美はある新らしき美のうちに顯現される。行爲の所産にかゝる美は、熱心を皷吹し、人をして行動に奮起せしめる。しかして幸福なる人々は、その市民の誇りによつて、普通よりも一層高き水準にもちあげられ、支持せらるゝことを發見するのである。

4

都心を建設するのには、市關係の公館または半公館だけでは不十分な場合がある。尤も市關係の公館が主となり、中心となるべきものではあるが、しかし、他の府縣廳關係の公館もまたこれに協力して、一層大なる効果を收め得ることがある。アメリカの諸都市の都心には、よく聯邦や、州や、縣關係の建築物までが調和的にとり入れられてゐる。セントルイスが、その聯邦政府の建築物を、廣場にもつて來てゐるのは、市の希望に隨つたものださうである。

アメリカの都心に配置された公館は、大てい市役所、歴史館、講堂、圖書館、公立學校、警察署、消防署、公會堂、美術館等である。デンヴァー市のギリシヤ風の劇場は、珍らしいもの〻一つに數へら

3

都心といふと、普通には市役所、府縣廳、圖書館、博物館、美術館、公會堂、商工會議所、ホテル等の

る何ものもなく、たゞ街路と建築物との一大迷宮にすぎない。帝都の復興もいゝが、都市の顔を忘れた胴體ばかりの復興は、大地震で首を揺り落された大佛さんのやうな感じがして、ちよつと拜む氣にはなれない。

れてゐる。アシュヴィール市の都心には公設市場までも含まれてゐるのが、例外中の例外と見られてゐるが、最近キャムデン市では、都心の附近に農民市場を建設しようとの計畫があるさうである。インディアナポリス、バルチモーア、デンヴァー等では、記念碑が主要のまたは補助的の景物となつてをり、カンサス・シティーでは自由の記念像が都心の焦點に陣取つてゐる。フイラデルフイアの都心は一つの廣々とした公園道を成し、美術館その他の公館は、大きな軸的構成のうちに含まれて、細長い都心の一端には市役所が立ち、他端には博物館が立つてゐる。



第三圖　サンフランシスコ市の都心

市以外の州や縣の公館をとり入れたのには、アルバニー市、アシュヴィール市、クリーヴランド市、デンヴァー市、ケノーシャ市、トレド市等があり、ウイルミントン市とミルウオーキー市とには、市と縣との連帶建築物がある。

半公館としては、クリーヴランド市の商業會議所や、バツファロー市及びプロヴイデンス市のホテルやウイルミントン市の威嚴ある商業建築物などが、適當にとり入れられてゐる。

橋梁と水邊とをうまく利用したのは、デモアン市の都心であり、ハリスバーグ市も、水邊公園のとり合せに成功してをり、セラー・ラピツド市（アイオワ州）の水邊構成も上出來である。

5

都心の風致に、最も關係の深いのは、理論建築の樣式である。アシュヴィール市では、市役所の眞似をして、縣廳を建てたがために、おなじ形の建築物が雙生兒式にならび、風致は頗る面白くないといはれてゐる。これに比較すると、クリーヴランド、サンフランシスコ、デンヴァー等の諸市では、その建築叢に現はれた構成上の調和が、全體的の印象を、甚だ深いものにしてゐるとの評判である。パサデナの都心も、よく調和のとれた建築物で、市の威嚴と魅力とを存分に表現し、またハウストン市（テキサス州）の都心は、統一のとれたスペイン風のスタイルの建築物をもつ　特徴づけられてゐるので有名である。

都心の建築物の形式やスタイルをきめるのに、第一に考慮しなければならないのは、その都市に本具した特殊の個性にふさはしいことである。たとへば、大阪のやうな商業都市には、その個性にふさはしい都心が必要であり、京都市のやうな遊覽都市、東京市のやうな政治都市にも、またそれ〴〵の個性にふさはしい都心が必要である。アメリカでは、あの廣場を圍んだワシントン市の公館の古典式なスタイルは、もつと大きな都市に適當だらうといはれてをり、ニユー・イングランド地方やカリフオルニア州あたりの中小都市では殖民地時代からの傳統である威嚴のある繪畫式のスタイルの建築物は、市民の生活を表現するに、最も適切だといはれてゐる。

6

なほ、公館をどんなに集中させたところで、それだけで、都心は完全に出來上るものとはきまつてゐない。周圍一定の距離に亘つてあらゆる建築物になるべく風致を害せぬやう適當の管理を及ぼす必要がある。これがために、バルチモーア市では、土地の超過買收までもやつてをり、ダラス市では、

都心を去る一ブロック以内の土地所有者は、市の技術委員會の承認を經るにあらざれば、どんな建築物をも建てゝはならないことにしてゐる。

わが國ならば、市街地建築物法または都市計畫法によつて、美觀地區または風致地區を指定し、そのうちのどこかに都心を建設することにすればよからう。單に、美觀地區、風致地區を指定するだけでは、都市の顏、都市の魂、都市の誇はでき上らないのである。

（昭五・三・一八受附）



建築と風致

關口鐵太郎

建築と風致とを併せ考へるときそこに二つの側面のあることが直ちに思ひ浮ぶ。一は建築が主であつて風致が從である場合、他はそれと反對の場合である。都會その他多くの場合に於ては建築が主となるのであるが、風景地や公園の中などに於ては風致が主となる。

今實際問題に入る前に、建築と風致との關係に就て少し考へて見たい。元來この問題は頗るデリケートなものであつて、殊に近頃のやうに、經濟的壓迫の下に立つてゐる世の中にあつては益々その感が深い。

凡くより工業の發達したイギリスでは、工業のため恐ろしき迄に破壞され行く自然風景に對する保護のことが官民の間にしきりに論ぜられてゐるのであるが、その最も著しい活動をしてゐるのは民間の團體であるところの『史蹟及自然美保護協會』である。その協會の事業に絶大の好意を示してケンブリッヂ大學の近世史を擔當してゐる教授トレヴェリアン氏は最近『イギリスの美は死滅しなければならぬ？』と題する小册子を出版してその中に大體次のやうな意味のことを述べてゐる。

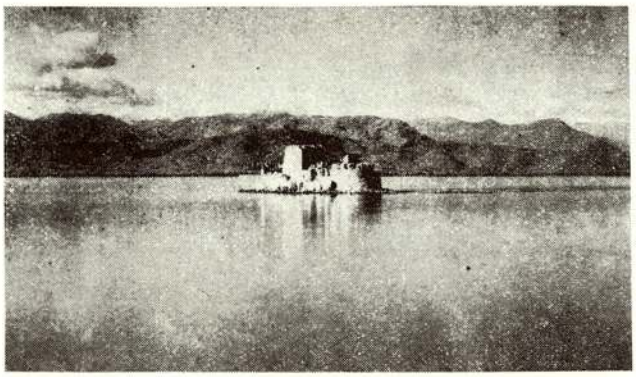
◇

『イギリスの自然美を保護し保存する仕事は如何なる理由によつて價値づけられる？。一は經濟的であり他は精神的である。自然美は一の資本である。海外より毎年イギリスに押寄せる多數の遊覽客はこの落付のある親しみ易いイギリス獨特の風景にその位憧れを懷いてゐるか知れない。それのみではない、イギリス內地の都會生活者は日曜や休日を利用して殘雪の如くに押固して來るではないか、それはとりも直さずその地方を富ましめる所以である。又かやうな田園自然に憧れをもつて多數の人が集るといふことは、そこに或る無形的な價値が存在してゐるからである。つまり精神的慰安である。幸福な健全な善き生活をなさんとする人達にとつて必要な糧である。又古來宗教や藝術等にその名を謳はれた人達は何れも自然の愛好者であり讃美者である。彼等の想像力創造力、靈感等は凡て自然との接觸によつて生れたものである。かういふ精神的價値は金錢に見積ることが出來ない。從つて往々にして等閑に附せられ勝ちであるのは甚だ遺憾であるといはねばならぬ。

かやうに重要な意義をもつてゐる自然美は、然らば現在如何に取扱はれてゐるか。物質萬能產業全盛の現代は、自然への飽くことなき蠶食胃濟を敢て爲し停止する所を知らない。若しこのまゝの狀態がいつ迄も續くとするならばその結果は如何？幸にして現在まで殘されてゐる風景地もやがては損傷され死滅させられてしまふであらう。而して一旦さういふ運命に會した上は再び元の姿に復することは殆んど不可能である。それは金錢や勞力を以て如何ともすることが出來ない。一個の彫刻、一枚の繪畫に數千金數萬金を投ずることを

敢て厭はず大英博物館や國立美術館を設けてゐる國が、又識者が、生きた偉大な彫刻であり繪畫であるところの自然風景についてあまりに關心無さ過ぎはしないか。

吾々は如上の意味に於て自然美の破壞を極力防止すると共に又その助長に努めなければならぬ。それがためには一定の地域を限つて保存することは固より必要ではあるが、然し國や公私の團體の限りある資力丈けを以てしては到底理想の萬分の一も實現出來ない。こゝに於てか、一般國民の自覺と協力とが最も望ましいのであつて、殊に風景地に建築を營まんとする如き場合には、その位置、樣式、色彩等に就て十分の注意がなされなければならぬ』。



第一圖 希臘ナウプリア城の島

◇

アメリカに於ける都市計畫及造園學の權威ハバード教授は其近著『今日及明日の吾々の都市』の中に於て都市の美に關して次のやうなことを述べてゐる。

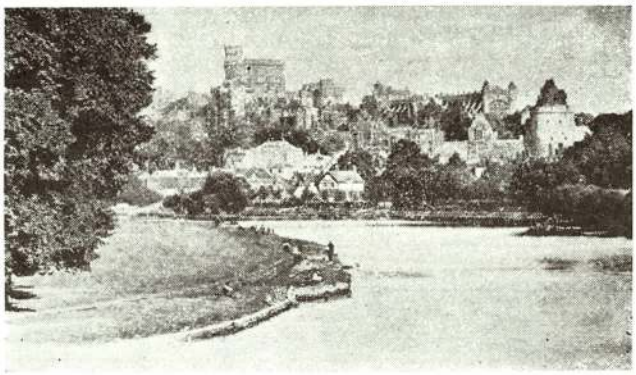
『アメリカに於て都市の美を盛んに論ずるやうになつたのは一八九三年世界博覽會をシカゴに開催してからのことである。幾多の局部を總合して建築と風致とのよき調和を如實に公衆の面前に示した同博覽會は痛く市民の心を打つたのである。それ以來『都市を美しくせよ』といふスローガンを揭げて突進した都市美化運動の結果として現はれた幾多の事業の中、最も顯著にして且つ成功したものは、ワシントン都市計畫の復活、シカゴ都市計畫の樹立及フイラデルフイア市フエヤマウント大公園道路の出現であるが、この他各都市に於けるシヴイツク・センターの改善大學、專門學校等のキヤンパス、全體の統合的計畫、公園の計畫、街路の美化、住宅地の風致的開發等枚擧に遑がない。

而して都市の美に就て考ふる場合特にその必要の强調さるべきものは凡そ次の三つである。即ち一は保養地或は休養地。二は住・居都市及郊外住宅地。三は首都及都心。

フロリダ州やキヤリフオルニア州には第一類に屬する都市が澤山あるが、それ等は惠まれたる自然の風景や氣候及建築の美しさのために大繁昌を呈してゐる。マサチユーセツツ州のバークシヤー地方はその勝れた風景や氣候のために避暑地として有名であるが、その安價なる路傍開發のため禍されてゐるところが多い。繁忙なる都會生活から逃れて休養をとらんとする人々が最も渴望してゐるものは何といつても自然美である。將來益々其重要度を痛感さるゝ處の保養地休養地としての第一要件は自然美を如何にとり入れ如何に開發し如何に創造するかに在る。

最近到る處の都市郊外に現はれつゝある住宅地には經濟的、都市計畫的、風致的に成功してゐるものが少くない。ボルチモーアのローランド・パーク、キヤンサス・シチーのカウンツリー・クラブ區等は其好例である。これ等は何れも住宅地とし 便利、快適といふやうな條件を具備してゐるとはいふまでもないが、特に全體として統一的な風致計畫が行はれ極めてアトラクテイブな環境を形作つてゐる。土地を求め家を借りやうとする者は多少金を餘計に出しても爭つてかゝる場所に赴くが故に、經營主の方で最初に拂つた犧牲は容易に償はれ、而かも住民は永遠の福利を享受することが出來る。

最後に第三類に屬するものとして、首府ワシントン及サンフランシスコやデンヴアー等の都心を擧げることが出來る。一國の首府や大都市の中樞をなす都心が其威儀を全ふせず、亂れた姿を呈してゐる樣ではその國その都市の體面に關はる。外形を整へることはやがて精神をも統一する。否さういふ消極的な方面丈けでなく尙積極的



第二圖 英國ウインゾルの城

に共の都市の繁榮を招くものである』。

◇

以上二人の說は或は自然美の保護保存であり、或は都市の美の問題であるが、それは結局建築と風致に關する所論でもある。吾々が土地に對する加工特に地表の外形に最も大なる變化を生ぜしめる仕事はいふまでもなく建築である。吾々の眼に觸れる世界を美しくもし醜くもするものは建築が最も與つて力多い。而して眞に善き仕事の最後の仕上げは美の表現に在ると信ずる。從來勝れた建築家の手に成れる幾多の名建築がある。それ等は何れも建築それ自身に於ては立派な作品である。而しそれが適當な環境の中に置かれてあるならば、一層その美を發揮し價値を增すと思はれる場合が、隨所に發見されるのではなからうか。建築の美、殊に外部から見たときの美はその敷地の地形(平面的立體的)空地の面積、造園的施設、外圍の景等に支配される所が多い。それ等の點に就て從來遺憾とする所がないであらうか。

私は次に日頃感じてゐる二三の實際的問題について考へて見たいと思ふ。

◇

近來立派な公共建築が到る處に造營されつゝある。而してそれ等の多くは永久的な構造に造られ多額の費用がかけられる。然るに敷地の面積が狹小なため前庭を十分にとることが出來ず、可惜優秀なデザインに成る建築が公衆によつて十分に鑑賞されずに了ることもあり、或は又建築の周圍に相當の空地を存し乍らも、滿足なる風致的計畫の行はれてゐない爲に恰も寶を汚れた風呂敷に包んだかの如き哀れむべき光景を呈してゐるのもある。吾々が或建築を眺めんとするとき最も適當な距離は其建物の高さの三倍の距離だと稱せられてゐるが、風致的修飾を加ふる點より考へても凡そ建物の高さの二倍乃至三倍の奥行を有する前庭を設くることが望ましい。而し風致的修飾のために要する費用は建築費に比すれば極めて輕微なものでアメリカの專門家の謂ふ所によれば二%乃至五%でも出來得るといはれてゐる。尤も彫刻や噴水等の贅澤なものを加へるとすれば費用も相當嵩むであらうけれども、實際には簡單な植栽だけでも體裁を整へることは出來るのである。故に將來公共建築の設計に當つては建築周圍の風致的修飾の費用をも大體見込んでおくやうにしたいものである。

◇

住宅地の風致に關しては柵圍、前庭等のことが問題となる。相當立派な住宅地で、道路を挾んでコンクリート、煉瓦、板等の塀や生垣などが入り交り、高低區々として居並ぶ有樣はあまり感心したものでない。各住宅を別々として見れば相當立派なものであつても、住宅地全體として見るとき甚だ見劣りがする。又住宅が道路殊に狹い道路に接して在るのも快いものではない。故に今若し相當の巾(數米乃至十數米)の前庭を設け柵圍の材料や高さに一定の制限を附し、更に公道の上若くは前庭の外側に沿うて並木を植栽するやうにすれば、住宅地全體として或程度の統一がとれ風致を見違へる程に改良する事が出來て、其處の住民の住心地を一層よくするのみならず、其處を通過する人々にどれ丈け慰めとなるか知れない。

近來交通機關の發達に伴うて都市附近の風景地が盛に開發されて行く。殊にケーブル・カーの普及は山地丘陵地へも容易に近づき得るやうにした。さういふ風景地に於ける建築に就てはその商業建築たると住居建築たるとを問はず樣

式や位置等について十分の考慮のなさるべきは勿論であるが、又實際なされてゐるには相違ないであらうが、時々遺憾に思ふことは、建築と四周の風景との連絡が無視されてゐるかの如く思はれる場合に遭遇することである。風景地に建築がなされる場合には建築の周圍に相當の區域を劃し、それを連絡地帶又は緩衝地帶として建築と四圍の風景とを調和的に結合するため適當な取扱をなすやうにしたい。

　このやうな個々の問題を捉へて論ずれば未だいふべきこともあるが、今は是を以て擱筆することにする。（五・三・二二受付）



風景美より建築を見る

井下清

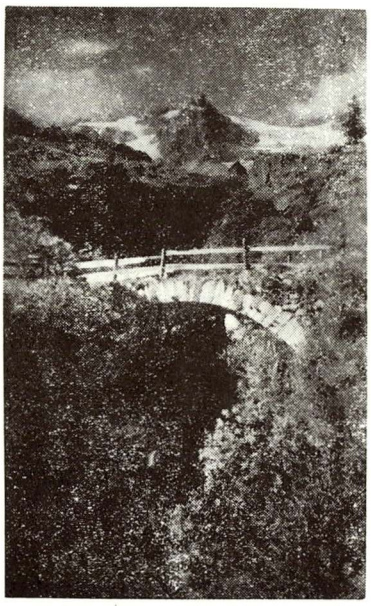
　山水の自然美も藝術的に觀賞されるだけとすれば、現代のやうな生きんが爲如何なる爭闘も辭さぬ時代には有閑階級の保健策として閑文閑書の資料となるだけとも見られる。然しそれ等に反感を持つプロレタリヤにも、自然の美や人爲美が物質以上に其日の勞苦を慰め精神を休養することに、如何に力があるかと云ふことは確に認められて居ることであらう。

　更に自然の風景美や人爲的の藝術が、觀光的目的物となつて國の富源と見られる時に決して風流人の閑問題ではないのである。茲に於て風景の開發、自然の裝景、建築美の統制と云ふことが趣味を離れて産業政策としても考へられる時代となつて、各自が主觀的な横暴を風景美の上に加へることは國家的に或は社會的罪惡であると云ひ得るのである。

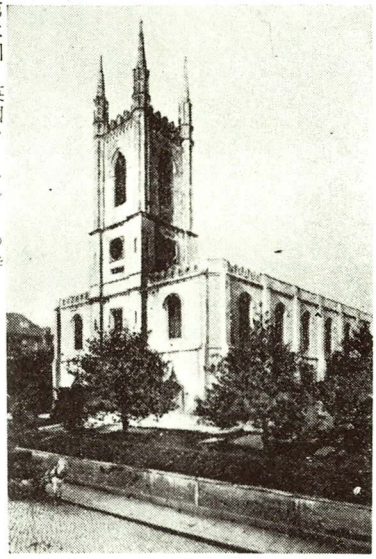
　然し自然美でも人爲美でもそれが働きかける力は美其物の大さ深さよりも共れを受入れるもの丶大さ廣さにあると見るべきで、中身は入れ物に左右されるので超然として美を論ずるよりは受入れられる形なり機會なりを研究することが現實味があると思ふ。美は感受性の強い者には至る處に充ち滿ちて居り鈍いものには要するに豚に眞珠猫に小判である。人跡未踏の深山幽谷に自然美を探る者には畦道の草々に宿る神秘的な自然のさゝやきを聞くことは出來ぬ。山中の湖上に月を賞さんとするものには物干屋根で清い澄み渡つた月と談ることは出來ぬ。又輪奐の美を競ふ都大路に必ずしも都市美を見出すことが出來ず、古い貧乏町の露路に人の聚落らしい建築美と生きた社會相を見出して藝術化されて居るとは屢々繪畫や文學に見る處であつて、見る眼によつて美の存在と其價値を左右することは興味のあることである。

◇

　建築を地方風致として見る時にも當然見る目によつて主觀的立場



第一圖　スイス　マイエン・タール



第二圖 英國ウインゾルの寺

によつて異るのであるが、工作者は建築を個々に見るが他の人々は建築群としての壯觀なり調和を見て個々に注意を拂はずに、壯大華麗な建築は當然なものとして看過されるが、其處にある相互間の不調和な分子があればそれのみが論議されることが多い。然してこれは所謂素人の側であつて建築家は此の點には案外に鈍感であるやうである。專門家は建築物として見るものを、素人は風景として見る爲めに、建物を其環境の內に於て見ることから其處に論評の立脚點に相異がある。

然し風景美の上から建築を見る時には建築を個々に見ることは誤りであつて、建築群として又は景中の一員として見なければ正しい見方ではない。他の場合に於て例へば室內裝飾に於て各個の家具裝飾品を獨立して見る場合は一の物品であるが、統一された室內裝飾としては何れが善過ぎても惡過ぎても其所に綜合的な美を求むることは出來ない。又衣服裝身美にあつても帶だけ、簪だけを如何に麗しくしても他の衣服がそれに伴なかつたなれば質素な調つた裝ひをした人に及ばぬと同じであらう。

◇

建築風致から見て見逃すことの出來ぬことは時の力である。自然でも人の營造物でもそれに永い時の經過が現れて居るほど強い魅力を加へるものであつて、自然の山でも風雪の爲め絕へず荒らされるものは高山であつても若々しい感があり、低い山でも岩が風雨の爲め蝕まれ苦むして密林で包まれて居れば如何なる神仙が居ますかと云ふ感を與へる。樹林でも高原の林よりは深谷の崖に千古の秘境を窺ふ如きは、數學的には同じであつても其處に時の表現が破壞されることなく永く存續されて明かに認められる爲めであらう。建築物に在つても永い年月に時の影響を受けても損傷することなく存續して其間に時の經過が明かに印されて居るもの程何とも云へぬ力強い感銘を與へるものである。これは一面に於て永い年月の間、尊重保護されるゝに足るだけの價値あるものであつたからとも見得るのであるが、それと全く同じものを今營造しても同じ感じが求め得られぬことを見ても時の力を認めざるを得ないのである。

伊佛の名園にある壯麗な彫刻建築に於て、若しあれが新しいものであつたなれば我々には觀賞する程の理解力を持つて居らぬであらう、我名園に於ける岩組其他裝飾物なども同樣であつて、全く同じ型を刻むでも到底原物の味ひは出得ないのである。問題は比較にならぬ程大きいが建築に於ても同樣であると云へる。

人爲美に於て最も力強いものは何としても建築美であつて、自然美と拮抗するものとして人の力の最大の表現は建築であると云ふも過言ではなからう。造園の如きは營造の當初に於ては人爲美であるが永い歲月の經過は人爲の跡を消して自然美が其れに代ると見るべきものがあるが、建築にあつては如何に時の力がそれを練成しても構造物たる建物には何等の相異が無く毅然として大自然も滅する能はぬ力強さを存續して居る。

斯かる建築美に於てそれが調和と統一のある建築群として數百年の間保存愛護されたとすれば、歐洲古都に於て我々が受けるやうな力強い壯觀を味ふことが出來るであらう。

此の問題は人爲美の構成に極めて敏感な專門家はさくに痛感されて居ることであらうが、注文主の無理解からして周圍と特異性を大にすることを強要され、又設計家自ら他に囚はれぬ創作に精進される餘り、特異性が過大となり風景としては甚だ不調和なものとなることが多い。これには我々社會生活の變遷や法制上の缺陷もあることで

はあるが常に新しいもの、他より異つたもの、他を超越したものを進んで求める時代思潮の反映はであるまいか。

◇

茲に於て我々造園側から提唱したいことは、建築物に造園的配景を爲して、建物相互間の特異性を傷けることなく、調和連絡せしめることである。此の配植は其建物に自然の綠色を添へて自然美と人爲美との調和をする外は建物の特色を助長するのでなく、其を輩す爲めのものであつて獨立した庭園を造るのではない。然るに往々斯かる場合に建築様式を尊重し、過ぎた植栽を試み又は別に技巧的な庭を添へ益々混亂に陷らしめて居るものも無いではない。又縱線を基調とする外觀に對し扁頭の植栽を爲し横線に對し光頭の植栽を試る如き又は朱系統の色には暗色の濃い植栽も悪い影響を與へぬが、青味又は暗色系統のものには淡綠色の極めて輕い植栽をせねば調和に苦しむ如き單純な智識さへ缺いて居る植栽を試る如きは實に滑稽である。

建築に附帶して夫が美觀を增すべき配景となり、又隣接建造物より受ける影響を防止する植栽の如きは、當然建築の延長として其輪廓だけは建築の外觀を定むる際に考案し、それを理解ある造園師の手に於て實現せしむべきものであると思ふ。

風景美として建築の風致を見る時に建築と造園との連絡協力をすることは、人爲美を自然美を以て裝ひ、其缺陷を調和するものであると見たい。〓五・三・二三受付〓



風景地の建設物に就て

椎原兵市

□

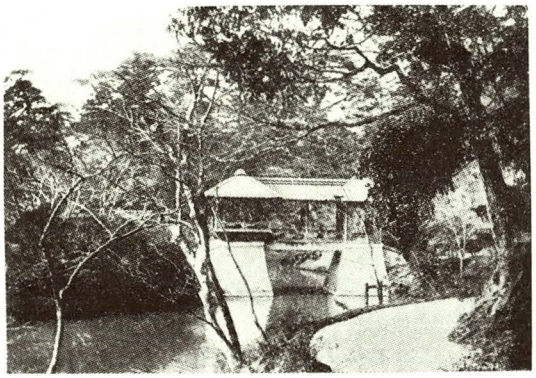
建設物の外觀が如何に環境の風致に大關係を及ぼすかは今更贅言を要しないが、特に風景地とか公園、庭園等の内に建てられる建築物は、その外觀の裝飾なり様式の選定なりには、多大の注意を拂つて貰ひたいのである。自分は造園の方面に掌はつてゐる者の立場として自分達が日常觀察したり或は傳聞したりしてゐる事實に就て、本誌を通じて建築界の諸彦に希望を申述べる次第である。

風景地と云ふ文字は説明するまでもなく、優秀な天然の形勝地域を指した意義で、この風景地に建設せらるべき建物は、それ自體が既に風景そのものの一添景物であるから、審美的な素質を有つものでなければならない。從つて必ず周圍の風物に調和したものであることも當然な要求である。古來日本三景として著名な嚴島にしても、眞の美觀は海に臨んで嚴然と水を壓して列び建つ殿堂、廊廓や水中に浮び立つ大鳥居が、その丹塗の麗姿を藍碧の海波に映發して、そこに風景美と建築美とが渾然と融和して、觀者を恍惚たらしむる因子が存するからである。岡山後樂園から展望した二瓶山の塔影は、唯一つの蕞爾たる一小塔ではあるが、その可憐な風姿が楚々として



第一圖　桂離宮御庭先松琴亭附近

一幅の墨繪の風景を見るやうな好感を與へ、後樂園にとりては大切な一要素となつてゐる。又和歌の浦の風光も今日では埋立工事や市井の民家に包圍されて昔日の觀は全く破壞せられてゐるが、古來人々に喃炙せられ俗謠に唄はれた如く『一に權現、二に玉津島、三に下り松、四に鹽釜……』は青松白砂の曲浦に臨んだ奠供山、妹背山物見山等の諸丘陵の自然美の裡に觀海閣、多寶塔、不老橋、三斷橋等の人工美の點景を得て、洵に渾

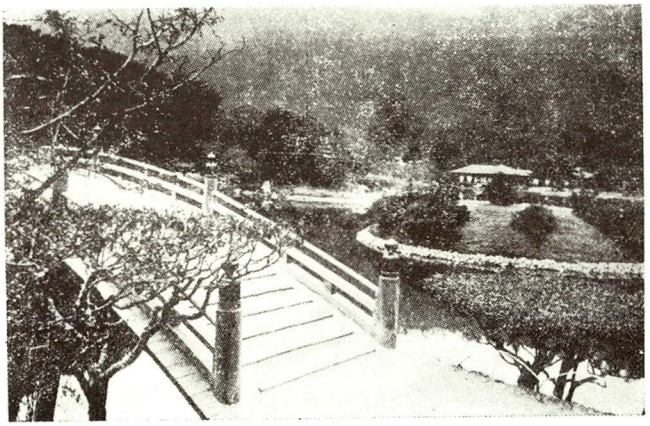


第二圖　修學院離宮御庭の千歲橋

然たる綜合美を表現してゐたのである。高松栗林公園の群鴨池に建てられた大觀の瞰鴨閣と呼ぶ釣殿風の建物も、その構造の風雅な點に於て良く環境と調和を保ち、池そのものゝ庭趣景觀を增大してゐる。斯如昔時先輩は隨分思ひ切つた事業と優秀な藝術的作品を殘して呉れてゐるが、明治、大正の文化は更に之等の作品を見ないのは遺憾である。松島公園の五大堂附近の景勝地を卜して、先年建設されたシーサイドホテルにしても、奈良ホテルにしても、日光中禪寺湖畔のレーキサイドホテルにしても、孰れも風景地の建物であるから、設計者としてはその建築樣式の選定には相當苦心を拂つたものであらうが、新築された當時は兎角の世評は免れ得なかつたやうに記憶してゐる。然し風景地の建物として相當の注意を拂つたと云ふ事は吾々は多謝すべきであるが、將來は更に洗練された作品の現出を希望してやまないのである。

□

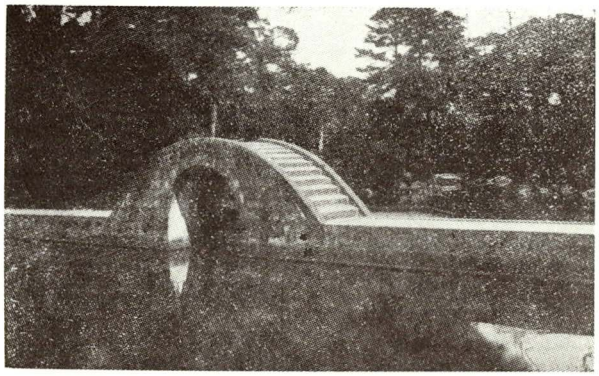
面積がもつと小さく局限されてゐる一つの公園や庭園にしても、四隣の風物に調和すべく建設物が當然設計されなければならないとは、廣大な地域に亘る風景地以上に肝要なとである。畏れ多い例ではあるが禁苑の中でも庭園として海外にまで聞こえてゐる、日本の代表的名園であるかの桂離宮の御庭に就て考へても、其庭園美を補ふに建築美の如何に與つて力あるかゞ覗はれるのである。御庭先の御茶屋の松琴亭の池畔や、四阿屋である卍字亭附近の景色はピツタリと建物と庭園とが融和して一體になつてゐるやうに拜せられる、又修學院離宮にしても、上のお茶屋の大池と中島に架してある千歲橋と申す亭榭を兼ねた庭橋等も、誠に汀線と何とも云へぬ調和美を示してゐるやうに覗はれるのである、又廣島泉邸の跨虹橋にしてもデザインの優秀と設計者の大膽とには眞に驚嘆するの外はない。自分は夙に考へてゐる人工で出來上つた風景即ち公園や庭は勿論天然の風景地でも自然物そのものゝみでは如何に景色がよいかと云ふてもそこに設備がなかつたなら何等庭園の價値もなく遊園地ともならない。即ち道路とか、橋梁とか、休憩所とか、照明等の實用的のものが欠けてゐては何等人々から利用されぬのである、そこでこれ等の實用的の設備をそこの風景にピツタリ合はせる樣に工夫し設備されてこそ、吾人が使用することの出來る風景地(遊覽地)となるのである。多くの場合に於て之れ等の建造物が中心となつたり、少なくとも點景物となつて景に生



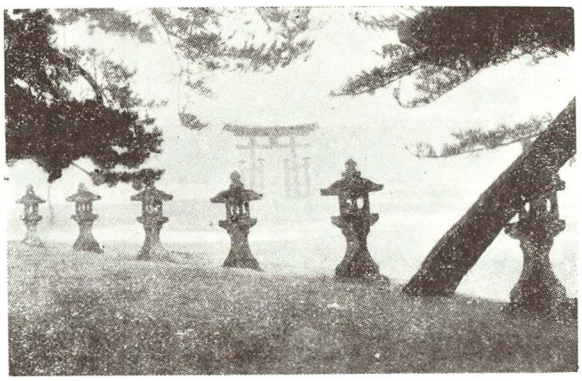
第三圖　栗林公園の中島と反り橋

命を與へ、風致を添へてゐるのである。斯く自然美に人工美を加へて理想の環境を造るのが、建築家や造園家の役目であるのではあるまいか。

先輩が遺した風景地の一局部にある建築物の中にも又公園等に利用してよいものが少くない。例へば和歌浦の觀潮閣とか不老橋、堅田の浮御堂等もそれである。實際に又今日迄で之等を模倣して造られたものが遊園地等でも往々見受けるが、設けた地點が宜しきを得なかつたり、又は建築物それ自體が本物とは似て非なるものか俗惡なものに變つてゐて面白くない。徒に名建築の模倣をやることも勿論考へねばならないことであるが、設置すべき位置の選擇を誤らず環境に調和したものであれば、模倣必ずしも不可ではないと思ふ。然し近代風の樣式を採つた庭園や公園の中へクラシカルな建物を設けるやうなことは避くべきが當然で、自分が古い型をも推賞するのは前述の如く調和を保つべき場合のである。古くから名園と呼ばれてゐる本邦の庭園は縮景的のものが多く、從つて之等の大部分は實景の模寫と云つた技巧が表現されてゐるやうである。小石川後樂園の圓月橋も創案者の朱舜水が支那の西湖堤を模して成功したものと傳へてゐる。近年京都丸山に建てられた祇園閣はさすがに大倉男が巨萬の資を投じて、伊東博士の設計によりて建てられたもので、そのデザインの巧拙は自分等の批評の限りではないが、祇園閣を抱擁する地域が餘り狹隘で且つ背景を有してゐない、つまり環境を無視して建てられたものと評しても異存はあるまい。



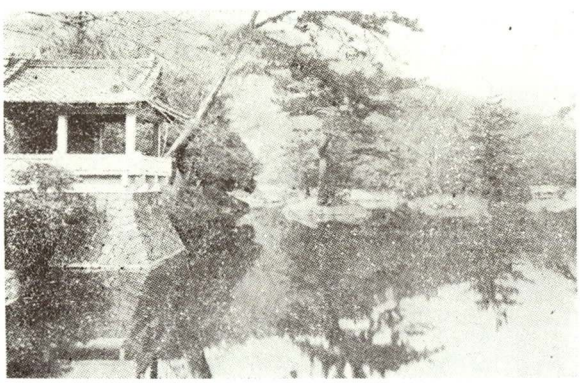
第四圖　廣島泉邸の圓月橋



第五圖　宮島の風景美を飾る點景物

□

次に風致の保護と云ふことも建築家諸彦に是非共考へて置いて頂き度い。それは建設物の位置の選定とか、地割設計に際しては必ず豫め現地を充分調査して、若し竣成後に於て現在の風致を破損する憂のある場合は、出來る丈け設計に變更を加へて現況保存に努めて頂き度い。例へば大阪で最近の實例を擧げて說明するとせば、先づ大手前の松並木はその一つであらう。大阪で唯一つのあの立派な松並木が女學校と府廳舍の建設で全然枯死の運命を早めたことは洵に惜しいことで、當初にもう少し考慮を加へたならば何とか設計の一部も變更が出來たであらうし、從つて並木の枯損も救濟し得たことゝ思はれるのである。又四つ橋から南に流れる横堀の河岸に植へられてゐる柳は可なり立派なもので



第六圖　高松栗林公園の瞰鴨閣



第七圖　風景を飾る點景物
近江堅田浮御堂

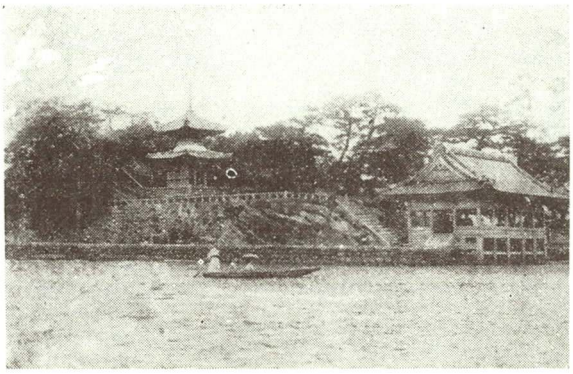
ある。

今日では都市計畫事業に伴ふ道路の擴張や新設の如き場合にも市の土木事業の關係者は相當考慮して貰つて、老樹名木の類は可成位置を移さず存置する方針で、設計を變更をしてまでもそのまゝ保存することにしてゐる。例へば谷町三丁目東寄り電車通りに臨んでゐる大楠樹や、空心町から淀川新橋に至る新道路(元造幣局内)に在る大鹽平八郎の隱れ木と云ふ傳說を持つ大公孫樹の老木等は、孰れも大斧に見舞はれる處だつたが、大部分が車道から避けられてゐるので歩道脇に巨大な姿を存置することを得たのである。かうした實例は獨り大阪のみでなく、恐らく各都市でも幾多の實際問題が起りつゝあることであらうが、直接設計や工事に關係してゐる土木家も、建築家も、造園家も風致保護の大旗をかざして協力一致の意見を持し、凡ての新計畫にこの注意を忘れないやうにやつて行き度いと思ふ。

□

要するに風景地や大庭園に建てらるべき建設物は、その種類の如何なるものたるを問はず、必ずそれ自身が風景なり庭園なりを構成する、一要素たるべきことを念頭にして、建築家は平面的にも立體的にもデザインを練つて貰ひたいものである。即ち風景地や公園や大庭園内に建てらるべき建築物は風致本位のものでなければならない。

本邦でも晩近都市計畫法により風致地區の制定を見るであらうが、之れ等が設定された場合には



第八圖　風景美と建築美との調和
和歌の浦觀海閣

今日土地會社等から蹂躙されつゝある風景地も其難を避けられ又國立公園設置問題が擡頭して來て、天與の風景地を文化事業の犧牲に供することを未然に防止し、更に人爲的に開發して公園的に設備を加へることが計畫されてあるが、之等の風景地の開發に際して先驅をなす道路の新設には、風致を破壞せぬことが第一條件であらねばならない。

次で設けらるべきホテル、休憩所其他幾多の建設物にも、又夫々風景美との調和と風致の保存とを必須條件として、建築を許可すべきものであらうと思ふ。以上は自分が平素からの所感を斷片的に綴つてみたまでゝあるが、幾分でもこの主旨を尊重して頂けば獨り自分のみの幸甚ではないのである。

(五・三・一八)

＝五・三・二〇受付＝



建築美と風致

津田鑿

□建築は綜合美術であり且之に實用が加り、更に構造に對して使用材料の性質を合理化すべく、面倒なる計算を基礎とする必要がある。之れ等の一塊となりたるものに種々異なるものが出來上る、そうして建築には特に美が必要である。小さい犬小屋より大は殿堂に至る迄多種多様の建築に對し、夫々如何にして美を求めんかである。

□美は且つ周圍の風致に支配さるゝことを忘るゝことは出來ない、若し建築物が假りに獨立して造られた曉、其處に附近と不調和の美ありても夫れは見る者に相當の割引を餘儀なくさるゝ事になるであらう。

「S博士が曾て凱旋道路の埋立のとき言はれた事がある、只石垣を積み壕を埋るに止まらず『アーチ』又は適當の方法にて水に相影ずる眺望があつたなれば、更に出來上つた道路の意義があるではなからうか、又市内を貫通する高架鐵道の柱と桁計算と實用上にはあれでもよからうが尚ほ少し美が必要ではなからうか、即ち風致にそふ物にしたいとは尤もである。今實例を東京驛附近に採るとすれば同じ構造の『アーチ』の美は處により差が生ずる、丸ノ内附近では周圍と殆ど調和して居るやうであるが新橋を過ぎると高架が立派過ぎる、又之を『ニュウヨーク』の例に採れば同市の高架鐵骨構造は『マンハッタン』の尖端と下町に行くに隨つて不調和になり『ビジネスタウン』の附近に於ては多少調和して居る感じがある、尚高層建築の美は同市の如き巾狹き場所に林立する處に生ずるからであらう。

□周圍の環境に建築の美が調和する好例は青島であらう、夫は新市街の經營もあづかつて然らしめた事には相違ない事であるが綠の山に『クリーム』色の建物屋根は赤色腰はどれもこれも荒石の亂積大まかに形式を同じくし、其美しい投影は紺碧の海に映じて實に麗はしい形である。

□近代建築に附屬する孤立煙突の殺風景は誰れも感ずる處建築家は如何に其位置に苦しむか、之の好例はN博士設計の〇〇銀行及び『ロンドン』『アルバート』『ミウジヤム』と記臆する後部塔屋の中眞を利用した事である。其處に味ひ度き美がある（煙突の屋上凸出部を飾りし復興式のものは別として）建築には和に木割法あり洋に五範がある希臘人により三種なりし『ヲーダー』は羅馬に至り五種となり、動かすべからざる美の原則を吾々に敎へられて居るが、多少は更に又其の場所に應じ建築さるゝ建物の性質により周圍の風致を考へる必要がある。

□原野に建つもの海に近きもの森の中河邊にのぞんだもの、夫々一言に盡きざる神秘が其處にある、尚ほ且つ造るべき材料にも多大の影響を生ずる事は當然であり、純白の大理石の建物と褐色の煉瓦丹青を塗つたものと素木、銅板と瓦の屋根等其處に非常な差が生ずる譯である、特に日本建と洋風の夫れとは

□偉大なる多くの藝術家の魂を打ち込み永い間に且つ老練なる巨匠の人々により制定されたる、木割又は五範に對して感謝すると同時に、自分の手になつた貧弱なる作物を顧みるとき如何にも建築美の淺きを悲しむ次第である。

□古老より下谷某所の山門に就て

物語りを聞いた、天職に忠實なる工匠が勿論考慮に入れし道路の關係ありたらんも、僅かの木割の活用を誤りし爲め門の高さ僅か二寸低かりしに氣付き、其を苦とし日夜眺めつ嘆聲を發し果ては遂に責任感の爲め死を選びしとは、悲壯の極且つ藝術の如何に貴きかを知ることが出來やう。

□谷中の五重塔にも挿話がある、工匠某氏は自己の要求する貴川と歳月を提供する人を求め住職は世に誇るに足る麗姿を表はし得る匠人を求め、兩者意氣相投じて一魂となり遂に工を始むるに及び住職は資金の調達に行脚托鉢し、工匠は末世に殘し得べき塔の構造と秀美に心身の盡きる迄研究の結果、谷中の森によく調和し嚴然と雲を突く立派なものが出來たとのことである。

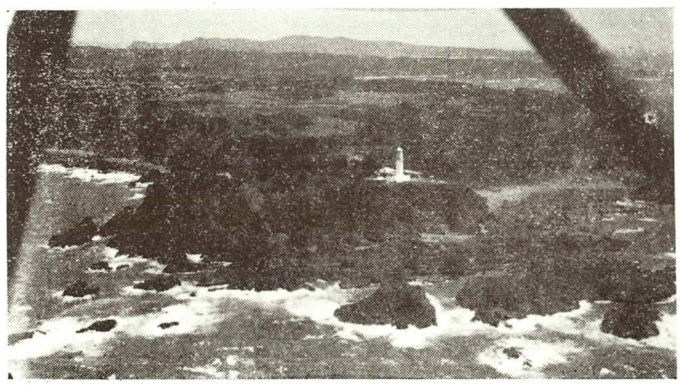
□都市の美觀は多く建造物に表はるるとになる、街路樹照明道路、橋梁又然りではあるが或る建物を甲は美であると云ひ、乙は醜であると云ふ、何れに軍配を擧げたものかに吾人は迷ふ次第である。勿論注意すべきは美を求めるに自己の己性に打ち勝つ必要がある。尙ほ色盲、亂視、斜視等を始め錯覺は如何に吾々を惱ますか、錯覺に就ては既に古名匠先覺者は柱の轉び軒先の『ムクリ』高きもの低きもの長きもの短かきものに就て、夫々苦心と經驗を後世に東の國も西にも教へられてあれども、更に注意すべき木理の如き楣石の櫛形と丸形と水平其他夫々目地の切り方及び材料の品質により異なる差等、微細の點に美となり或は然らざる影響を表はすを忘るゝとは出來ない、門柱は見附きに對して見込は八分取りである且つ塀重門の場合は幾千か頭部は內に傾むける必要は既に周知のことである。

□茫々極まりなき沙漠中に立つ『ピラミツト』阿宇の池に面する鳳凰殿『チベリスク』と『エープル塔』等人の作りしものは批評し容易けれども、自家の作りしものに多くの欠點があるとに氣附かざる間は得意滿面であらうが、若し荒かりし鼻息も何にかのはずみにへし折られ、一步退いて心靜かに過去の作物に就て瞑想した曉、果して冷汗なきかである。同一性質の建物に經費の關係上時代を異にして建てらるゝとき自然設計者異なり、其の既成の形式を踏襲する勇氣に乏しく何等舊建物との統一は勿論不調和を臆面もなく明治、大正、昭和と勇敢に個々別々代表された建物が帝都の中央に存在するには驚くの外ない、歎すべきことではなからうか。

□最近木割法による或る建設物を擔當し、漸く恙なく其の職責を盡し得たと同時に、其の形態を眺めるとき相像より遙に自己の不滿を見出した、其は崇嚴なるべき性質の建物が周圍の環境に破られた爲めである。其の責任を深く感じ美に就て更に多く考へた自己が無意識の間に人の造りしものを打毀す場合があり、又之れを反對に誹りを受くることがある、心すべきは建築家の責任と活眼の大なるとを。

□帝都の復興も大に進んだ、橋は新に且つ科學的に道路は巾廣く障害物は地下に埋設せられ、樹木照明共に昔日の比でない、今後尙ほ美觀を增し帝都を飾るものに建築群の齎らす風致との調和美であらう。

＝五・三・一八受付＝



紀州、潮岬燈台

（大阪朝日新聞社撮影）



風致美と建築

松室重光

(1)

建築が流行性氣分で其時折の感興の湧くが儘に勝手放題なる取扱を受けて、表現せらるることは近所の甚だしく迷惑とする所であります。

たゞに其周圍の調和を破壞し環境の景觀を損傷するのみに止まらず、人間生活の基調を亂すの弊害は實に甚大なものがあります。

都市計畫はたゞ道をつけたり橋を架けたり、家屋の高さや其構造方法を制限するだけでは、其目的を滿足せしむるものではないのでありませう。で近頃の聲として都市を中眞に風致地區の指定や美觀地區の設定が段々と高唱せられ目論見られ、實現せられんとしつゝあるは別に怪しむに足らぬことであります。

此風致地區を定め、或は美觀地區を選むことは結構なことでありますが、たゞそれだけでは決して所期の目的を達するものとは言はれないと思ひます。

風致や、美觀は此指定の區域限界内に於てのみ維持せられ、保存せらるゝと言ふだけでは其意義をなさぬこと存じます。一少部分の景觀を保存するだけでは、都市全體の完き美觀は發揮せらるゝものではないと考へます。

顏だけを美はしくお化粧したのみでは決して人間が奇麗であると言はれぬと同樣、都市や地方の一部に美觀や景致が維持せられましても、其本體が損傷せられて居ります場合には完全なる美の發揮を見ることは出來ないと存じます。

都市(又地方)は全般的に於て健康體であることが即ち其美なる所以でありますが、都市の偏倚的發達は、其事既に病的でありまして決して其健全なる發達とは見ることは出來ないのであります。

(2)

今日に於きましては、京都にしても、大阪にしても、既に著るしく其固有の健康美が破壞傷損せられて仕舞ふた後であります。

從つて、今後に於て、其一部分の健康を維持致しましても其病的形體であることには、依然として變りがないものと思ひます。之を以て都市や地方の美が保持せらるゝなどと申すのは人を馬鹿にした話しです。人を瞞着するものであります。

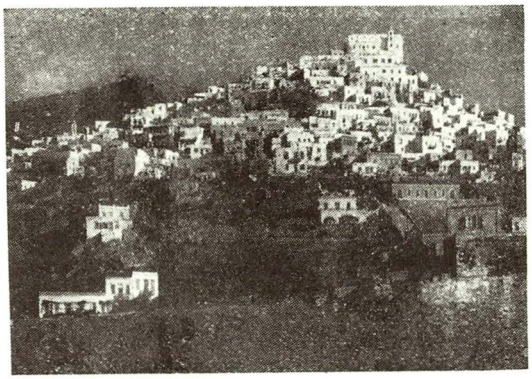
京都の美は其都市即ち市街環境の山水のみによりて保たれるのではありません。蒔繪の重箱は其中味が饅頭でも煎餅でもよいとは申されません。其市街其物と其建物と共に併せて自然人爲の美を發揮し、其史的價値を表現して居る姿態に於て我等は京都と言ふものの其歷史的精神なり、其存在意義を明らかに認めることが出來るのであります。

今此市街を歐米の風に模しまして、其建築を又彼の樣式に變えまして、其自然の山水と調和せしめ其歷史を語らしめやうと試みまして、果して滿足なる効果が期待せらるゝでありませうか。

恐らくは、其處には新らしき景觀、新らしき意義は生れてまゐりませうが、其歷史的京都は滅亡し終るのでありませう。

東山西山の山や森や、神社佛閣の境内に、建築や其他の施設の制限を設けましても、鴨川が汚水で臭氣を放ち、瀨見の小川が下水溝となつて濁つてゐる姿を其儘となし、下水の施設すら手を觸れざる市政では何の風致の維持がありませうか。

大阪市の如きに至つては、其歷史的意義の表現を殆ど失ひつくしてゐるのであります。茲處に今に於て天守閣の復興が見られ、又は一部の近郊の山林が其舊態を維持せられまして、其處に保存せらるゝと言ふとは至極結構とは申しながら、今更妙なものと感じます。



第一圖　希臘　シラ　ヘルムポリス

無論それが悪いとは決して申すのではありません。散々に荒廢せしめ終つた後、申譯的に其一少部分に史的意義を無系統的に外面的のみに表現せしめ、其傳統的精神を生かして置かうとする考へ方に一種の矛盾と滑稽味を感ずるものであります。

恰も是お寺を破却して其佛像を博物館に藏置陳列する様なものでありまして、彫刻體の美には其表現に差違ないと致しましても、其信仰精神は更に見ることを得ないのであります。

爾のみならず、斯る指定や制限の設けられることによりて、他の部分が一層大膽に無遠慮に舊態破壞を續行せらるゝこととなりますし、愈々其都市地方の固有の健康美を保持せられなくなるのを慮れます。

で、斯様な見地から我等は大阪市の美觀地區の選定と言ふことを、聞きまして面白いと感ずるのは、此美觀と言ふことを、其關係者が果して眞面目に考慮せられて取扱ふて居られるのであるかどうかと言ふことであります。

小學校の生徒達にそれを投票せしめて、選定の參考に供しやうとするなどは、よしやそれが單に一場の座談に過ぎないものであつたとしても、又は其時の冗談の一片であつたと致しましても、左様な遊戲的な不眞面目な態度で物を取扱はるゝと言ふ事に於て、我等は役人達の態度に慊焉たるものがあります。

日曜日の散歩の場所を小供に選擇せしめるのよりも、一層眞實味のない遊戲的氣分の發露と言ふのは之てありませう。

都市計畫と稱するものが、たとひ一少部分でありましても、左様な誠意のない處理方を見てゐるのを遺憾とするものであります。

（之は單に新聞の虚報かとも見るが、默視するのは面白くない）

(3)

兎に角、此事柄は決して悪い事ではない。たゞそれが他と關聯する限りに於て、其間に連絡統一が取らるゝことを必要と存じます。

或地區に限りてのみ其建築に制限を加へ、他の地區にありては之を放任して置くことは矛盾の第一でありまして、京都の如きは其市街地建築物法の内容に根本的に改正しない限りは、此風致地區の設定は結果に於てお寺を破壞して、其寶物を博物館に藏置すると同一の事に終ります。

府市の當事者達は此點に於て、充分踏込んで其法規の不備な點を悉く徹底的に改正するだけの勇氣と決心とを持つてをられるのであるか、美觀や風致はたゞ其表面的な唱聲や繩張の限定だけでは到底好結果を期待し難きものであります。

京都や大阪に此事あつて、更にそれ以上重大性を有し、ただ全くそれのみに生きる奈良に起らぬのが甚だ妙であります。現在の大和全土は悉く風致地區として其建設的施設を嚴重に制限する必要があります。然るに其姿が近代文化の輸入で大破壞せられてゐるのは誰の罪でせうか。（電鐵による大和全土の破壞は其一端なり）

建築の即興的流行性發作氣分によりて取扱はるゝ結果については深く戒心せねばなりません。此即興氣分が人心を浮薄にし動搖せしめて居ることは、實に社會主義者の宣傳以上でありまして、其深く人心に浸潤いたしまして國家の爲に恐るべき結果を將來するものと思はねばなりません。

(4)

風致の破壞は近畿の名山に既に多く行はれました『ケーブル』の敷設は其一例であります。

此便利なる登山機關は下界の氣分即ち俗念を其儘高山幽谷へと持つてゆきまして、忽ちにして其靜寂の靈蹟を破壞して居ります。

ゆつくりと其自然に親しみ、其神佛に賽し、其一樹一石の持つ歷

史を聽きて、人間が其本來の面目を省察することに於て山に靈ありしは往昔のことで、今の山には『カツフェー』あり、『レストラン』あり、或は弦歌の湧くものありて、全然俗界と異なることなく、此處を往來するもの一日に彼處より此處へと、たゞ『スピード』のみ急ぎ行く結果として、全く神佛の存在も觀みられぬは勿論自ら何の爲に山に登り谷を渉りしかを知らざる有樣を見る時は、如何に近代の文化施設が人心を損するかを知ることが出來るのであります。



第二圖 希臘 アセン柱の岬

(5)

左れば風致地區の設定は結構には相違ありませんが、其處に又行政機關の不統一があつて、これの奈良縣に行はれぬが如くに、未だ和歌山縣にも行はれないのは愈々不思議なことであります。

高野山の近狀は如何に現代の物質文化の破壞力が猛烈であるかを明白に物語つてをります。その金堂を弘仁の古制に復興しつゝある反面には、山は舉げて俗境と化し眞言密教の根本道場は其威嚴を失ひつゝあるのであります。

今に『ホテル』が建ち劇場が出來て、大阪人の俗臭が其全部を蔽ふでありませう。

六甲の連山に交通路を開くとか申す兵庫縣の計畫も、又同樣の破壞傾向の一面を如實に表示するものであります。

折角生ひたる樹を伐り、其石を穿ち其土を剝ぎて山を赤裸にして建築することに既に甚だ殺風景であります。既に人爲的に可なりの破壞作業の行はれました上に、更に之を損傷してゆく計畫こそ實に言語同斷であります。

此頃京都に起つてをります國立公園運動の如きも、折角の風致保存と反對の歩武を執るものとして我等は異樣に思ひます。永らく其玄關前を河原の儘となして平然として居ました京都人から此聲の出たのは甚だ奇態であります。

この國立公園計畫は我國の隨所に目論まるゝ事でありますが、我國自體が言はゞ世界的な一大公園であります。たゞそれを汚損しないのが國立公園の第一義であります。

然るに事實は到る處に風致破壞の施設をなし、天然と傳說との衣を剝きとりまして、緣もゆかりもない全く別な衣を着せて之を良く見せやうとする計畫は果してよく成功するでありませうか。

我國の山水には我固有の色調あるが故に貴いのであります。夏の登山や冬の『スキー』が西洋並に出來ると云ふのが其貴き所以ではありません。其處に瑞西に見る樣な『ホテル』や登山鐵道をつくるのは日本を歐洲とするなれば兎に角、東洋の日本に於る意義表現には何等の効果がないのであります。それで西洋の遊覽者を招來しやうなどと言ふのは不心得至極であります。

(6)

此意味に於て私は國立公園論には一般的に反對するものでありまず、鴨川を汚水溝としてゐて恥づる所なき京都人の國立公園論程近頃不可解なものはありません。

更に都市美について見ると面白いものがあります。都市の內面的美觀は其店頭や、屋上や、街角等に於ける醜惡なる廣告によりまして、殆んど全般的に損傷せられつくして餘さるゝ處がないのであります。

此廣告看板等による都市景觀破壞の最も劇しきものは實に大阪市であります。此處には所謂大阪商人の我利〳〵的根性を最も露骨に極度に曝け出しまして何等悔ゆる所ない有樣は實に唾棄すべき限りであります。

折角擴張せられて理想的都市美に誇らんとする大道路も、其綠樹地帶も、又過分の費用をかけて姿態種々の表現を見せつゝある所の橋も、之を取圍む建築とそれの上に擧げられてゐる此種の廣告の爲

に悉く其美を殺がれてゐるのであります。

建築の構造等に關する法規の制裁は可なり嚴重でありまして、寧ろ建築の改善促進を阻止する位にやかましきにも係らず、此方面の取締はそれが直接に人間生活に害毒を與へない爲ですか頗る弛緩した態であります。

而して之が郊外迄も普及せられて居りまして、矢張り無遠慮に其自然美を破壞してをりますことは遺憾の至であります。

國立公園など〻騒ぐ前に、先づ此方面から國土の淨化は必要と存じます。幸に京都には此種の廣告は或程度迄取締られて居る樣でありますが、一寸行政區を異にすると其處に格段の相違を見るのは實に異なものであります。

此等も一面に於きましては法の不備の致す處の欠陷で有ますが、他面に於ては人間教育の少しも根本に觸れてゐない結果であります。目的の爲には手段方法を撰ばないと言ふ極端なる個我教育拜金教育の然らしむる所であります。都市の美觀を論ずる人達は宜しく此點に省察して速かに適當の措置を執るべきであります。

(7)

愈よ京都に於ては其風致地區規則が公布せられました。其規則の內容と地積は左の通りであります。

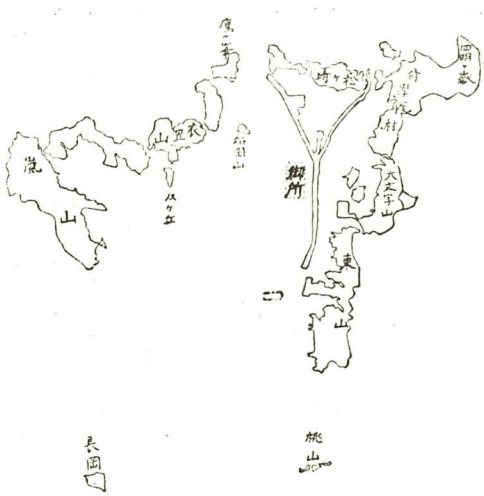
（二月二日大阪朝日新聞所載）

大きな地圖を
部屋一杯に

風致地區施行の日の都計課

現狀變更は許可がいる

問題の京都都市計畫風致地區はいよ〳〵一日官報で告示され同時に府公報で規則を公布され即日施行となつたがその地區範圍は圖面を以て示すので府廳都市計畫課に三千分の一の地圖を部屋一杯に掛けて一般の閲覽に供しなほ關係町村役場にもその町村管轄風致區の三千分の一の圖または二萬五千分の一の圖を配付して備へつけさせる、また規則には第二條に「風致地區內の現狀を變更すべき行爲をなさんとするときは別に告示するものを除くの外知事の許可を受くべし」とあるがその別に告示するものについては目下原案作成中で近く公布される、しかして地區內の住民はこの指定によつて將來拘束されるところ多く多大の不利不便を感ずるものとしてこれを喜んでゐないが府としてはなるべく願ひ出に對しては許可する方針であるといつてゐる、規則は左の通り（地圖は風致地區略圖）



第一條　本則は都市計畫法第十條第二項の規定に依り指定せられたる風致地區內に之を適用す△第二條　風致地區內の現狀を變更すべき行爲をなさんとするときは別に告示するものを除くの外知事の許可を受くべし△第三條　前條の規定により許可を受けんとするときは左の事項を具したる申請書に設計書または施行方法書を添附すべし、一申請者の住所、氏名（法人に在りてはその名稱、事務所所在地及び代表者の住所、氏名）二、行爲地の所在、地目及び面積三、許可を受けんとする行爲及びその目的四、着手並に完了の豫定期日△第四條　設計書または施行方法書には方位、縮尺を記載したる左の圖面を添附すべし一、附近地の現況圖（行政區域及び道路、水路その他地形の概略並に行爲地の境界を明示すべし）二、平面圖（配置圖を含む）立面圖斷面圖、意匠配色圖等設計または施行方法の表示に必要なる圖面△第五條　第二條に規定する行爲にして他の法令により知事の許可または認可を要するものに付ては當該法令による許可又は認可申請書に前二條に規定する事項を附記し本則に依る許可を併せ申請することを得、前項の規定に依り申請する場合においては當該法令に依り提出する書類の外別に副本一通を提出すべし△第六條　行爲完了前許可を受けたる事項を變更せんとするときは其事由を具し第三條及び第四條の規定に準じ知事の許可を受くべし、行爲完了前許可申請者または許可を受けたる者に異動を生じたるときは三日以內に知事に屆出づべし△第七條　第二條または前條の規定により許可を受けたる行爲完了したるときは三日以內に知事に屆出づべし△第八條　第二條、第六條または第七條の規定に違反したる者は五十圓以下の罰金または拘留若くは科料に處す△附則　本則は公布の日よりこれを施行す

（二月二日大阪毎日新聞所載）

現代文化と調和するため

土地の用途の極端に拘束せぬ＝佐上知事語る

右取締規則運用に關して佐上知事は語る

いよ〳〵風致地區の設定も實現し同時に取締規則も發令になつたことは自分としても喜びに堪へない多年懸案になりながら同法の發令がおくれた理由はなにぶん日本最初の行爲であるがため當局が京都府民の輿論に懸念してゐたによるものであるがその後の形勢を見ると大阪毎日新聞を初めどの新聞もその必要を唱へ各方面の輿論を喚起し現在では府當局、都市計畫委員などは勿論同法に對する府民の理解も十分にでき、これならば安心して認可の發令をしたことゝ聞いてをる同法によつて各種の行爲に制限を加へる目的は一に京都府の風致を現代文化と調和せしめんとするものでそれがため相當なる取締を極端にして全く土地の用途を拘束するが如きは好ましくないことで同地區に編入された附近の土地は多少不自由を感ずるにしてもそれがため私益ならびに公益を害するやうなことは絶對に差控へる、なほ個々の土地の事情を考へ場合によつては特別の規則を設けて同時に認可を得ずして行ひ得る行爲をも定めたいと目下方法を考へてをる、また規則の運用については最初は幾分不便を感ずるかも知れぬが慣熟するに至らば必ず圓滑に運び得ると信ずる、なほこれら地區の設定ならびに取締規則の運用に關しては府民の理解を要することであるがそれに對しても新聞紙上で組織的あるひは説明的にこれまでたび〳〵新聞記事として京都の風致を取扱つていただいたことに自分は非常に感謝してをる。

此地區内の現狀變更が制限せられるのでありますが、我等は其實施の任に膺る御役人樣達に對して先づ第一に風致と云ふものが其抽象的な一句以外に實際に何であるかを充分に知つて居て貰ひたいと思ひます。

知事や上級役人の二三の人達だけがそれに適當なる理解がありましても、他は之に徹底を欠いでゐる樣では駄目であります。

役人達は謂はゞ他動的に其原形の破壞せられぬことを念として、それを監視すれば事足るのでありませうが、此地區に利害關係のある人達を始めとして世人一般が其事に正しき理解がなければ何の用にも立たぬのであります。

土地を商品的に取扱ひ、家屋を一物件と輕く見る現狀は必ずしも此地區規則の制定によりまして、其現狀の破壞が防止せらるゝものとは考へられません。

知事の言によれば、現代文化と調化する爲には土地の用途を極端に拘束せぬとの事でありますが、此現代文化程厄介な不可解な魔物はないのでありまして、其ぼんやりした言葉の意義の明瞭を欠く限り、其解釋の人々によりて勝手にせられる限り、私は之との調化を云々する事を危險と存じます。

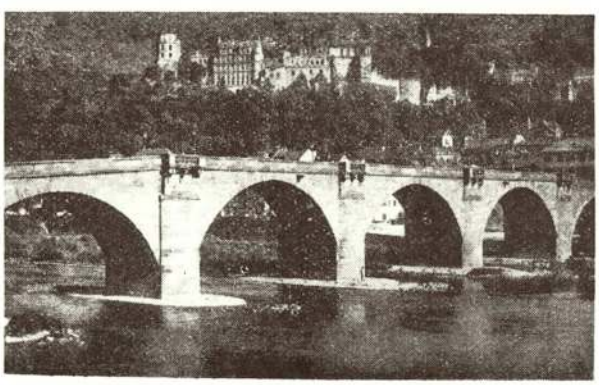
凡そ今日の日本を傷ふ最も大なる害毒は何かと申しますと、たゞ漠然と取入れます所の現代文化であります。所謂歐洲文明の皮相の産物であります。

その隨一が郊外に延長せらるゝ電鐵であります。これが爲どれ位地方の良風美俗が惡化いたしましたかは茲には說きません。寶塚の邊境に一種の歡樂地を作りましたのは惡くないかも知れませんが、それを延長して嵐山や八瀨や宇治迄に及ぼすことを恐れます。

次は登山『ケーブル』でありますゝ四明の峯頂を辨當殼や紙屑で汚損してゐる現狀は決して好ましきことではありません。信越の高峯に鏤詰がらの累々たる有樣も決して見好き現象ではありません。此等は名山や靈蹟の建設的變更若くは破壞ではありませんが、其自然の趣致を損ずる事は甚大であります。

(8)

若しそれ其建設的破壞に至りますと洵に寒心に堪えられぬものがあります。



第三圖　獨逸　ハイデルベルグ　古木ツカール橋



第四圖 希臘 ヒメツトスのケザリア二僧院

西洋風の建築が絶對に我國土と調化しないとは申しませんが、現在の様な建築様式を此風致地區に移すことは餘程考慮を要します。

從つて我等は從來の此種の建築の改造を命ずる迄に此規則を有力なるものたらしめたいと願ひます。比叡山然り、愛宕山然り、男山然り、近畿の名山は皆此建築的惡魔によりて脅かされて居るのであります。

猶此法規は獨り京都にのみ布かれてそれで日本の景觀が保たるゝものに限りません。京都に於ても今一層其區域を擴大延長するの必要があります。

西山の名勝地帶が漏れてゐる様です。宇治や醍醐や、鷲峯山や笠置山なども其一つであります。北の方では大原に及ばないのは其欠點であります。

近畿地方としては大和全體、特に奈良市を中心として春日山一帶の地横、畝傍山陵を中心として其環境の地帶、吉野山、河内、和泉の歴代の御陵墓古蹟地帶、金剛山天野山、紀伊の國では高野山、和歌の浦、神戸市背面の山嶽一帶等々悉く風致地區と定めて速やかに其現狀の變更に或程度の制限を附すべきであります。

もとより此等の諸地方と京都のそれとは其現狀維持保存の範圍に相當な懸隔はありますから、法規の内容は其處に應じて變更を必要とするのでありますが、京都のみに之を特定したり、京都だけを先きとして他を顧みなければ其効果は薄弱であります。

近江八景の現狀から見ても、滋賀の或部分に同じ制限を加ふる事も又必然であります。左様いたしますと、殆んど全國的に類種の法規を制定して之を擴張いたしたいのであります。

九州には皇祖發祥の日薩隅の靈蹟があります。東海東山又それぞれに意義ある土地の存するは申す迄もありません、出雲大社の所在地なども必ず何とかするの必要があります。

(9)

其處で此國土の景觀維持の爲に法規を絶對に必要とするか否やの問題が殘ります。

私の念願は、此種の事を人間の正しき教育による自制自發的の仕事としたいのであります。我國民が趣味性に相當富みつゝある事は茶道生花や其他の事柄で充分證明せられてゐるのであります。

此茶道や華道は寒素な僧侶や貧乏な武士達の手で取扱はれて居りました間は其處に純眞で高潔な情操趣味が生きてゐたのでありますが、それが一たび金持の町人達の手に移されますと其趣味性に黄金色を帶びてまゐりまして、餘程其品性に相違を生じて來たのであります。

町人の信念は何事をも黄金で左右し支配するのであります。獨り茶や華の趣味に限らず、一切の人生を此一物を以て解決しやうとするのであります。

國家の重寶でも、史上の珍籍でも、惜し氣もなく之を分割して其茶室の飾りとなし、その書齋の什具として其虚榮の光を添へんと試むるのであります。而して寺が荒れやうが、社が廢れやうが、そんな事には一切無頓着で、唯自我の境地に滿足して居るのであります。其上に彼等は寺院神社の荒廢から其散亡する什寶を代つて保存するものは我なりなど、勝手な言譯をして世を欺き人を瞞すものであります。

斯る人達によりまして取扱はるゝ建築や庭園や山林こそ實に迷惑な話でありまして、彼等の黄金で色づけられる結果として何れも其眞相を滿足に表現し得ないのであります。

然るに現代の教育は斯る方面には全く沒交渉でありまして、何等人間の眞純味情操味を其自然と藝術とはた一般的生活との間に涵養しやうとは少しも試みぬのであります。

人々が其自己の家屋敷や庭や樹や花を大切にする程に、街路樹や公園や山林や社寺境内を大事にしないのは自我教育の痛散でありまして社會共同生活の眞意義に觸れしめない爲であります。

自分だけの家や庭を大事にする程に、近隣の家や庭に同情と遠慮は持たぬのでありまして、近所隣りが迷惑するとも否とに關せず、自分の屋敷庭園だけを立派にして得々たるのであります。之をえらいと申します。此事情は阪神沿線の住宅地區に於て、特に所謂富豪階級の居住すると云ふ地帶に於て極めて露骨に表現せられてをります。

彼等は其自然の山を削り樹を伐り倒しまして其處に任意に建築し造園して獨り自ら喜悦して居るのでありまして、其本來の自然の景勝などには何の顧慮をも拂はず、たゞ黃金を以て人爲的に其自然に打勝つことのみに苦心して居るのであります。之を建築家などが援けてをります。

此結果の一表現が京都の近郊を荒らし、其處に歷史の光に生命を存續してゐる神社佛閣を迫害してゐるのであります。嵯峨や御室の花の春に長閑やかな感じを味ひ得られないのも此爲であります。比叡、愛宕の山や谿が所謂現代式な文化別莊や何かで荒らされるゝのも此ためであります。

(10)

要するに彼等は自然の難有味を覺りません。是實に共智的教育のみが無暗に奬勵せられまして、人間本來の情操味を等閑に附したる結果であります。特に建築の學徒の頭腦が其構造方面の科學原理の考究に重きを置かれまして、其藝術、歷史、哲學方面の閑却せられているのも彼等をして自然破壞の大膽さを敢てせしめまして更に顧みさせぬ事となります。

日本國民としては格別の必要もなき倫敦や巴里の地理を教え、獨逸や露西亞の歷史を授けまして、最も重大なる祖國日本の眞髓を知悉せしめやうともしない結果であります。

話すことの出來ない外國語の教授に學生年歷の半生を苦しめ抜いて、唯彼にのみ依賴する外國崇拜的觀念の養生に骨折る現代の智的教育は、愈々祖國歷史と其文化を無視せしめて、兎角に範を歐米にとると言ふ大弊根を樹えてゐるのであります。

無產黨の選擧に『イデオロギー』などとむづかしき言葉が濫發せられ、社會主義者の裁判に『テーマ』などの語が判官の口にせられて少しも怪しと見ぬ樣な世相の混亂撞着が將來する結果は、合法的でさえあれば如何なる罪を犯しても少しも罰せられぬと言ふとで、白晝堂々と大手を振つて風致を破壞し景觀を損じ、規則が許す限りは隣家が眞暗となつても百尺の建築を敢てするてふ世の中ですから、先づ第一に人間生活に自然風致の頗る重要性の存することの教えを授くにあらざれば、此規則あるが故に反つて公然と風致や美觀の破壞損傷せられて遂に訴ふる處なきに至るでありませう。

此理由によりまして、法律規則の制定は結構とは存じますが、特に之が施行の任に當る人達と此法規の制定せられた根本事情を世人一般に遺憾なく了解せしむる方法を講ずることも急務と信じます。猶規則の裏面を潜つて常に重大なる罪を造りつゝある政商的運動屋住宅會社、又多くの坊主達をしつかり取締ることを肝要と存ずるのであります。

（日光山華嚴瀧に昇降機の建設せられた事情、高野のケーブル、例示すれば際限なし、黒部の峽谷を光力電氣の建設で破壞するのはまだ優しの方也）

昭和五年二月二日稿

＝五・二・六受付＝



獨逸　ライン河の畔の風景



庭木の美的本質と其の選び方

方米治郎

建築物に風致を添へて土地を裝景するには何よりも植物材料に俟たねばならない。そして數ある植物の中でも最も複雜にして、然もその個性を充分に發揮するものは先づ庭木であらう。何ㇾ謂つても庭木は風致美を形成するには重大な要素である。

試みに美觀上から類別した庭木の美的本質ㇾも云ふべきものを掲げてみれば、色彩上の美と形態上の美とに大別が出來やう。本來植物の有つ美性は單に固有の形とか色とかに止まらず、轉々として絶えず成育伸長する變化にあるので今假に一つの庭園を構成するㇾしてもその美的要素として、或は多様、變化、活動と各方面に働くから、自ら觀る者に多大の感興を與へるのである。植物の形態が吾人に與へる美觀なるものは、あの曲線の外廓線（アウトライン）の有つ獨特な柔軟な好感が第一であつて、色彩に於ても凡ての葉が有つ爽快な綠色（グリン）系統の色が主要位置を占めてゐる。他の花や果の華麗な種々の色彩は更に補色となつて一層の美觀が加はるに過ぎない。又四季の推移に伴ふ色彩の變化があるから、所謂美學上の『變化裡に於ける多様の統一』と云つた根本元則が實際に表現されることになる。庭木の色彩美觀はその樹冠が代表してゐて、一般に色合は綠が普通であるが、決して變化のない單調なものではない。同じ綠葉で飾られてゐるとは雖も杉葉の綠とヒマラヤシーダーの綠ㇾは大變違つてゐる。前者はサツプグリーンに近く後者は殆どエメラルドグリーンそのまゝである。更に又實際觀た眼には之等の固有の綠の色合の差のみならず、之等の葉群を照らす光線の强弱によつて生ずる陰影にも左右されることが著しい。勿論詳細に觀察してみると葉の大小、着生の具合、枝條の分出等によつて陰影が同一でないから、要するに樹木の有つ綠色は共通であつて然も極めて變化性を有つものㇾ云ふことが出來る。猶、葉の表裏の濃淡や、葉柄部の色合（ユヅリハの赤き例の如き）の變化とか、新芽の鮮かな色彩（ベニカナメの燃ゆるが如き例）の華かさや、又は果實の著しく異つた彩り（オレンヂの黄金色の鮮麗なるが如き例）等の爲め、夫々影響を受けてその景觀は一入複雜に美化されるのである。殊に四季に伴ふ變化は著しい表現を示すので、花時の盛觀は暫く措き一般に落葉樹木は樹冠が初春に淡く盛夏に濃綠に達し、秋末には黄、橙、紅の色彩に變ずる傾向が通則である。そして初冬から簡素な樹梢を寒風に曝すものであつて、落葉性のものは一年を通じて最も變化に富んでゐる。從つて落葉の多い庭園は四季の推移に伴つて景觀を變ずる。

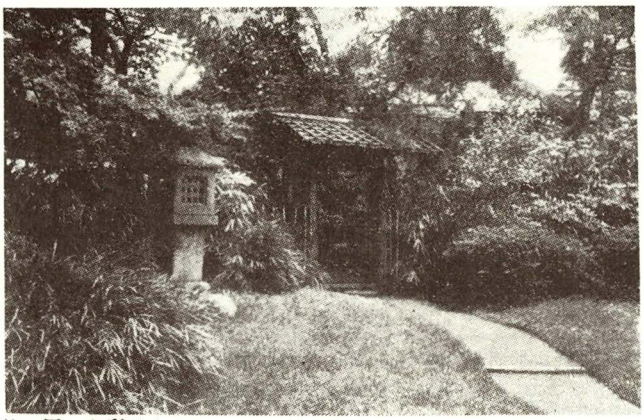
今一つ樹の幹も又美しい色彩の所持者であることを忘れてはならない。アオギリの青綠色や、シラカバの灰白色や、アカマツの赤褐色は誰もが直々念頭に浮かべる著しい色彩美であらう。

□

普通に庭木を形態上から大別して喬木と灌木とに分け、又習性上から常綠樹と落葉樹とに別けてゐるがこゝでは形容の整つたものと否とによつて整型と不整型ㇾに區分して說明してみやう。一般に庭木の形狀容姿を決定する形式美即ち形態上の美は、整型であるものと然らざるものㇾで、その調和、不調和に據る價値なり栽植場所の用途なりが二大別されるやうである。整型のものが必ずしも可で不整型のものが不可と斷定すべきものではないが、概して前者が洋風の建築物に調和し、後者が和風の建物に似合ふ場合が多いから夫々

長短得失があるものと評さねばならない。針葉樹の類はマツを除いて整型のものが多く、濶葉樹の類は整型のものもあるが大抵は不整型のものである。

樹木の枝條が樹幹に着生するにも一般の通則があつて、その幹と枝とが作る角度は樹の種類、樹齢、分岐點によつて一定してゐるやうであるが、一例を述べると、ヒマラヤシーダーは約九十度を保ちポプラは二三十度位に過ぎないのである。又形狀全體から見るに、ヒマラヤシーダーの如く下方に擴がりのある横巾の廣いものは安定の觀を與へ、ポプラの如く垂直狀に細長く仲びたものは一見不安な感を免れないのである。



第一圖　色彩美を主とした混淆植込

本來直線は崇高で男性美であるのに對して、曲線の方は女性的な溫柔な美感を與へるものであるから、庭木の樹冠の外周線の形容なり又樹幹と枝條との線の交叉なりが當然觀者に與へる感じそのものが同一でない。凡ての樹木は幼時は孰れも整然と仲長して行くものであるが、平等に均齊に發育すべき筈のものも自然界の諸作用で、永い歲月の間に枝條の均齊の型が先づ壞れ次で主幹までも曲がつて漸次に不整型となつて、遂に却つて雅趣が表はれて來る傾向がある。勿論樹種の性質によつてこの影響を多く受けるものと殆ど受けないものとがあるのは當然であるが、多くは立地の如何によつて支配されるもので、海岸や山頂の松が不斷の強風に枝を繞められるものが多いのを見ても覗はれる。

園藝上の一作業として、自然の樹型を人爲的に刈込剪定を加へて整姿する場合が少くないが、こうした仕事に當つて、餘りに技巧に走り過ぎて樹木本來の自然美を失ふやうな仕方は愼まねばならない。之は所謂自然美の冒瀆であつて下手にやると人爲的加工が過ぎて失敗する實例が少くない。

□

次に庭木の選び方に就て注意すべき定則樣のものを述べることにしよう。

庭木の中でも常綠性の針葉樹は一般に色彩上からも形容上からも尖銳で、强剛で、崇高であるが、濶葉樹は之と全然反對で、婉曲で柔弱で、艷麗である。斯うした兩者の固有の性質を諒解した上で、夫々建築物の外容なり樣式なりに調和するやうなものを選擇したならば決して失敗することはないのである。左にザリッシュ氏の表を記して參考に供して置く。

A、莊重神嚴の氣分を表現するもの

1、直幹を有つ深綠色の樹種を選ぶこと。
　例　スギ、ヒノキ、モミ等。
2、丈高く仲長する樹種を採ること。
　例　ポプラ、ユリノキ、イテフ等。
3、統一を主とすること。
　例　マツ、マキ等或はシヒ、ヒバ等の單一群植。
4、針葉樹を主調とすること。
　例　ヒマラヤシーダーのみにても又スギ、ヒノキを混ずるも可。
5、可成針葉樹のみの混淆林とすること。
　例　前記各針葉樹を三四種混ず。
6、濶葉樹を混ずる場合には比率を少くすること。
　例　前記針葉樹にクス、タイザンボク等を少し混ず。

B、艷麗蜿曲の氣分を表現するもの

1、美麗な曲線を描く樹冠をもつものを選ぶこと。
　例　ケヤキ、シダレヤナギ、ハナアカシヤ等。



第二圖　直幹の形態美を誇る唐棕梠の植込

□

一概には云へないかも知れないが、現代建築の樣式が大抵直線形の外觀を有つものが多いから、之等の建物を飾つてその風致美を發揮するに適したものは庭木としても新らしい即ちバタ臭い船載物が在來物よりも多いのである。市場（大阪では池田附近の箕面村、長尾村方面）に相當供給量のあるもので、採用して調和もよく、且つ移植や栽植後に成績の良いものを少し各個別に揭げてみると

○ヒマラヤシーダー（印度杉）

大阪市内の公舘の前庭や公園にも澤山植えてあるが、あの下垂した枝振の堂々たる雄姿と美しい綠葉とは、針葉樹として稀に見る煙害に強いこと、植付後は刈込の手入が省ける點とで重寶な庭木となつてこの全盛振を示してゐる。クリーム色に赤い瓦のスパニッシュミッションスタイルの建物なんかにも良く調和するやうだ。又建物廻りに近く植えても、或は離れて群植しても見られる。價額は今日では需要が多いので比較的高いやうである。

○クス（楠）カシ（樫）シヒ（椎）

この三つとも日本固來の庭木ではあるが、和洋兩風の建物に孰れも調和するので汎く採用してゐるやうである。クスは單植してもよいがカシとシヒとは群植して目隱しとか背景とかに多く用ひてゐる

○ウバメガシ（馬目樫）

境栽生籬としてはカシよりも丈夫で繁茂もよく、高さも五六尺位まで仲びるから、關西地方では中々需用が多い。

○ハナアカシヤ（花あかしや）

初春に小さい點々とした黃色の可憐な花を着ける常綠のネムに似た樹木である。成長旺盛で二三尺の苗を晩春の好季に植付て置けば四五年で二三間になつて立派に繁茂して呉る。色合は四季共エメラルドの翠綠滴るばかりの美しさを保ち、樹姿も極めて豐艶な曲線で圍まれた圓錐狀の樹冠を有つ楚々とした風姿の樹である。洋舘には無くてならない樹であらう。

○ニセアカシヤ（針槐樹）

ハリエンジュとも呼ばれて日蔭用の落葉喬木である。大阪では市の街路樹にも又公園の日蔭用にも植えてゐる。成長速かで砂質地にも克く育つ。安價な樹ではあるが洋風建築物には適當した庭木の一つである。近來この種のものでトゲナシニセアカシヤと稱する改良種が賣り出されてゐるが、この方が樹冠の型が整つて密茂するから一層上品である。

○イテフ（公孫樹）アオギリ（梧桐）ユリノキ（百合樹）

孰れも日蔭樹であるが洋風建物にも調和するので採用してゐる。前の二つは東洋の元産で後のユリノキはチユリップツリーとも稱せられて舶來である。並木狀に列植しても又點々と三々五々栽植しても見られる。唯ユリノキは移植の際注意せないと枯損する場合が多いから、根廻しをやつた苗木を選擇することゝ栽植後の手入とに用心が必要である。

○シユロ（棕梠）ソテツ（蘇鐵）

この兩者は南國情緒の豐かな庭木で、大阪では寒傷の憂がないか

ら東京よりも澤山植えてゐる。公館の前庭には珍らしくない程各所に見受けるが、今日では兩者とも大きいものは中々手に入り難い。シュロの方は建物近く寄せ植にすべきもので、殊に唐シュロが好ましい。

○モミ(樅)ツガ(栂)マキ(槙)

三つ共在來種の庭木ではあるが孰れも植へ方によつては洋風建物にも調和する。但し煙害には弱いから市内で植栽する場合には遠慮せねばならないと思ふ。

○カイヅカ(貝塚)ヒバ(檜葉)イブキ(伊吹)

カイヅカは丈夫な圓錐狀の整型の樹姿をもつ木である。ヒバはヒノキの園藝變種で矮性な葉群の美しいものである。ヒバを適當に刈込をしたものはカイヅカと共に花壇の點景や、建物沿に列植するに適當してゐるから、近來盛んに用ひられてゐる。ヒバにはカマクラヒバ、オウゴンヒバ、ニホヒヒバ、チャボヒバ等澤山な品種があるが取扱は同一でよい。イブキも丸刈にしたものは點景物として最も適當した小灌木である。

○モツコク(木斛)

常綠の庭木としては第一に丈夫なもので、市内でもよく育つて呉る。日陰地でも屋上の乾燥地でも煤煙の下でも平氣で容易に枯れない。形容も和洋兩風の庭に調和するから廣汎に採用されてゐる。

この種のものでシヤリンバイと稱するものは一層上品な枝振をもつが値段が高いので一般には使つてゐない。

○ビラカンザス(冬さんざし)

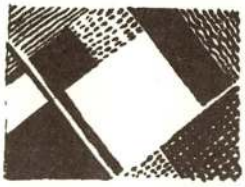
強いて和名を附けてゐるが舶來の小灌木で、針があるが可愛い常綠の葉を附けた生垣用の庭木である。然し五六株寄せ植にして丸刈にするのも面白い。黄色の小果を結ぶから秋末にも美しい。挿木でも實生でも繁殖するが大株ものを移植すると枯れ易い欠點がある。

○ハトヤバラ(ぎんのし)

野バラに近いもので蔓性の白色單辨花を開く灌木である。垣根としては最適のもので、殊に金網の柵に纏絡させるには最も適してゐる。

こうして書き出せば未だ種切れまでは數頁を續け得られさうであるが、豫定の頁數が盡きたので本稿は一先づこの邊で擱筆して置く

(五・三・二〇)‖ 五・三・二〇受付‖



都市風景の構成

農學博士 大屋靈城

一 都市風景

田舍には田舍特有の風景がある。同じ山でも同じ河でも都會にある時は都びやかに見え田舍にある時は何處となく鄙びて見える。それは風景を構成して居る要素に差異があからである。田舍の川畔にはツクボーシが芽生えて居る。又タンポヽの黄い花も見える。都會の川岸には風になびく柳はあつても、その柳の木の根は舗裝されたコンクリートの間から出て居る。何れが優つた風景であるとの上下はつけにくいとしてもこの兩者の間に確かに差異がある。

然し如何に都市風景とは云へ建物のみでは物足りない。建物の立ち並ぶ差が空の色や土の色、さては綠叢の衣に纏はれたその姿に初めて都市の風景が顯はれるのである。

都市には色々の建物があり色々の風物があり、色々の自然がある。それ等が相倚り相集つて變化極まりなき都市の風景を構成する。

然し都市では何と云つても一番多いのは建物である。この建物が周圍の環境によく適合し均衡し調和したところに初めて建物を中心とした都市美が顯はれる、譬え一つ一つの建物は美でなくとも周圍



第一圖　ウエルウイン・ガーデン・シテー・ハントサイト・レーン

にピツタリ合つたものは決し－醜くゝはない。反對に如何に各個の建物が美的構造を持つて居ても環境に調和適合し、他と均衡を保ち得ないものは決して美はしく吾人の眼に反映しない

風景の美と個々の美はこの點に於て確かに差異あるものである。私の都市風景と云ふのはこの構成された綜合美の顯はれを言ふのである　都市風景、それは田舍の風景とは確かに異なる特質を持つたものである。

この都市風景は時に非常な麗はしさを顯はす事もあるが又往々全く無趣味なこともある。麗はしき都市の風景は何によつて發揮されるか、これ吾人の研究に値する點であらう。

都市の風景を佳良ならしめること、都市の美を保持し進んで益々これを開發して行くことは都市計畫家、建築家、風致園藝家等の双肩にかゝる問題でなからうか。

二　街路の系統より生ずる美

都市の美觀を希ふものは先づその街路系統に目を注がなくてはならぬ。如何に美的風景を描き出さうとしても都市の街路網が碁盤目の如く割られて居ては建物其物の美も滿足に眺め得ない。常に人はその建物の脚下に立たなくては眺望を遮られてその一部も覗き得ないのである。

然るに若し街路が銳角を以て交叉して居る如き場合を考ゆれば、其頂角に當る地面を廣場として建物を稍や後退せしめるだけで非常な建築美の發揮さるべき視野を得ることが出來る。建物の美を完全に眺めるには建物から相當の距離を隔てた地點から視なくてはならぬ。これから考へるならば三角形の尖つた地面を持つ建物敷は試にその美を發揮するには適好の位置である。歐洲の諸都市でギリシヤ風の寺院建築やチヤーチ風の大伽藍が聳えて中空に、その美を遺憾なく發揮して居るのを見るのはこの三角交叉點に於て最も屢々際會する。

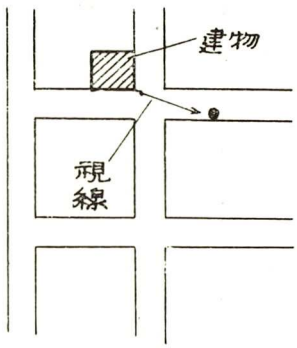
大阪や京都に於てかゝる地點を幾何求め得るであらう。惠比須町の南角に一つの古びた赤煉瓦の建物が見える、それは南海食堂である。建物其の者は敢て麗いしいとは思はぬにしても、それが遠く日本橋三丁目の附近からでも望み得るのを見て、その位置の美的要素を認めぬ譯には行くまい。

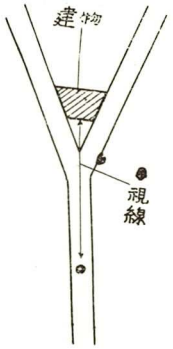
若し上六大軌のビルヂングが今少しく北へ寄つて建て得るならばその偉觀を遙かに仰ぐことが出來るだらうに、道路が碁盤目である爲に、それは不可能とされて居る。大阪が美觀都市に成れないと云ふのは一つはこの道路系統にあるのである。巴里の道路を見よ。エトワールの廣場、ナシユンの廣場、そこには十數本の大道が恰も日輪の如く放射狀に出て居る。グランドオペラの前やパンテオン寺院の前には必ず廣々とした廣場や三角の大道交叉が認められる。グリヂロン(碁盤目道路)それは最も劣惡な都市風景を作るものである。建築家を泣かせるものはこの道路系統である。ニューヨークの町やシカゴの町にこれと云ふ興味を惹く風景を見出し得ぬのも全くグリヂロンの御蔭である。

大阪の難波別院(御堂さん)か中ノ島にあつたらさぞなにか偉觀を呈するであらう。一躍にして大阪名所となるであらう。ビスタ●ラインを持たぬ建築は誠に氣の毒である。

次に都市の美を論ずるものにフオルマルの美を賞讃するものとナチユラルの美を賞揚するものとある。前者は道路や運河が何處までも直線で通つて居る事を喜ぶが後者は直線を排してカーブの道や運河あることを歡迎する。

自然は常にイレギユラでありインフオマルであること云ふのであ





る。直線の不自然なる如く直線に並べられた建築美も之亦不自然なる人工美であるとして排斥するのである。

然しながらカーブ必ずしもナチユラルとは言へない。カーブが度を過ぎれば技巧でありインフオルマルも極端である場合は人爲的であり不自然である。されば何れを以て正しいとも斷じ難い場合があるが、一般に道路が或程度のカーブによつて折曲して居る場合は爲に都市の美觀や風致は增す場合が多いのである。（圖面參照）

河川や運河が都市に美觀を添えると云ふのもその形に於て既に曲線的であると云ふ事が効果をなして居ると考へられる。カーブの道路を持たぬ都市には秀でた風景を見出せぬと云ふのはこれが爲であらう。英國の住宅地等では努めてこのカーブ道路の挿入を計つて居るが、大阪の如きかゝる道路は一日探しても仲々見出當らぬ位である。都市の風景を考慮する者は先づ都市の道路系統を美的に作り上げる事を忘れてはならぬ。

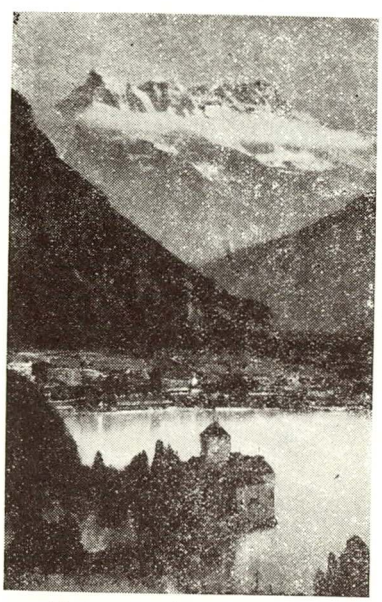
況んや一團の住宅地や一劃の土地開發計畫に際してはこの出發點たる道路の計畫に大なる考慮を拂はなくてはならぬ。

三　廣場による美

廣場を持たぬ都市は美觀都市としての資格がないと云つても極言ではあるまい。ニューヨークのウルヲースビルヂングがその脚下に殘された僅か許りの中庭によつてよくその雄姿を大自然の中に調和さして、如何にも氣持ちよく建つて居ると同じように都市に綠の廣場が散在せないならば、都市は生氣を失つてしまうだらう。

人工美のみによつて構成された都市美は到底人をして滿足させるだけの麗はしさを示さない、そこに若干の自然美が添加され挿入されて初めて生氣ある潤ひに滿ちた都市の美的風景が産れるものである。廣場はその自然美の産るべき畑である。芝生あり、噴水あり綠叢あり、そして此等のイレギユラーな形體と生き〳〵とした色彩とがよくフオルマルな建築美を包擁して大自然のものとしてくれるのである。人工美と自然美の混一融合するところ、そこに眞の美は顯はるゝものである。廣場によつて初めて建物は自然美の中に融け合ふ事が出來るのである。

廣場、それは決して單なる裝飾ではない、ローマのフオーラムはよく寺院建築の前庭となり我國往古の城廓も廣々たる門前の廣場によつてその偉大さを示し得たのである。吾々が宮城前の大きな廣場に足を踏み込む時、既に宮城の雄大さと壯嚴さを感ずるのを思ふならば、廣場の價値は窺ひ知られるに違ねない。



第二圖　シロンとダン・デュ・ミデ

四　水による美

如何に醜い姿でも水面の前にはそれが女神かとあやしまれる如く美化するものである事は何人もよく經驗するところである。

川に面した町は美くしい、湖水に立つ都市は麗はしい。瑞西國の遊覽都市が最も秀でゝ居る點はその何れもが湖畔にあり而も、その清く澄んで鏡の如き靜かな湖面にはアルペンの連山を撮し同時に自分達の色とり〴〵の都會風景を投撮して居る點である。世界何れの國と



第三圖　神奈川公園

である。然るに大阪の人はこの有難い河川を厄介視して居る觀がある。河畔を埋立てゝは建物敷となし電車の敷地につぶすのもある。そして河岸に並木を植えたり森を造つたり散歩道路を造つたりすることを知らぬ。これでは何時の時代にか都市の美觀を望み得るであらう。

五　鄉土より生るゝ美

日本には日本固有の山水美がある。大阪には大阪の鄉土美がある。大阪の匂ひ、江戸の色、と云つたようなそれが失せてしまつては趣味も湧かぬ、面白みもない。東京の復興が昔の江戸の匂ひを紛失してしまつたと歎く者が出て來たのは何を意味するであらう。鄉土より產るゝ美を忘れたのではなからうか。建築様式が如何に優秀であるからとて所かまわずゴシツクやルネサンスさては新らしいメンデルゾーンを振り廻されては鄉土美が泣く。建築とローカリチー、それは建築家の最も注意を拂はざるべからざる重大事であると思ふ。

私は東京の復興を見た、公園を觀た。隅田公園や濱町公園や錦糸公園を見た、又澤山の小公園をも視た。何れも立派な近代式造園手法であると思ふ。

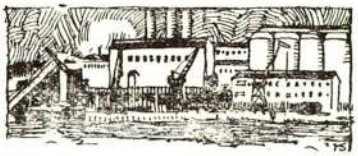
然し自分の頭を刺戟したものは餘りに立派過ぎたのではないかと云ふ感じだつた。特にその中に出來て居る混凝土の休憩所やコロネードや鉚裝されて鐵柵に圍はれた散歩道を見た時、それが餘りに重苦しい建築的造園であると同時にその建築のローカリチーが輕視されて居るではなからうかと云ふ様な氣持ちがしてならなかつた。

比叡山に登つても、他の名勝地を訪ねても、その附近の環境に調和しない様式の洋風建築によく出遇ふ事があるが、その都度日本の建築家は鄉土を忘れては居まいかと疑つて來た。

アメリカの都市の眞中にある公園でも四阿は四阿らしく輕快なものが選ばれよくその綠の自然と調和を破るようなものは少ない。又森林地や山腹に建てられた小舍でも或は瓦の屋敷や丸太の壁が無雜作に置かれて如何にも田園の風景にふさはしく配置されて居る。これ等の作品を觀る時日本の建築家は今少しくこの風致的建物についてのローカリチーに就て考へねばならぬのではなからうかと感ずる。何事も口で言ふ事は容易であるが實際に自分の氣に入つた作品を作り出す事は誠に困難の事であれば、余の希望は希望に止るかも知れぬ、余の批評は暴に過るかも知れぬが、然し吾々は風景と建築様式と云ふ事に就て今少しく考慮を拂ふべきものだと信ずる（完）

＝五・三・二二受付＝





建築と風景と造園

林學博士 田村剛

建築は風景を構成する重要な要素である。風景のうちには、都會風景の様に、建築が基調を爲すものもあり、又山岳、森林、湖海のやうに、殆ど建築を伴はない自然風景もある。都會風景では建築が主たる役割を演ずるけれども、然も風致、風景といふ場合には、單獨の建築の問題ではなくして、建築と他の建築、或は建築と街路、廣場、河川、運河等他の都會要素との綜合體としての問題である。從つてこれは個々の建築を所有する者、各の建築を意匠する人の問題といふよりも、都市の行政に參與する人々、或は都市計畫の技術に當る人々の問題だともいはれるのである。

所が、都市問題で、都市計畫や市區改正の實際問題としては、道路計畫だけは計畫的に劃一的に行はれ易いけれども、それを埋める所の建築は、多くは個々の所有者や設計家の意向次第であつて、これを統制する手段としては、僅かな條件が法規によつて規定せられてゐるに過ぎないのであつて、これにより都會風景の難問題を、理想的に解決して行くことは、到底望まれないのである。

結局都市美觀の問題は、これを法規の力で强制的に解決するの必要が認められるほどには、重要でないといふことになる。それだけに、この問題は、建築所有者や建築家の公共心に訴へる所が大きいと云へる。

然しながら、都會風景の美醜を支配するものは、前述の通り、建築だけではなくて、これを整列せしむる街路、これを眺める立點として特に重要な廣場や公園、或は埠頭や運河等と密接に關聯してゐるのである。從つて建築家以外に各種の土木家の好意ある計畫と施工とに俟たねばならぬのである。想ふに都會風景は、行政家、建築家、土木家、造園家等の合作であつて、孤立的な努力は、何等貢獻する所がないといつてもよろしいのである。

而して都會風景に就て、建築に對して造園家の關與し得る領域は極めて微々たるものであつて、到底重大な風致問題の鍵を握らるるものではない。然しながら、ある程度まで、造園家の努力によつて改善せられることはあるのである。

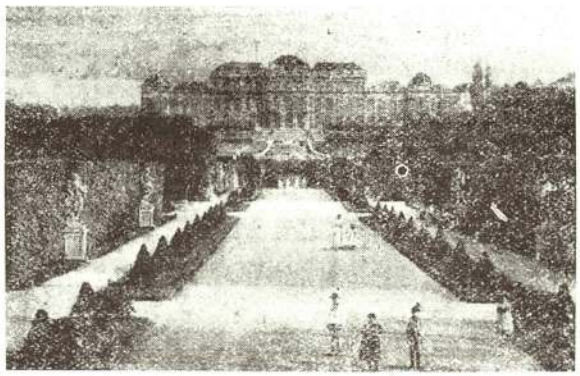
◇

都會風景に最も缺けたものは、自然の風貌である。元來都會は人工的な工作品であるから、そこには自然らしい地貌や地物の存在することは、却つて風景の破綻を來すことになるかも知れないのであるが、さりとて全然灰色でこれを塗り潰して仕舞ふのでは、あまりに殺風景である。そこで商工業地域に於てさへも、砂漠中のオアシスのやうに、綠地を介在せしめることによつて、都會風景を修飾せんとするのである。

並木、廣場の植込、小公園等がそれであつて、かうした造園的意匠によつて、あたりの建築がどんなに引立つてゐるかは、茲に贅言を要しないであらう。



第一圖 佛國西巴里 ルーブル宮殿



第二圖　墺國ウイーンベルベデーレ

を要しないのである。

個々の建築　殊にビルディングのやうなものになると、街路や廣場に直面して聳立するので、本來の美觀を發揮するが、然しそれでも、その出入口の兩側やバルコニーなどに槽植や窯庭や屋上庭園に綠の斷片が挾まれることによつてどんなに生々としたものになることであらう。

若し又その玄關前に車廻などの出來る場合であれば勿論、それほどの余裕のない場合でも、僅かな芝生帶や植樹帶が置かれるだけでも、よく建物はその前面の並木や廣場の植込と呼應して、土との緣を辿つて、大地に生えぬいたもののやうな觀を呈することになるのである。

住宅建築の場合には、一層造園的手法によつて、都會風景を美化することが出來る。個々の住宅に對して、一つの街路を通じての統一的な意匠を要求することは、無理な注文である。然るに庭園、就中、前庭に對しては、あゝり家庭的要求も少く、これを劃一的に意匠して、街路並木同樣に取扱つても、決してそれほど苦情もないであらう。その前庭の奥行を一定とするために、建築線を指定したり或はその外垣の意匠を統一したり前庭の植物の種類を制限したりすることなどは海外でも屢々見られる所である。

◇

自然風景地に於ける各種の建築　停車場、ホテル、別莊等は、大きな廣い風景に對しては、洵に微々たる一要素に過ぎない。然し風景地に來る者は、必ずさうした建築を中心として風景を探るのであるから、それは風景問題としても、決して見逃すことの出來ぬものである。謂はば自然風景地に於ける建築は、點景としての役目を果すものであつて、量的には輕微であるが、質的には仲々に重大である。

風景地の諸建築は、多くは單獨に孤立して、その周圍に自然を圍繞せしめてゐるので、建築はその材料や意匠に於ても、大いにラスチケートせられて、大地からすくゝと生い立つて見えるまでに、工夫せられるのが原則である。然しながら、時としては、却つて大膽なコントラストによつて、逆に人爲的な輪廓や色彩では成功することもある

そしてその何れの場合に於ても建築と自然風景とを聯絡せしめる仲介者として、造園を要するのである。造園は半ば建築の延長であり、半ば自然の人爲化されたものである。建築と自然風景とは庭園に於て、渾然と融合して仕舞ふのである。

かくして自然風景地に於ける庭園は、二重の役目を果さなくてはならぬ。その一つは建物を自然へ調和せしめる事、その第二は自然風景を建物へ引寄せることである。

建物を自然へ調和せしめるための手段としては、建物を出來るだけラスチケートして置いて、その上で、テレースをとりつけ、壁に蔓を纏はせ、そして建築と同一の材料や意匠で、庭園の床や壁、噴泉や四阿や庭園家具を取扱ふことである。それには勢ひ庭園の意匠も洋風の建築的な意匠となりがちである。

次に自然を庭園へ呼び寄せるには、附近の材料を庭木や草花として用ひるのも一法であるが、多少これを園藝的に加工して取扱ふべきである。又多くは附近の自然風景を構成する材料と似通つた別種の庭園植物を採用するのである。

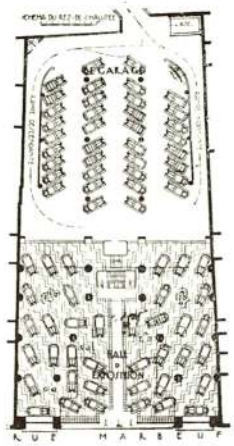
其外、地形、水流等に就いても周圍の素自然から庭園への推移を圖るやうに工夫すべきである。更に進んだ手段としては、建築の殊に調和した庭木を用ひたり、建築のマツスを釣合はしめるための植込を配置したり、或は建築の外觀ミ調和した意匠の圖案を庭面に表はすやうにして兩者の融化渾一を期するわけである。

（五・三・二二受付）

1



2



3



1 内　部　2 平面圖　3 外　觀

マガザン・ド・ヴアント・ドウトモビル(巴里・マルブーフ街所在)

ラプラート及バーザン兩氏設計

切取線

標商録登



資本金　五百万円
年産　百五十万樽

ヨロギヨロ高級セメント
ヨロギヨロセメント
(特許七八四五)

二日で普通セメント四週の强度

耐壓力
一日　三〇〇
二日　四〇〇
七日　六〇〇
二八日　七〇〇
瓩平方糎

高輪伊皿子路面工事は冬期
三日で八噸ローラーに堪えて
完全なりき

「早期高强度」時代の要求
脫枠迅速工事期間の短縮は
弊社高級セメントに
依りて得らる

終局强度も大にして
使用法は普通セメントに同じ

本品は已に陸軍省、鐵道省、東京、大阪兩市等に御使用の榮を得たり

大阪窯業セメント株式會社

大阪市北區堂島濱通二丁目　電話北自一一〇至一一三番

工場　大阪市港區南恩加島町
電話櫻川 一一七七 二六〇九 二八四三

東京出張所　東京市神田區表猿樂町
京都出張所　京都市二條驛前
名古屋出張所　名古屋市中區老松町七丁目

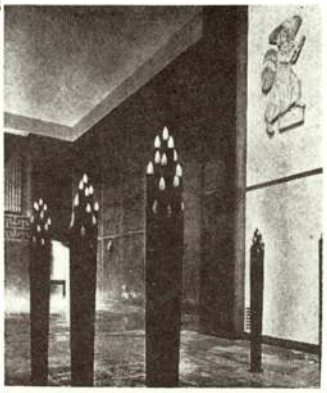
1



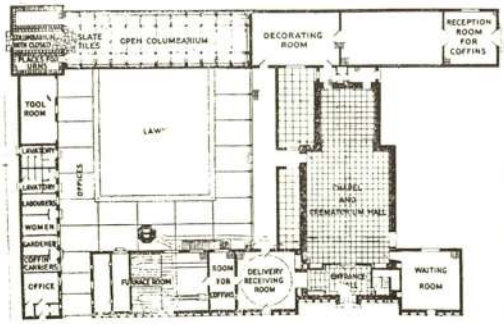
2



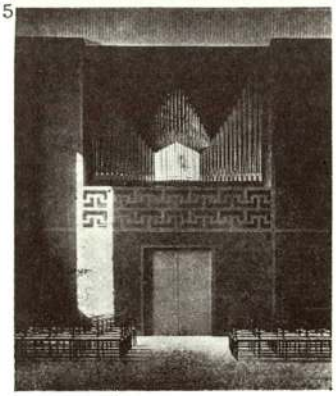
3



4



5



1 正　面
2 主要入口
3 同詳細
4 平面圖
5 チヤペルホール

ゼンデルマルク葬儀所
(デンマーク・フレデリツクスベルグ所在)

設計　エトワート・トムソン氏
フリツツ・シユレーゲル氏

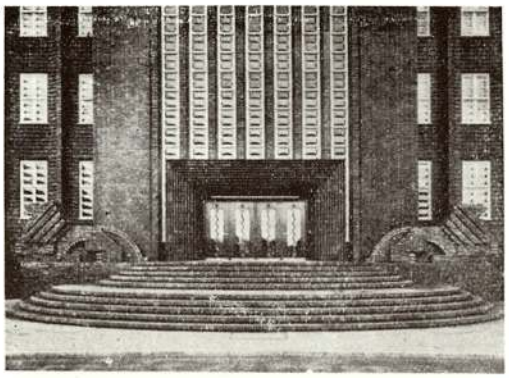
切取線

『建築と社會』昭和五年毎月發行計畫豫告

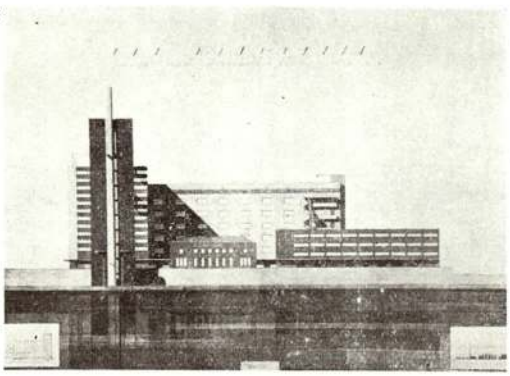
二月號　學校建築(既刊殘本あり)
三月號　ホテルと倶樂部(既刊　同)
四月號　建築と風致(既刊　同)
五月號　住宅の樣式・裝飾・設備
六月號　鄉土建築
七月號　木造建築の將來
八月號　明日の建築
九月號　耐震耐火建築の普及
十月號　工場と倉庫
十一月號　銀行と事務所建築
十二月號　建築工事と其材料
一月號　昭和五年建築大觀

本年度は右の通り發行の計畫です、主題目の中に御造詣深き問題に對しては續々御投稿を願ひます、又毎月この外特に住宅欄を設けて住宅に關する記事を蒐めたいと思ひます、原稿はまへの月の十五日までに編輯部宛御送りを乞ふ。

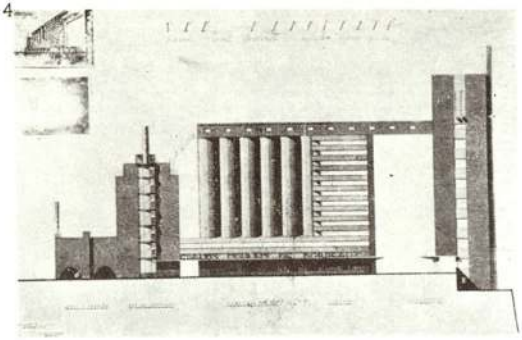
『建築と社會』編輯部



1 正　面　2 主要入口、煉瓦造突
建物容積41,600立方米
リユストリンゲン市廳(獨逸)フリツツ・ヒユーゲル氏設計







3.4 製粉工場　　**マンクス氏設計圖**
一九二九年秋サロン出品圖案

切取線

庭園
設計と施工

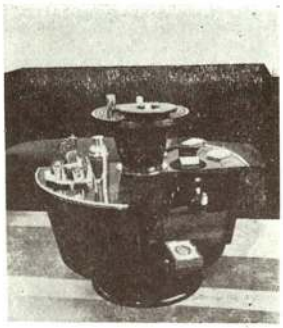
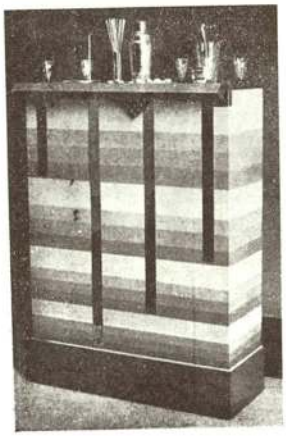
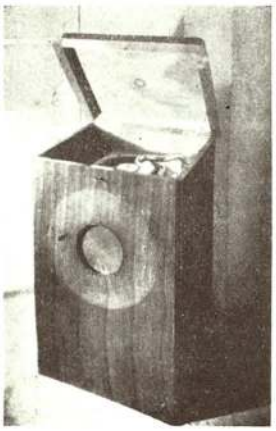
造庭學上の新智識を實地に應用して經驗を積む事十餘年
獨特の技術と從業職人の訓練と優秀な設計と完備せる施工

和洋庭園築造請負專門
創業大正五年我國唯一　設計と施工案内進呈



橋本庭園工務所
大阪市住吉區田邊町鶴ヶ丘
電話特長天王寺(七)一三三四番




佛蘭西の家具新傾向
（雜誌アール・エ・デ・コラーションより）

切取線

責任保證
絕對防水

本間式防水工事

完全施工
優良材料

最新式メンブレンシステム防水工
最も合理的最も經濟的防水工

構成 / 材料 / 仕様 / 番號	アスファルト 塗布回數	アスファルト 使用量 面坪	アスファルト 使用量 平方米	補強材料 フエルト	補強材料 アスタイト	補強材料 フェブリック	補強材料 貼付枚數計	防水工厚 分（約）	防水工厚 耗（約）	標準單價 面坪 圓	標準單價 面坪	標準單價 平方米 圓	標準單價 平方米
第一仕様	五回	六貫五〇匁	六八匁	一枚		一枚	二枚	三	九	7	50	2	27
第二仕様	六回	同	同		二枚		二枚	二・三	七	9	50	2	90
第三仕様	五回	同	同		一枚	一枚	二枚	二・七	八	9	50	2	90
第四仕様	六回	同	同	一枚	二枚		三枚	二・七	八	10	00	3	00
第五仕様	五回	同	同			二枚	二枚	三	九	9	50	2	90
第六仕様	八回	八貫六七〇匁	九匁		三枚		三枚	三	九	13	00	3	90

防水層補強材料
アスタイト　フエブリック
鳳凰印アスファルトルーフ幷ング
鳳凰印アスファルトフエルト
日石アスファルト特約販賣

大阪市西區京町堀通一ノ四〇
工材社
電話土佐堀(44)五八〇九番



建築斷相

(2)

松室重光

第九 土木と建築事業の不權衡 (つゞき)

學校と云ふ學校が鐵筋『コンクリート』造に改められています。此處こそ眞に兒童の樂園でありませう。明るき教室、屋上の庭園や其眺望や、其廣き運動遊戲場等、それは生徒達に洵に幸福な境地でありますが、一度其家庭に歸って來ますと此樂しき映畫は最早連續いたしません。此處で突如として斷れて深崖に臨んでいます、暖たかき夢は忽ち覺めます、驟然として明から暗に、高から低に逆落しになつてまゐり、其境遇は急變いたします。

格段なる生活の相違が可憐の兒童を冷たく待つてゐるのであります。

(不景氣の爲とは申しながら京都などでは小學生が朝食を取らず辨當を持つて來ないのが澤山あると云ふ事實はこれ)

(幼稚園や小學生の道路横斷に交通巡査の保護を要する)

卑濕なる家、陰暗の家、臭蟲の跋扈する家、蚊群に責められる家近所の音騒がしき家、夏は熱風で身を燥く様な家、冬は寒氣で膚を刺す家、それが純眞なる子供達に社會呪咀の念を起さしめずに待つてをりませうか。

家賃の低下を要求するのも然る事ながら、何故に人々は此等の家の改造を要求せぬのでありませうか。此處にも住居に關する正しき理解のないのが知られます。

市民の重き負擔によりて道路は廣濶となり、橋梁は莊麗となる。學校も病院もともに其觀を改めてよくなります。

唯一つ人間の生活の本據たる住宅だけには誰一人之が改善を志さしてくれる者なく後に取殘されてをります。

學校の美と申しますのは唯其校舍建築の耐震的な構造上の安全と言ふ點だけでありませう。入學難と準備教育と、內申問題などを考へますと此美はしき學校は何の目標となるのでせう。

(實例は慘として擧示するに堪えぬ)

病院がよいと云ふのも其表面的な清き感じだけであります。衛生の民衆的施設として貧乏人を歡迎してくれます病院は極少數であります。高き藥價、附添看護などの失費を計上しますと下層階級人はなか〳〵之に近よれぬのであります。

多くの人々は極樂を眼前に見詰めながら、之れにゆく橋を斷たれてゐるのであります。

民衆の爲にする建築は決して道路や橋梁の様に一般的には開放せられてをりません。而して其施設に要する經費は道路や橋梁の様に潤澤でないのであります。

即ち同じ社會的公共施設でありながら土木事業と建築事業には格段の差違があります。

《貧しき人達も又稅を負擔してをります》。

前に申します如く、建築から見ると我等の異様に感じ怪しと見る點があります。即ち代表的な顏をしてをります所の大都市に於て、其建築の永續性と其土木的施設の永續性とに全く別な取扱方や見様をしてゐる如く思はるゝ點があります。

何故に道を立派に築造し橋を斯く迄完全に造り替えると同様に同じ程度に、同じ速度で其學校なり市場なり、或は美術館などの建設を急がないのでありませうか。市の中央部の施設を良くする事によりて場末に居住する細民達は果してどれだけの恩惠に浴して居るのでありませうか抑も端々場末の道路や溝渠や其橋梁が衛生的に(茲には美觀的ではなく)改善せられるのは何時のことでありませうか。

都市民の多數の爲の健康と住居の關係解決の基礎として、其土木

的施設が中央部のみに限つて行はれてゐるのは事情眞に止むことを得ない結果でありませうか。

最も多く進歩してをるべき大都市に於てすら建築の眞性質と其價値に對する見樣は實に如斯き狀態に置かるゝのであります。

府縣の廳舍などが段々と堂々たる大廈高樓に其莊麗な姿を表現して來てゐますが、それが國民の文化生活にどれだけの利益を與へてをりませうか。(高知縣や富山縣の漁民騷動は何を語るか)

第十　富みたる人達の家

公共的建築が大分立派となつて民衆生活の『レベル』からちと懸け離れて來た如く、富みたる人達の家はそれにも倍して美を窮め麗を盡くしてゐるものが少なくありません。少なきも十數萬圓、多きは數十萬金をそれに費やして其宏大なる地積や庭園と共に、僅かに五七人の家族が居住してゐるのであります。

此一家の建築費は一小學校一病院の建築を裕に成就せしめて猶餘りある位であります。私はこれを社會主義的見地から偏狹に見詰めて弱き者の『ひがみ』や呪咀の言葉を發するのではありません。たゞ此事相をはつきりと見詰めて、此極端なる差異が人間生活に必至の自然的現象であるか、或は又不自然なる人爲的の變態的現象であるかを見極めたいのであります。

小人數の居住として幾百坪の家屋幾千坪の土地それは其人の富と力との表現として輝くのでありませう、しかし其生活にどれだけの幸福があり意義がありませうか。

九尺二間の家にすら身を容るゝこゝの出來ない人達や、十坪二十坪の地積すら占め得ない人達は、唯其無能、無力を悔みて其現世の困苦生活を何等かの理由をつけてあきらめねばならぬのでありませうか。

これは働く人達の無智や無能の爲ばかりではありません。爲政上の大なる欠陷が之に導くものがあるからであります。

土地を證券化しやうとする樣な筐捧な政治が、兎もすれば實現可能の世の中ですから戒心せねばなりません。

土地や家屋が不動產でなくして純然たる一個の商品となることがある時、我等の生活は其根本から動搖して參ります。そして富と貧と共處に因緣がないとは言へないのであります。

第十一　一般的住宅
問題の解決

(これは私の我協會の住宅委員會に特に御願ひしたい事項であります)

我等の希望とする所はあく迄普遍的一般的のものであるとです。即ち最も低き階級の人々の生活を最低限度の線上に引上げる爲の改善施設の研究であります。

今日の最低限下に置かるゝ生活者は矢張り勞働階級の人達であります。我勞働階級の人達が日給の一圓五十錢や乃至二三圓を獲て五七人の家庭を經營する其生活の有樣は涙なくして正視し得られぬ境涯であります。

其住宅の改善を第一に考慮して貰ひたいのが我等の念願であります。住宅の裝飾的方面の研究などと云ふ事は末の末の事柄であつて衣食足つての後の事であります。

社會生活の原動的第一線に立ちて奮闘する人々に對しては、我等は其努力に感謝する意味に於てもよりよき家の供給が必要であります。

されば、此人達に對して如何なる家を與ふべきか、爰に最下級住宅の計畫が考慮せられねばなりません。

勞働階級の人達の住居に關しましては既に幾多の實現例示もありますが、私はそれに滿足いたしかねるのであります。それは餘りに極限せられ切り詰められて少しも居住に餘裕のない點であります。人間を機械的に取扱ひまして一種の規則中に拘束して更に其自然を認めないと言ふ點であります。

聚合住宅などは其一例であります。これは、恰かも重箱の樣なものであつて、たゞ窮窟な角ばつたものであります。丸味も暖たか味も認められません。

然らば私は何を希望とするか、茲には單に箇條だけを列擧して置きます、一々之を評說すると餘り問題が廣汎になりますから。

(イ)解決の敏速と便宜の爲本邦固有の住宅樣式を研究すること。

(ロ)木造建築の耐震耐火的具體例を示すこと。

(ハ)住宅の室の數は三室以上とすること。

(ニ)此三室は疊數の部分にして三帖、四帖半、六帖とすること。

(ホ)之に臺所、便所、洗面所を併せ設くること。

(ヘ)大さの規準はメートル法により、從來の一間六尺に代ふるに二米六尺六寸を標準とすること。

(ト)疊の大さは從來の京間に準して其六尺三寸に三尺一寸五分のものに對して百九十四に九十七の大さとすること。

(チ)柱は十二以上とすること。

(リ)厨房大さは右の標準より算出したる三疊敷相當の大さ以上となすこと。

(ヌ)便所は必ず大小便所の二箇所に分ち各半疊即ち一米平方の大さとなすこと。

(ル)洗面所は別に必ず設くること。

以上は我等の細民階級住宅の主要なる構成要素であります。之に衣服寢具其他の調度什器なごを納むる爲の押入物置、神佛禮拜用の爲の床又は棚、それから室と室とを連絡する所の廊下や椽や庇などの隨伴して來るのは勿論でありまして、夫々それを適度に按配することであります。

猶上述した住宅は平屋の場合でありますから、それが連續長屋の場合と、又は二戸若くは四戸位に限らるゝ場合と、更に進んで之を二階建とした場合とは必ず考慮せられねばなりません。

それから此勞働階級の住宅は特に法律即ち建築の法規に於て其單位、其構造の方法、其材料の大さ等を詳細に規定してほしいと思ふのであります。

斯くして勞働階級の住宅は何れも一定の規準の上に建てられて彼等の爲に健康な安住の素地となるでありませう。而して其借家賃なり維持の經費なりが正確に算出せられて物議の種を殘さぬことゝなりませう。人間が一家を經營するに必要なる住居の費用が明瞭に算出せらるゝでありませう。

勞働階級の人達の爲に、先づ安全なる家を與へよと申す所の我等の主張は、極めて單純にして淺薄な而し又表面的なる考へ方ではありますけれども、我等は之によりて彼等を其機械的な取扱や牛馬に等しき待遇より遷して、それに正しき人間味を味はしめ度い爲であります。彼等を救濟すると言ふ樣な大きな主張や理想ではなく、唯現實に彼等に其勤勞を要求する前に先づ以て彼等に然るべき位置を與へよと言ふだけであります。此待遇を與へて彼等から適當なる勤勞を要求する、而して兎もすれば彼等が其生活事情の餘りに極端なる懸隔あることを認むる爲に陷入り易き階級鬪爭意識や危險思想の芽生へを防遏しやうと云ふのであります。

無論たゞこれだけの事によりて所謂社會主義思想や、階級鬪爭觀念の排除せられつくすことの不可能なるは言ふ迄もありません。斯る意識の發生の原因は種々複雜なものが存するのでありますが、建築家としては先づ自分達の手の屆く範圍内に於て社會的公正の施設を主張するのは其當然の權利であると共に又義務であります。

附記する一事があります。それは新聞帋の報導する所でありますから果して事實であるや否やは確めたのではありませんが、大阪市が政府の補助を得て何百萬圓とかを投じて大『ホテル』の建築をなすと云ふの一事であります。

我國に『ホテル』らしき『ホテル』のなきことは說く迄もありません。毎年幾萬と來遊する外國人の爲に適當なる宿泊の家を提供することは決して無川のことではありません。併しながら、我國の今日の事情に於てそれが急務であるや否やは疑問と存じます。

此一棟の建築によりて、幾萬の失業者が救濟せらるゝと言ふ譯でもありません。其經營によりまして、日本の不景氣が除却せられるとも申されません。

それだけの金があれば都市の細民部の改善でもして貰いたい。それには手をつけてゐて決して閑却していないと云ふ申譯の當事者から出るのはきまつて居りますが、それは唯申譯に過ぎません。今日の樣な社會施設は謂はば九牛の一毛であつて更に其根本に觸れてをりません。

我國に外國人の來遊するのは善美なる『ホテル』の存するが爲ではありません、我國の山水、其文化其國民が彼等の遊覽の對照でありまます。我國土にして美なる限り、我文化にして其東洋色で獨特に輝く限り、其國民にして純朴に榮ゆ

る限り、彼等は之を慕ひて集り來るのであります。大阪が煤煙の暗黒から救はれない限りは此處に永く足を止めやうとしないのは當然であります。我邦の物價の高値なる限り彼等が其滯在日數の一日も少なからん事を希望するのは又當然であります。

到る處の名山を『ケーブル』で荒らし、其社寺を無殘に損傷し、やれ國立公園だなどと稱して其大自然を破壞してどうして人の招待が望まれませうか、彼等が期待する所は東洋の君子國であります、歡樂の淨土であります。武士道の行はるゝ國であります。此期待に反する方法のみ執りて彼等の來遊を求むるのは甚だ無理であります。

で我等は爲政者の考へ方を間違つたものとしか信ぜられないのに遺憾を表してをきます。

第十二　建築と氣候　風土との關係

家屋は決して一樣には構成し難きものであります。北は千島の端より、南は臺灣の極み迄、此間に延びたる我帝國は寒帶から亞熱帶迄に連亘して、其兩端に於ては大なる氣候の差異がありますから、之に留意して家屋は其規模及び設備を夫々に其土地相應のものたらしむる必要があります。

之を住宅に就て見る時は、北方は其酷寒に對して南部は其褥暑に對して、共に居住に適好ならしむる方法を執ることが最も肝要であります。

これを東京や大阪一帶の中部地方の狀況で律するなれば大なる間違を生ずるのであります。即ち同一の『プラン』と『イクイツプメント』では不自然であり且つ無理を來します。

雪國の建築

近く之を北越地方の例に取りますと、冬期に於て其十餘尺に超ゆる積雪中に於て、その居住に適好する住宅は殆んど雪を見ない近畿地方の家屋其儘では價値のないことは無論であります。

爰處には冬季其積雪中に於ても適當に活動作業運動の出來る屋內の廣さと、其構造と其附帶設備とを必要とするのであります。

居室用として此地方に冬時行はれる所の尤も普遍的なる炬燵は採暖用としては可なり面白い味を持つたものでありますが、晏然と坐臥し、談話し飮食する場合には中分ない便利なものでありましても活動的な生業經營には尤も不便なものであります、之は是非ともに改善を要するものと覺えます。

此地方の住民は其家屋の規模構造設備の不備なるが爲に從來冬期は屋內に蟄居して碌々生業を勵むことが出來なかつたのであります。之れは氣候に打勝つ人文的施設の行はれなんだ結果でありますが、今日より見る時は、其間取の改善と構造と其內的設備の充實とによつて立派に救治し得らるゝことでありますから、寒地居住の建築家などは先づ此點に充分に考慮工夫して其土地に適好するものを按出する義務があります。

此處へ鐵筋『コンクリート』の薄い幕壁の家を建てゝ其屋根を陸屋根となすが如きことあれば、それは全然地理的事情に暗き無學さを表白するだけであります。

積雪の排除に對して、自然で尤も便利な構造樣式は矢張り急勾配の屋根であります。雪の排除の方法は無論如何なる場合でも可能ではありますが數多き民家などに此陸屋根構造は決して勸奬すべきものではありません。

又壁體の保濕防濕の裝置として草藁等の詰込み、或は防熱加工品の貼付、土壁の塗つけ等は必要なる施設の一端であります。

斯樣にして氣候の寒烈なる地方の建築には、其規模構造及び設備に又自ら別種のものあることを知らねばなりません。

若し之を外國の例に徵するとすれば、北歐瑞典諾威の如き其一例であります。露西亞の建築なども其一種であります。瑞西の田舍建築も又其面白い手本となり他山の石となるものであります。特に瑞西の家屋の如きに至つては其採光關係などに就て大に學ぶべき點がある樣に思はれます。

北米の建築の如きは建築其物よりも其內容の機械的設備を飽く迄充實して金に絲目をつけぬのでありますから、我國の樣なる貧乏世帶では學ぶべき事ではありません、其傳統を重んじて頑として固有の建築の樣式構造に我慢し執着して更に其不便を意としない英國のそれも又模倣すべき價値はないのであります。獨佛の建築などは言ふも更であります。其處へ西班牙風などを輸入しやうとするのは不心得の事であります。

第十三　地方實業學校の建築教育

我國の教育制度は其孰れの種類を問はず、皆地方の實情を無視したる一律的のものであります。これが教育の大弊害であつて、地方色の破壊や農村の疲弊を見ることに至つた原因であります。

地方の工業、商業、農業等の所謂實業本位の學校は其本來の面目として、それ〴〵其地方に固有にして其處に自然的に發生したる產業の開發助長の爲に主として其子弟の教育指導をなすべきでありますが、事實は何處も之に反して、一樣に都市的生活を標準としたる教育を施しますから間違を生じてまゐります。

地方の工業學校などは、事の建築に關する限りに於ては、必ず其地方の地理的事情を根據としたる地方色教育を第一とせねばならぬと思ひます。之を放棄して都市一律の飜譯的教育を施こして居りますのは關係者の無自覺無能なるが故であります。

ついて考ふべき一事が有ます。上は大學を始めとして、下は地方の各種の職業學校の卒業生の爲の就職紹介運動が毎年秋から春へかけて行はれまして、或學校ではそれに必死の努力が拂はれることであります。

建築に關する學徒も又其範圍を漏れず、此手篤き紹介を蒙りまして其就職口を求めるのでありますが、私は此擧を以て其子弟を毒するものと信ずるのであります。

固より彼等をして失業せしむることは其教養の主として、師父としては忍び得られぬことでありませうが、親切と恩惠の過ぎたるものは畢竟子弟の獨立自主心を傷つけ、其依賴性卑屈性を馴致するだけ有害の分子が多いと認むるのであります

從つて地方の工業學校が其卒業生を都會に送りこんで其地方を空虛にし、都市文物の實際的研究をさせたり、又之に當らせたりしやうとする考へは少々間違つてゐるものと思ひます。地方には大した建築がないから都會に出でて建築を學ばねばならぬと言ふことならば、始めより地方に左樣な目的の學校をつくらぬ事が尤も賢明なる方法であります。

既に都市には其生活體の必然的なる要求に應ずべく何處にも、それ〴〵に充分なる用意がありますが其處で兎に角も用意せられたる人達が右から左へと需給せられまして猶剩りあると云ふのが今日の實情であります。よりて到底此以上に地方に人を求むるだけの用事がないと云ふ處へ無理に地方から人を押込まうとするのは不心得の事であります。

地方の人達は宜しく都市の本質を充分に見極むべきであります。今日の我國の大都市はそれが東京であつても、はた大阪でありましても言はゞ空中の樓閣であつて、決して日本文化の動きなき基礎の上に立つ正しき代表的な表現體ではないと言ふことを知らねばなりません。

此處は單に歐米皮相模倣の文化表現體たるに止りまして日本の眞髓は既に失はれた處であります。日本の眞精神は此處に認むることが出來ないのであります。

高層建築ばかりが決して建築の全部ではありません。鐵筋鐵骨コンクリートの建築のみが決して耐震耐火構造の全部ではないのであります。茲をよく考察して地方からは都會を見るべきであります

純眞なる日本は既に大都市に於ては其姿を消してゐる、たゞ其が地方に於ては猶完全に殘されてをります。保存せられてあります。

此純眞日本をよく研究して其形體實質の光を發揮する爲地方の實業教育は行はるべきであります。

地方の人々はたゞ眞向正面のみを見詰めずに、其脚下に眼を轉ずべきであります。而して其極樂淨土らしく莊嚴せられつゝある都會が案外にも焦熱地獄であつて、極樂は反つて眼前にある事を覺らねばなりません。

我國の地方にはそれ〴〵に其特質の歷史あり、文化あり、而してまだ〳〵產業的に未開發の資源が澤山に埋藏せられてゐて、やがてそれが地方の特殊文化の建設大成の基礎となるものであることを知るべきです。

物資の集散場であり製造加工整理の工場である都市には決して特殊なる面白い文化の生成するものではありません。

都市の現在の莊嚴的種々相は要するに商品に貼付したる一種の廣告宣傳用の札や包裝帋に止まりま

して、それ以外の一國一地方の眞の文化の表現ではないのであります。

で、地方の開發の先驅者となり指導者たるの位置に就く者は實に其地方の實業學校出身者であり、其地方の實情の熟知體驗者であることを要します。

建築の地方的色調にはなか〳〵面白いものが澤山にあります。これは其儘に存置せしめてをくも、其地方發達の將來に何等の支障とならざるのみならず、寧ろ將來の大日本の構成分子たる健全なる地方を大成するの原子として最も重要なるものとなるのであります。

第十四　地方町村の改善計畫

都市計畫が其法規的適用の範圍を擴張して、大都市より次第に地方の小市町迄及ぼされつゝあるのは、此地方的色調の適當なる維持と保存との點から考へますと餘程警戒して其實施の方法を監視するの必要があります。

其根本方針に於ては一個の單行法規で律するとしても、地方毎に其實際的な施行細則を異にすることが必然的であり、且つ又絶對に必要であります。此點に於て、若し地方の官憲當事者らが其範を東京や大阪に求めやうとするなれば必ず過誤に陷いると云ふことを知らねばなりません。

地方市町の改善計畫即ち一般的なる所謂都市の計畫は、先づ其土地の實狀から出發せねばならぬものであります。其建築土木の計畫を實質事情の異なつた他の都市に範を採ると言ふことは間違ひであります。

之は人口のみに比例するものとは限りませぬ。其土地の富の力のみにもよりませぬ。氣候風土は第一に其土木建築的計畫の基調であらねばなりませぬ　而して其歷史人文から其地方開發の將來を考察した上に立案せらるべきものであります。

例せば北越や其他の寒き地方では、其道路は冬時の降雪に支障なく交通し得るの方法を講ずることが必要の一事であります。之を機械的に大仕掛に排除してゐる北米方面の樣に道路の幅や構造に何等の考慮を拂ふことなしに南北共に一樣の案で押通すのが良いか、或は瑞西地方で見る樣な軒下通行の方法によるのが經濟的で且つ地方の情趣に合致するかなどよく比較考究の上で決定せらるべきことであります。

そこで斯種の考案を立つる人は土地の實情を知悉して居て、其地方に根を持つ人達が第一でありまず。地方の實業教育に地方實情よりする教育の方策を立つべしと言ふのは此意味であります。都會の事のみを知る人の案は危險であります。

都市の人達は良く地方事情を知りません。從ひて一學校一病院の建築にしても之を其地宜に適合せしむるが爲には先づ以て其地方を學ぶの必要があります。彼等は此實情に暗きが故に兎角それを閑却いたします。而て申譯して地方に文化なしと稱するのであります。之は都市に生ひ立つ人達は勿論、都市に設けられてゐる各種學校の先生達に於ても一樣に見る偏見であります。學界の權威者などと言ふことは單に一少部面のみの事でありまして全般的ではないのであります。で彼等は勞せずして、居ながらにして智識と講演の資料を求めんが爲に兎角歐米のものに學びたがります。

此處に重大なる間違が生じまして、最高學府の徒が國體破壞の端を啓く第一人者となるのであります。之は修養の不足、眼界の偏狹易に就き難を避る姑息の徒が一般的に墮する處の結果であります。

住宅の建築などはよくよく此點に留意して其地方的色調の研究をなす事が大事であります。何と申しましても我等日本人の住む家であります。歐米人の住居ではありません。

我等の居住からは我等の持つところの傳統と歷史とは決して離るゝものではありません。木造建築の細部の裝飾的施設や形式は勿論のこと、其耐震耐火で衞生的に於ても相當に永續性のものたらしめ得べくんば、殊更に西洋の建築の外貌を學ぶの要はないと存じます。

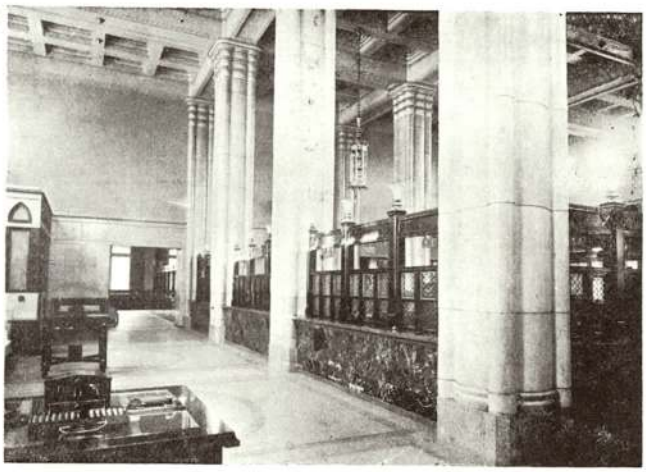
都市に於ける現在の歐米風建築すら決して滿足すべきものでない上に、それ以下のものを地方に移すことは愚の骨頂であります。よしやそれが都市以上の物として表現せられましても、矢張り歐米の模倣より脫却しないものであることは明白であります。之を日本のものとなすにあらずんば其意義はありません。

（以下五月號）

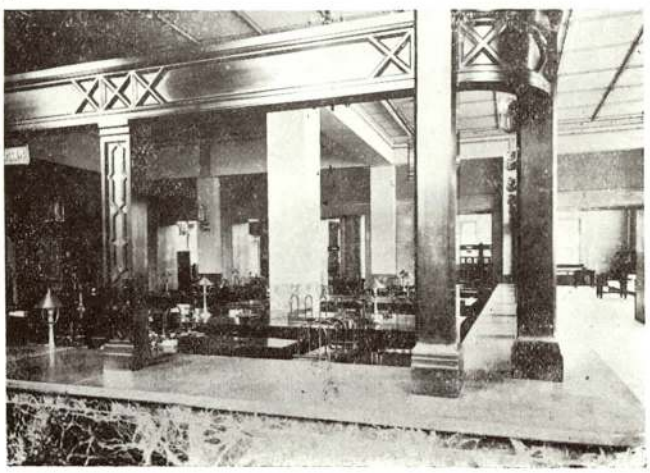
1



2



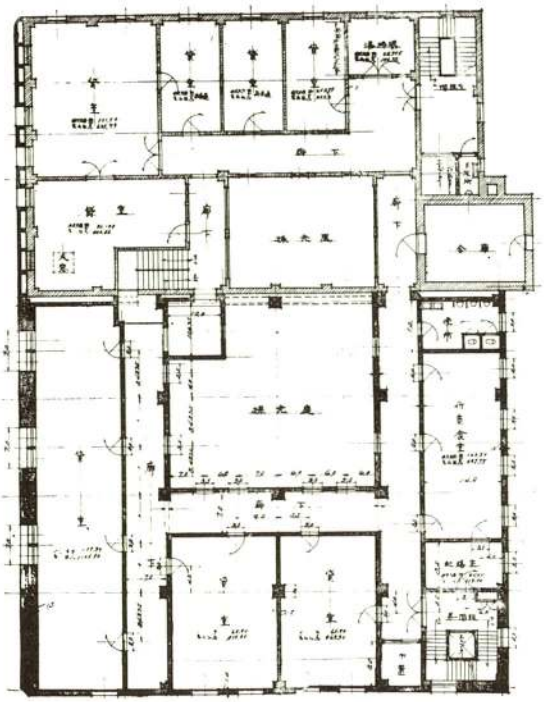
3



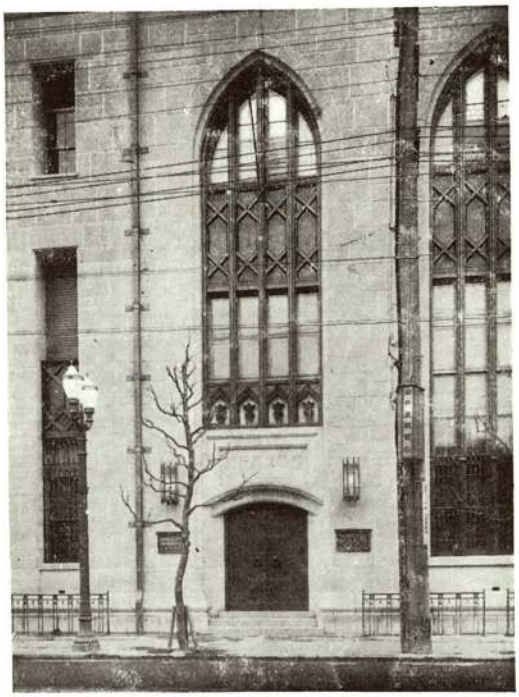
1 外　　觀
2 營業室(新館)
3 同　上(舊館)

住友銀行船場支店(1)
設計 住友合資會社工作部
施工 清水組大阪支店

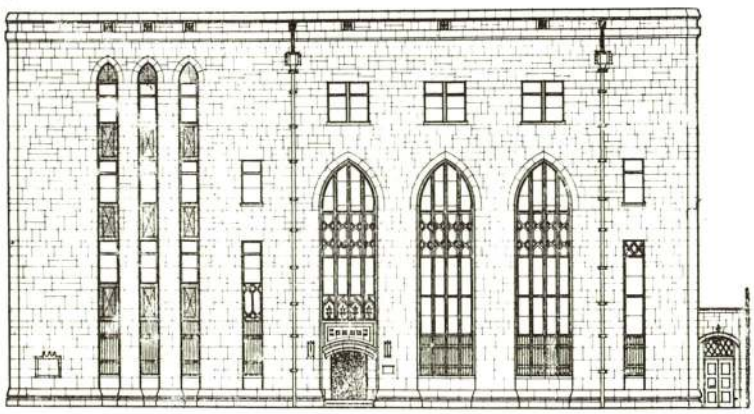
1



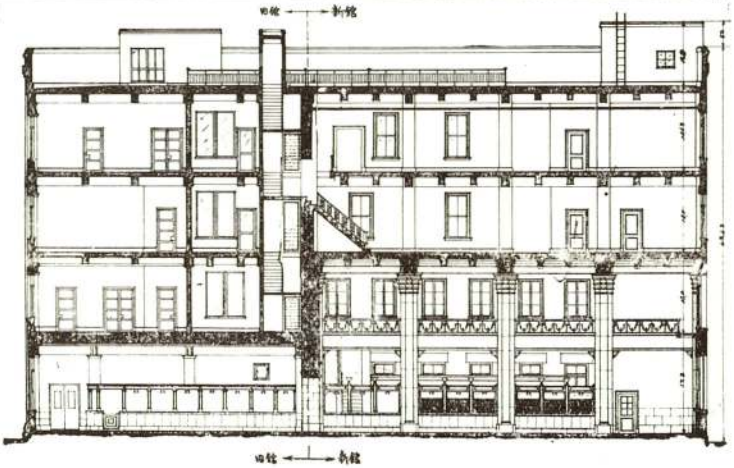
2



3



4

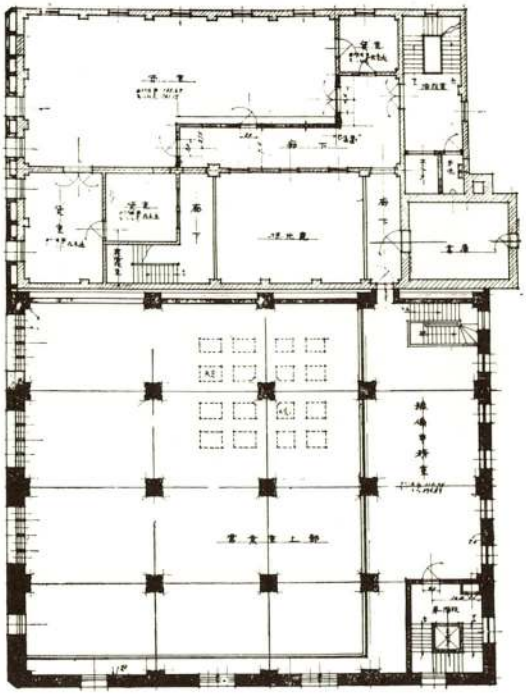


1 第四階平面圖
2 正面玄關
3 正面姿圖
4 橫斷面圖

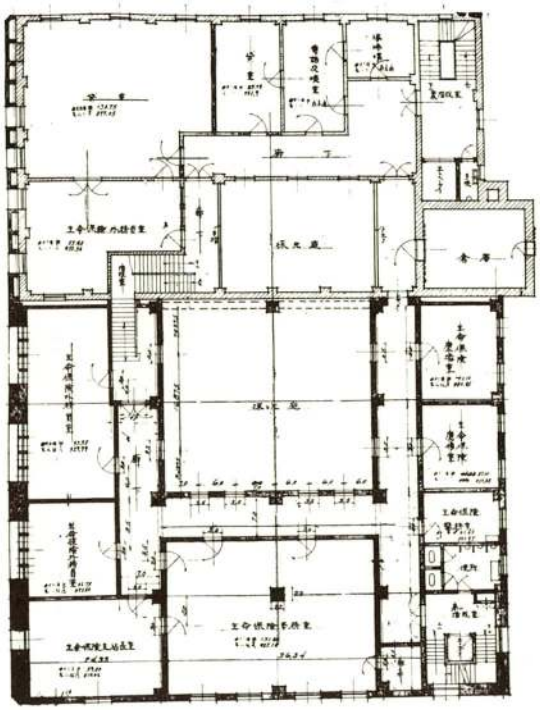
住友銀行船場支店(2)

設計 住友合資會社工作部
施工 清水組大阪支店

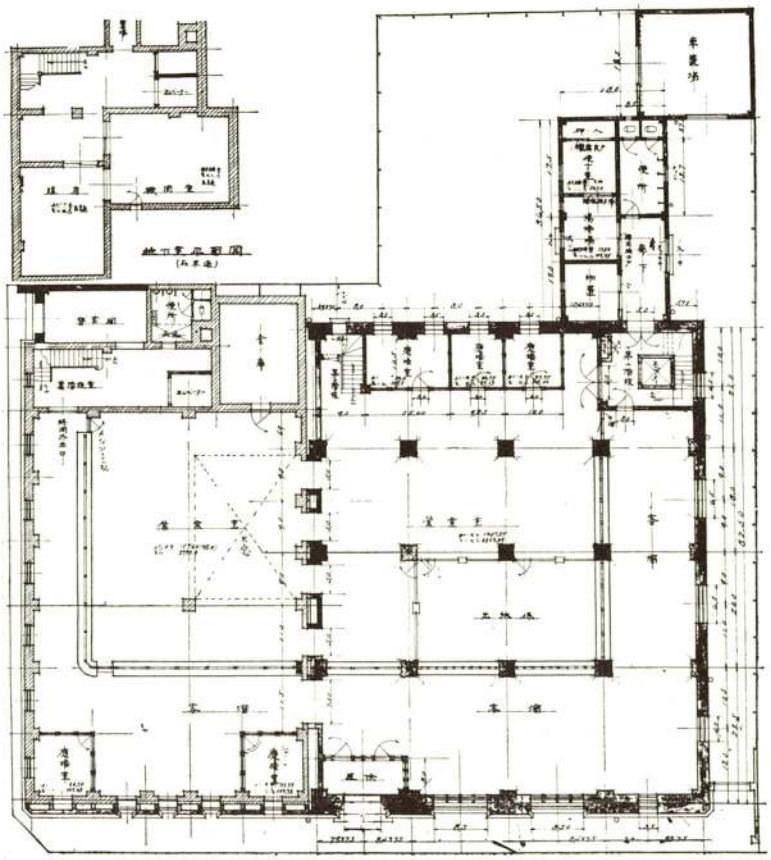
1



2



3



1 第二階平面圖
2 第三階平面圖
3 第一階平面圖

住友銀行船場支店(3)
設計 住友合資會社工作部
施工 清水組大阪支店

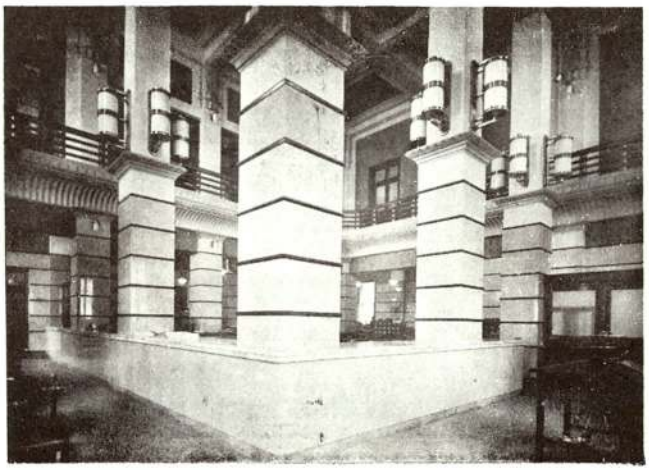
1



2



3



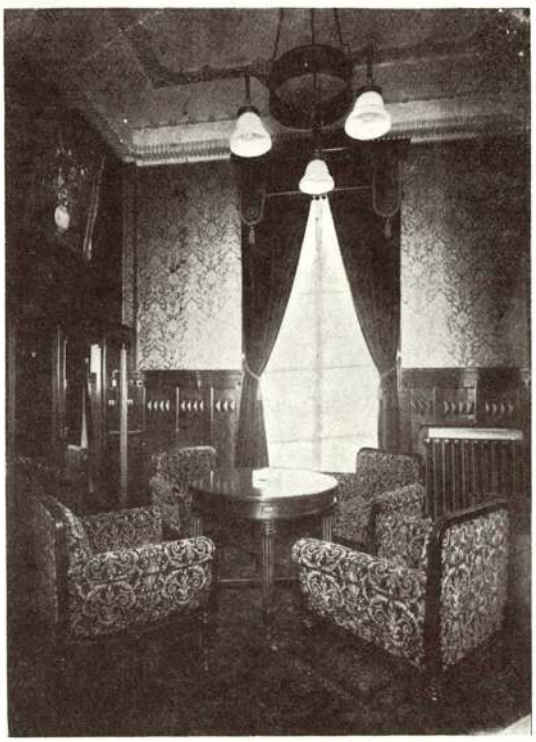
1 外　　觀
2 營業室天井詳細
3 營　業　室

大阪農工銀行本店(1)
設計 國枝工務所
施工 清水組大阪支店

1



2



株式會社大阪農工銀行工事概要

場所　大阪市東區今橋(地域地區は甲種防火地區)

樣式　モダーンルネサンス鐵筋鐵骨コンクリート二階建

一階　營業室、金庫室、重役室、應接室、待合室等

二階　總會室、事務室、應接室

地階　食堂、倉庫、宿直室

總面積　二三四坪六九

建築面積　一六〇坪八五(切取部分三三坪〇)

地階　七十五坪

一階　一五四坪三九

二階　一一九坪九六

塔屋　五坪二四

延坪　三五五坪四

軒高　三九尺塔屋を加へて四三尺

設計　國枝工務所

施工　合資會社清水組大阪支店

工事着手　昭和五年三月

工事完成　昭和五年十一月

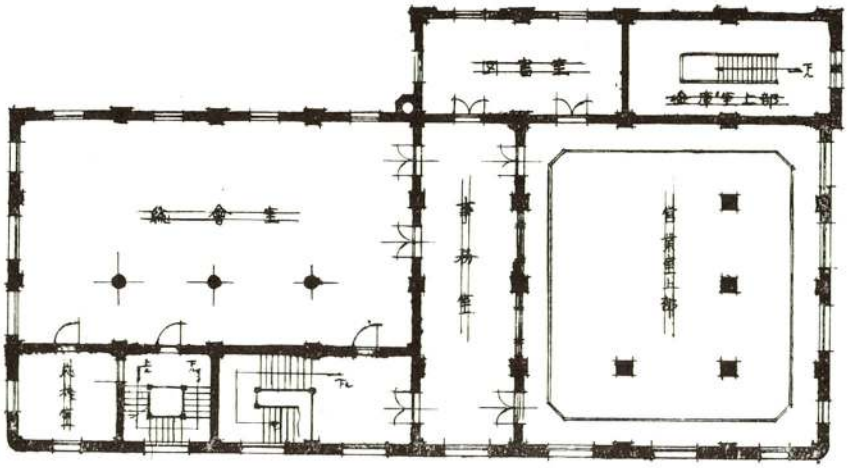
外部　腰花崗石、出入口並窓廻り蛇腹はテラコッタ其他特製タイル貼り

內部　營業室の壁及カウンター共全部大理石貼り、天井は殆んど石膏彫刻ものにて其他各室共舊來のものを大變更したるもの

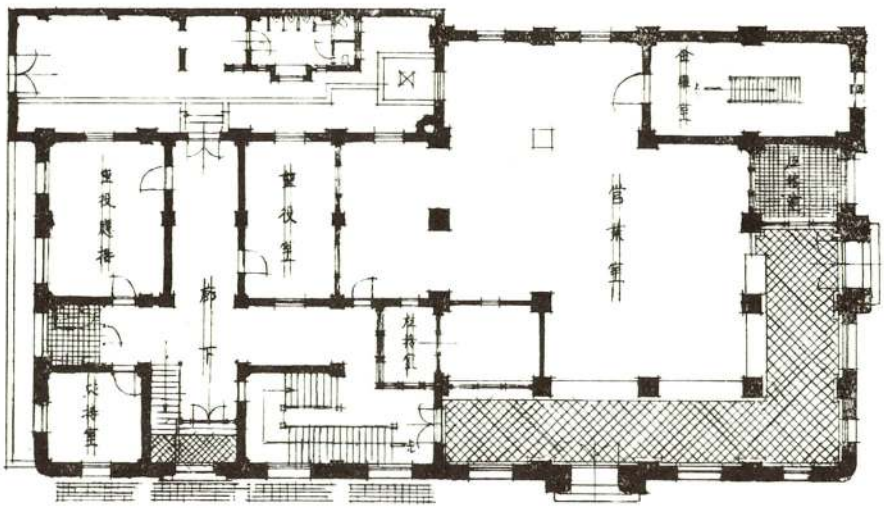
1 第一應接室
2 第二應接室

大阪農工銀行本店(2)
設計 國枝工務所
施工 清水組大阪支店

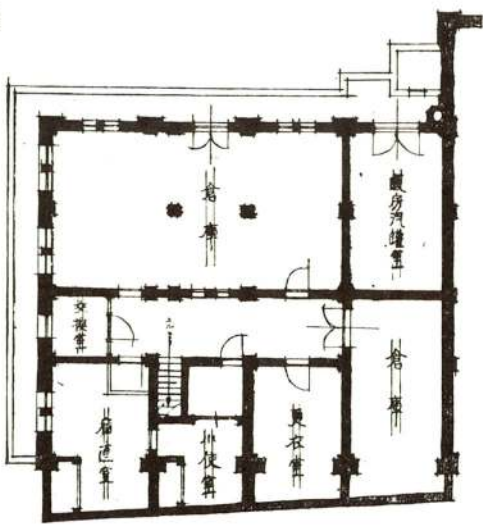
1



2



3



1 第二階平面圖
2 第一階平面圖
3 地階平面圖

大阪農工銀行本店(3)
設計國枝工務所
施工清水組大阪支店

昭和四年十一月二十一日

日本建築協會
第一部（法制）委員會委員長　池田實

日本建築協會會長　片岡安殿

美觀地區並風致地區指定ニ關シ建議追申ノ件報告

本協會ヨリ曩ニ（本年七月三十一日付）當局ニ建議シタル美觀地區並風致地區指定促進ニ關シテハ市民ノ輿論ヲ喚起シ大阪朝日新聞紙ハ十月十日夕刊ニ其ノ大要ヲ摘錄シ更ニ十月十四日社說ニ於テ其ノ必要ヲ論スルニ至リ又當局ニ於テモ着々之カ指定ニ關シ調査ヲ進メツツアル趣ナルヲ以テ當協會トシテハ更ニ調査ヲ進メ其ノ指定スヘキ區域ニ付具體的ニ研究シ以テ其ノ意見ヲ再建議スルノ必要ヲ認メ當委員會ニ於テ去月十六日ヨリ本月十三日ニ至ル間五回ニ亘リ愼重審議ヲ遂ケ別紙ノ通追申ノ成案ヲ得候

右及報告候也

美觀地區ノ指定ヲ要スル區域

一、鐵道並軌道等ニ依ル市門

（イ）大阪驛前廣場及其ノ建築敷地造成地一帶

（ロ）阪神國道淀川大橋東詰ヨリ櫻橋市電交叉點ヲ經テ梅田新道市電交叉點ニ至ル路線ノ兩側

（ハ）天神橋筋六丁目市電交叉點及新京阪電鐵停留所前廣場周圍

（ニ）天滿橋南詰市電交叉點及京阪電鐵停留所前廣場周圍

（ホ）上本町六丁目市電交叉點及大軌停留所前廣場周圍

（ヘ）天王寺省線驛及阪和、大鐵南海各鐵道及軌道停車場前及其ノ周圍

（ト）惠美須町市電交叉點及南海電鐵停留所前周圍

（チ）南海難波驛前廣場周圍

二、港灣ニ依ル市門

（リ）築港大棧橋前廣場周圍及同所ヨリ市電線路ニ沿ヒ（天保山棧橋ニ至ル環狀線路ヲ含ム）千舟橋、境川町、川口町、肥後橋南詰ヲ經テ市電北濱二丁目ニ至ル路線ノ兩側

三、主要街路

（ヌ）御堂筋大阪驛前ヨリ難波驛ヲ經テ日本橋三丁目市電交叉點ニ至ル路線ノ兩側

(ル)市電川口町交叉點ヨリ本町通ヲ經テ大阪城公園ニ至ル路線ノ兩側
(オ)堺筋、北濱二丁目市電交叉點ヨリ東美須町同交叉點ニ至ル路線ノ兩側
(ワ)西橫堀線、大阪驛前ヨリ湊町ヲ經テ難波驛ニ至ル路線ノ兩側
(カ)平野柴谷線及今池帝塚山線ノ一部

四、主要河川沿岸

(ヨ)淀川、淀川橋ヨリ下流ノ兩岸
(タ)堂島川、天神橋ヨリ新船津橋迄ノ兩岸
(レ)土佐堀川、天神橋ヨリ端建藏橋迄ノ兩岸
(ソ)木津川、土佐堀川ヨリ下流大渉橋迄ノ兩岸

右ノ內淀川及堂島川ノ北岸ニシテ天滿橋ヨリ堂島運河迄ハ都市計畫ニ依リ建築敷地ヲ廢シ河岸公園トナスコト

五、現在及都市計畫ニ依リ決定シタル公園(小公園ヲ除ク)周圍及公園道路ノ兩側

一、北中島公園　二、服部公園同公園道　三、豐里公園同公園道
四、淀川公園　五、大阪城公園　六、生野公園
七、天王寺公園　八、生玉公園　九、桃ヶ池公園同公園道
一〇、田邊公園同公園道　一一、臨南寺公園　一二、大和川公園同公園道
一三、萬代池公園同公園道　一四、帝塚山公園同公園道　一五、聖天山公園同公園道
一六、住吉公園同公園道　一七、聖天山公園ヨリ帝塚山公園ニ連絡スル都市計畫路線(平野柴谷線及今池帝塚山線ノ一部)
一八、住吉新公園　一九、森小路公園

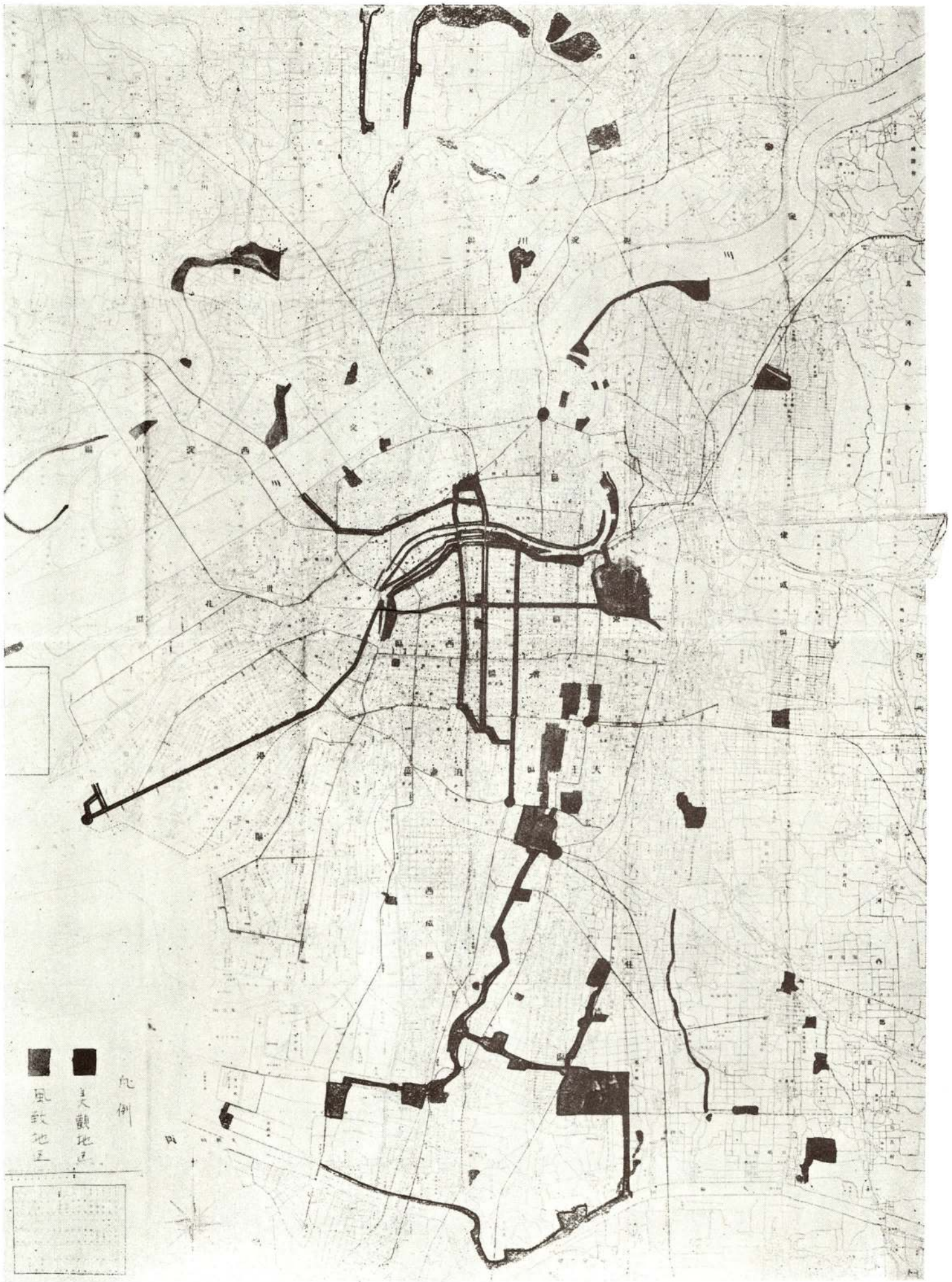
附記　前記ノ內二、港灣ニヨル市門及三、主要街路中路線ノ兩側ニ關シテハ單ニ建築物高ノ最低限度ノ制限ヲ適用シ美觀地區ノ指定ニ代フルモ敢テ支障ナキ部分アラム

風致地區ノ指定ヲ要スル區域

一、第二次都市計畫公園及墓地ヲ候補地トセルモノ

一、外島公園　二、出來島公園　三、神崎川公園　四、十三公園
五、北中島公園　六、服部公園　七、安威川公園　八、豐里公園
九、毛馬公園　一〇、森小路公園　一一、淀川公園　一二、大阪城公園
一三、生玉公園　一四、片江公園　一五、生野公園　一六、平野公園
一七、杭全公園　一八、百濟公園　一九、桃ヶ池公園　二〇、田邊公園

大阪府美観地區並風致地區指定圖（案）



二一、臨南寺公園
二二、大和川公園
二五、聖天山公園
二六、鷺洲公園
二九、津守公園
三〇、天王寺公園
三三、南墓地

二、川岸地、臨海、池、樹林地ヲ候補地トセルモノ

一、中島町海岸
三、神崎川河川敷ノ一部
五、大和川河川敷ノ一部
七、遠里小野町ノ今池
九、喜連町ノ西池
一一、矢田村行基池
一三、千里村片山ノ山手

三、神社及寺院境内地ヲ候補地トセルモノ

一、蒲島町田簑神社及附近
三、服部公園道沿住吉神社二社
五、土佐稻荷神社
七、北御堂
九、谷町八丁目西高津中寺町寺院
一一、四天王寺
一三、住吉神社、奥天神社、大海神社
一五、長柄墓地
一七、眞田山墓地
一九、平野大念佛寺
二三、萬代池公園
二七、大仁公園
三一、江ノ子島公園
二、野里町池及其ノ周園
四、毛馬閘門
六、小松原町ノ今池
八、平野野堂町ノ北池
一〇、瓜破村ノ谷池
一二、豊津村ノ山手
一四、大和川尻火藥庫附近
二四、帝塚山公園
二八、北港公園
三二、北墓地
二、加島町香具波志神社及附近
四、辻堂神社
六、南御堂
八、上本町五丁目、四丁目寺院境內
一〇、下寺町一丁目、二丁目、三丁目、生玉寺町寺院境內
一二、阿倍野神社
一四、我孫子觀音
一六、阿倍野墓地
一八、高津神社

以上

京都府では都市計畫に依る風致地區指定に關する規則を本年二月一日附を以て發布致しました、御參考のため茲に掲載します

編輯部

京都府令第六號

風致地區規則左ノ通定ム

昭和五年二月一日

京都府知事　佐上信一

風致地區規則

第一條　本則ハ都市計畫法第十條第二項ノ規定ニ依リ指定セラレタル風致地區內ニ之ヲ適用ス

第二條　風致地區內ノ現狀ヲ變更スヘキ行爲ヲ爲サントスルトキハ別ニ告示スルモノヲ除クノ外知事ノ許可ヲ受クヘシ

第三條　前條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シタル申請書ニ設計書又ハ施行方法書ヲ添附スヘシ

一　申請者ノ住所、氏名（法人ニ在リテハ其ノ名稱、事務所所在地及代表者ノ住所、氏名）

二　行爲地ノ所在、地目及面積

三　許可ヲ受ケントスル行爲及其ノ目的

四　着手竝ニ完了ノ豫定期日

五　其ノ他必要ナル事項

第四條　設計書又ハ施行方法書ニハ方位、縮尺ヲ記載シタル左ノ圖面ヲ添附スヘシ

一　附近地ノ現況圖（行政區劃及道路、水路其ノ他地形ノ概略竝ニ行爲地ノ境界ヲ明示スヘシ）

二　平面圖（配置圖ヲ含ム）、立面圖、斷面圖、意匠配色圖等設計又ハ施行方法ノ表示ニ必要ナル圖面

第五條　第二條ニ規定スル行爲ニシテ他ノ法令ニ依リ知事ノ許可又ハ認可ヲ要スルモノニ付テハ當該法令ニ依ル許可又ハ認可申請書ニ前二條ニ規定セル事項ヲ附記シ本則ニ依ル許可ヲ併セ申請スルコトヲ得

第六條　前項ノ規定ニ依リ申請スル場合ニ於テハ當該法令ニ依リ提出スル書類ノ外別ニ副本一通ヲ提出スヘシ

行爲完了前許可ヲ受ケタル事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ理由ヲ具シ第三條及第四條ノ規定ニ準ジ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第七條　第二條又ハ前條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル行爲完了シタルトキハ三日以內ニ知事ニ屆出ツヘシ

第八條　第二條、第六條又ハ第七條ノ規定ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

附則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

社團法人日本建築協會會報

第一部(法制)委員會

日時　二月七日午後五時三十分—同七時三十分

會場　大同生命ビル地階ライオン食堂

出席者　委員　伊藤幸太郎　竹中景一　武田經一

記事一、前年の例に倣ひ三分科(昨年は四分科なりしも建築士法案に關する分科は設けず三分科となる)設置することに協議纏り增加委員に付協議をなす

一、三分科委員の人選は大體昨年第一部委員の通決定す

一、右增加委員依囑方を常務會に要求することに決し散會す

第三部(資料)委員會

日時　二月八日午後五時—同八時三十分

會場　大同生命ビル地階ライオン食堂

出席者　委員長　波江悌夫

幹事　森本藤吉　須川廉太郎

委員　大澤幸平　阪井米吉　白石登喜男　山田初次

記事　一、本會委員會の研究方針に付意見の交換をなし先づ各建築材料の一覽表の知きものを作製に取り掛り順次進むことゝなる

一、次に各分科の委員選定に付各主査に於て大體人選をなし來る十五日主査會に於て確定の上依囑方を常務會に要求することに決す、尙追加委員依囑に付ては各主査に於て考慮の上追加の豫定なり

一、左記委員により時々主査會を開き各分科の連絡をとること

第一分科主査　大澤幸平氏　第二分科主査　白石登喜男氏　第三分科主査　須川廉太郎氏　第四分科主査　高田利一郎氏　第五分科主査　森本藤吉氏　第六分科主査　阪井米吉氏　第七分科主査　芝田知重氏　第八分科主査　呼子正氏

委員長　波江悌夫氏

山田初次氏

一、來る二月十五日(土)午後五時半主査會開催のこと

一、來る二月二十二日(土)午後五時半委員總會開催のこと

常務會

日時　二月十日午後五時——同八時

會場　本協會會議室

出席者　理事　片岡安　宗兵藏

常務　小川主記　木村主記　坪井主記　岡部主計　山脇主計　吉井主計　高橋編輯

報告

一、一月分會計報告……岡部主計

一、會誌表紙懸賞圖案當選者報告……高橋編輯

一、昭和五年度會誌編輯方針に付報告　高橋編輯

議事

一、二月例會に關する件……本月は例會を休止することに可決

一、豫備費支出の件……可決

一、評議員會開催日延期の件……左の通決定

開催日　二月二十日

會場　住友倶樂部

議案　一、昭和四年度收支決算の件

二、同　剩餘金處分の件

三、定款改正案審議の件

第四部(災害)委員會

日時　二月十二日午後五時三十分——同九時

會場　住友倶樂部

出席者　青柳貞世　池田宮彦　川口一二　加藤善吉　黒田茂　中島智喜　林豪藏　古川豐　光安梶之助　三浦尙史(五十音順)

一、委員長及幹事左の通當選

委員長　光安梶之助氏

幹事　池田宮彦氏

同　林豪藏氏

一、本委員會分掌を第一分科(强度計算第二分科(災害)に分つ

一、第一分科(强度計算)委員氏名

幹事　池田宮彦氏　青柳貞世氏　秋田喜代治氏　川口一二氏　黒田茂氏　鹽路惣吉氏　中島智喜氏　古川豐氏　三浦尙史氏　渡部圭吾氏(五十音順)

一、第一分科(强度計算)研究事項　主擔者

(一)鹽類の鐵筋コンクリート造に及ぼす影響　池田氏

(二)鐵材の熔接(主として鐵筋に就て第一着手)　試驗方法を決定すること)　三浦氏

(三)(床活荷重實狀調査　光安氏　文獻蒐集及實地調査)　池田氏

(四)地貫ボーリング表及杭打試驗成績の蒐集　川口氏

(五)大阪にて使用の混凝土骨材と其强度との關係に付調査　渡部氏

但し第一及第二事項より研究に着手すること

一、第二分科(災害)委員氏名

幹事　林豪藏氏　大野直平氏　落藤藤吉氏　加藤善吉氏　谷田實氏　增田清氏　光安梶之助氏　山本久吉氏(五十音順)

一、第二分科(災害)研究事項　主擔者

(一)防火地區及耐火構造　加藤氏

(二)耐火構造の研究　光安氏

(三)衛生上及其他の方面より觀察し小學校建築に鐵筋コンクリート構造の可否　林氏

但し第一事項より研究を始むること

一、全委員は研究事項に關する調査研究資料を各分科各主擔者に提供せられたし

一、定例日　每月十日に定例委員會を開催のこと

但し日曜、土曜日に相當するときは繰下ぐること

第三部(資料)委員會主査會

日時　二月十五日午後五時三十分——

同九時

會場　大同生命ビルラムオン食堂

出席者　委員長　波江悌夫　幹事　須川廉太郎

委員　阪井米吉　芝田知重　白石喜喜男　高田利一郎　山田初次

記事

一、分科委員決定す

一、「都市と音響」展覽會は來る二十二日第三部委員總會に於て特別委員を選定し協議する事を決議す

第五部(住宅)委員會

日時　二月十五日午後五時三十分——同八時

會場　住友倶樂部

出席者　委員長　日高　胖

委員　小林三造　酒井勇三郎　末澤周次　早良俊夫　佐々木莊一　淺野金藏　岩崎勇　篠崎彙二　大原芳知　德政金吾　丹藤良雄　南　信　富士岡重一　魚田常治　渡邊金藏　中山榮太郎　岩尾保衛

報告

一、二月四日開會の當委員會に於て委員長左の通當選決定せり

委員長　日高　胖氏

協議決定事項

一、幹事二名の選擧(投票)を行ひ左の通當選決定

幹事　佐藤　彰美氏

幹事　大原　芳知氏

一、本委員會分掌を左の四分科に分つ

第一分科　平面、外觀、構造、材料等

第二分科　採光、通風、煖房、衛生等

第三分科　設備、裝飾等

第四分科　實行の促進

一、各分科の主査(投票選擧にて當選)及委員氏名並委員總會、各分科の會合定例日左の通決定せり

第一分科(平面、外觀、構造、材料等)

(一)　主　査

富士岡重一氏(大阪市役所建築課　電本五〇五〇)

(二)　委　員

淺野　金藏氏(住友合資會社建築課　電本二四七)

佐々木莊一氏(大阪市役所建築課　電本五〇五〇)

早良　俊夫氏(竹中工務店　電北三三〇)

德政　金吾氏(東區今橋帝國ビル德政工務店　電本四〇五五)

中山榮太郎氏(大林組住宅部　電東八六〇)

丹藤　良雄氏(大林組住宅部　電東八六〇)

增山　新平氏(大阪市立都島工業學校　電東一四四)

南　信氏(大阪ビル南信建築事務所　電土六六二二)

渡邊　金藏氏(大阪市役所建築課　電本五〇五〇)

(三)　定例日

第一分科會　毎月第一月曜日

第五部委員懇會　毎月第四月曜日

第二分科(採光、通風、煖房、衛生等)

(一)　主　査

岩尾　保衛氏(神戸市熊内橋通七ノ一ノ四　電三宮一四二七)

小林　三造氏(竹中工務店　電北八一〇)

酒井勇三郎氏(大阪府立西野田職工學校　電土二三〇)

(二)　委　員

岩崎　勇氏(住友合資會社建築課　電本二四七)

末澤　周次氏(末澤建築事務所、尼ケ崎市東灘波、電尼七二九)

(三)　定例日

第二分科會　毎月第三月曜日

第五部委員總會　毎月第四月曜日

第三分科(設備、裝飾等)

(一)　主　査

岩尾　保衛氏(神戸市熊内橋通七ノ一ノ四　電三宮一四二七)

魚田　常治氏(大林組住宅部　電東八六〇)

小林　三造氏(竹中工務店　電北八一〇)

酒井勇三郎氏(大阪府立西野田職工學校　電土二三〇)

永山　美樹氏(高島屋呉服店裝飾部　電南四三八八)

西村辰次郎氏(西區土佐堀船町あめりか屋　電土二三二九)

(二)　委　員

增山　新平氏(大阪市立都島工業學校　電東一四四)

(三)　定例日

第三分科會　毎月第二月曜日

第五部委員總會　毎月第四月曜日

第四分科(實行の促進)

(一)　主　査

井上　濟美氏(堂ビル內大阪土地協會　電北五八九〇)

(二)　委　員

大原　芳知氏(住友合資會社建築課　電本二四七)

篠崎　彙二氏(住友合資會社地所課　電本二四七)

(三)　定例日

第四分科會　定めず

第五部委員總會　毎月第四月曜日

一、來る三月より定例日により會合を開始すること

評議員會

日時　二月二十日午後六時二十分——同八時三十分

會場　住友倶樂部三階小集會室

出席者　片岡安、宗兵藏、古宇田實、横濱勉、小川陽吉、小笠原銀、岡部顯則、岡本新次郎、小西一良、酒井勇三郎、阪井米吉、芝田知重、篠原太郎、高橋榮治、高田利一郎、武田經一、坪井誠一、德政金吾、原料準平、松本儀八、增山新平、前內文二郎、村上徹一、山脇友三郎、山下豊三郎、山中茂一、

吉井長七

議案第一號

昭和四年度收支決算の件……原案の通可決

議案第二號

昭和四年度剩餘金處分の件

原案表中『未收入補塡準備金』に付種々論議する所ありしが結局名目を『收入缺損補準備金』と修正することに決し其の他は異議なく可決せり

議案第三號

定款改正案審議の件

坪井主記より原案に付改正要點を說明し次回評議員會に於て逐條審議をなすことに決す

入會者

會員

長瀨　幸一君　東成區南生野町三丁目五三（大林組建築課）

安尾　德次君　東淀川區十三東ノ町一六三（阪和電氣鐵道株式會社事業課）

普通贊助員

瀧川　榮亮君　東成區南島町二〇（大阪橋本組）

石井　富司君　京都府綾部町本町五丁目七七ノ一田和方（郡是製糸株式會社建設課）

林　壯一君　神戸市平野馬場町一六三（兵庫縣廳營繕課）

寄贈雜誌

電氣評論　每號　其社
都人　每號　其社
學士會月報　每號　學士會
建築世界　每號　其社
朝鮮と建築　每號　朝鮮建築會
セメント界彙報　每號　日本ポートランドセメント同業會
住宅　每號　住宅改良會
建築雜誌　每號　建築學會
建築新潮　每號　洪洋社
大阪工業俱樂部　每號　其部
通俗衛生　每號　大阪府衛生會
帝國鐵道協會報　每號　其會
工業評論　每號　其社
電氣學會雜誌　每號　其會
鐵道軌道經營資料　每號　鐵道同志會
趣味ノ園藝　每號　關西園藝會
工業ト社會　每號　東京工業會
工業　每號　大阪工業會
滿州建築協會雜誌　每號　其協會
庭園と風景　每號　日本庭園協會
圖書室月報　每號　東京市政調査會
エンヂニヤリング　每號　其社
工業要錄　每號　其發行所
名古屋工業會々報　每號　其會
大阪　每號　大阪都市協會
都市問題　每號　東京市政調査會
新建築　每號　其社
京都の實業　每號　京都商工會議所
都市創作　每號　其會
木材彙報　每號　大阪木材協會
建築學研究　每號　其會
大阪土木建築業組合報　每號　其組合
木材新聞　每號　關西木材商報社
工業新聞　每號　其社
日本建材新聞　每號　其社
日本建築士　每號　其會
インターナショナル建築　每號　其會
東洋建材時報　每號　其社
朝鮮鐵道協會會誌　每號　其協會
超科學　每號　大阪網島工業會
建築業協會々報　每號　其協會
建築畫報　每號　其社
土木建築工事畫報　每號　其社
日本美術協會報告　每號　其社
法律時報　每號　日本評論社
土木建築　每號　其社
土木建築材料商報　每號　其社
塗料　每號　日本ペイント株式會社
塗工の魁　每號　其社
關西園藝　每號　其社
臺灣建築會誌　每號　其社
建築紀元　每號　構成社書房
建築　每號　中央建築會
經濟資料　每號　東亞經濟調査局
建築土木材料　每號　建築資料協會社
國立公園　每號　其

役員

國際建築　每號　其社
工事畫報　每號　其社
綱島工業會誌　每號　其會
產業　每號　其會
工　每號　其會

會長　理事　評議員　片岡安
副會長　理事　評議員　古宇田實
副會長　理事　評議員　宗兵藏
監事　評議員　池田實
監事　評議員　橫濱勉
常務　評議員　岡部顯則
常務　評議員　小川陽吉
常務　評議員　木村寬一
常務　評議員　篠原太郎
常務　評議員　高橋榮治
常務　評議員　坪井誠一
常務　評議員　本間乙彥
常務　評議員　松本儀八
常務　評議員　山脇友三郎
常務　評議員　吉井長七
評議員　池田谷久吉
評議員　伊藤幸太郎
評議員　小笠原鋤
評議員　岡本新次郎
評議員　籠田定憲
評議員　久保田肇雄
評議員　小西一良
評議員　酒井勇三郎

評議員　阪井米吉
評議員　下浦光衛
評議員　芝田知重
評議員　須藤隼人
評議員　武田經一
評議員　高田利一郎
評議員　徳政金吾
評議員　中村義雄
評議員　永田三次郎
評議員　原科準平
評議員　日高胖
評議員　姫野武
評議員　増山新平
評議員　牧野利秋
評議員　前内文二郎
評議員　村上徹一
評議員　森本藤吉
評議員　山下豐三郎
評議員　山田初次
評議員　山中茂一
評議員　渡部圭吾
評議員　和田貞治郎

編輯後記

□

二月號、三月號の發行が大變遲れました、茲に御詫致します。

二月號は學校建築特輯號を出しましたが幸に各方面の御賛同を得て、大變立派な貴重な材料を多分に御提供を受けましたので、これを全部本誌に採錄することを許さぬ狀態となり、幸に臨時號としこれを別册圖集として既に御届け致しました所、會員諸君から歡迎を受けました事を喜んでゐます。

□

ところが此圖集は五大都市の代表的學校建築を網羅してゐて、權威あるものだからと云ふので折角原版を利用して單行本として發賣せん事を企てまして、表紙や體裁を改め既に出來上りました、幸に會員諸君の御知友に御紹介下さらん事を御願致します。

□

三月號はこの圖集編輯等のために大變遲れましたが、四月號『建築と風致』號は本日豫定通り御届けする事が出來ました、これから以後は大體プランも立ちましたので、豫定通り發行出來ると思ひます。

□

今回の四月號『建築と風致』號は幸に各方面の御援助を得て斯界の權威者を網羅して其蘊蓄抱負の一端を承る事を得ました事を喜んでゐます、茲に玉稿を賜はりし各位に深甚の感謝を表すると共に、會員各位にも喜んで讀むで頂きたいと思ひます。

□

本誌を一年間通じて特輯號とするの可否は種々議論のある處でありますが、先づ本年も今一年昨年の例に做つて特輯計畫を立てました、三月號以後の本誌にその計畫を發表しておりますから、會員諸君各自御蘊蓄を傾けさせられてそれ等の特輯題目に關係ある記事をなるべくその前月中旬までに御送附願ます。

本誌定價表

册數	定價	郵稅	
一册	五拾錢	貳錢	
十二册	六圓	貳拾四錢	

昭和五年三月廿五日印刷（每月壹回）
昭和五年四月一日發行（一日發行）

大阪市港區音羽町二丁目十四番地
發行兼編輯人　鷹取陽

大阪市東區內淡路町一丁目七番地
印刷所　大阪活版所

大阪市西區土佐堀通一ノ一
大同ビルヂング
發行所　社團法人　日本建築協會
電話土四二六五番
振替口座大阪三九、九七五

大阪市西區京町堀羽子板橋北
特約販賣店　柳々堂書店
電話土佐堀二四四〇番
振替口座二二〇八四番

御購讀の向は本會直接又は特約店へ振替又は爲替にて前金御拂込被下度候